

建設CAD

建設CADでおこなえる操作を「線」「円」「文字」などのグループに分けて解説しています。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。



目次

◆ 設定 ◆

001	図面に表示する座標値、距離、面積などの丸めを設定する	2
002	コマンドバーを表示する	3
003	ポップアップメニューをカスタマイズする	3
004	キー割り付けをカスタマイズする	4
005	コマンドバーをカスタマイズする	4
006	画面の背景色を変更する	6
007	画面表示の表示色を変更する	6
008	線種を指定したピッチで表示する	7
009	カラーの色をレイヤの色に合わせる	8

◆ 開く・保存・印刷 ◆

010	DXF/DWGの図面を開く	10
011	JWC/JWWの図面を開く	12
012	SXFの図面を開く	14
013	武蔵(.mss)ファイルを開く	15
014	用紙に合わせて図面を配置する	16
015	読み込む範囲を指定して配置する	17
016	測量ソフト(BLUETREND V・XA)データを開く	18
017	DXF/DWG形式で保存する	19
018	JWC/JWW形式で保存する	21
019	SXF形式で保存する	22
020	武蔵(.mss)形式で保存する	24
021	画像形式(JPEG・TIFF)で保存する	25
022	PDF形式で保存する	26
023	データを印刷する	27
024	CADの設定色で印刷する	29

◆ ページ ◆

025	ページを追加・挿入・複写する……………	31
026	ページを削除する……………	32

◆ 用紙・座標系 ◆

027	用紙を設定する……………	34
028	座標系を設定する……………	35

◆ 縮尺・入力単位 ◆

029	縮尺を設定する……………	37
030	縮尺を変更する……………	38
031	入力単位を設定する……………	39

◆ レイヤ ◆

032	レイヤを設定する……………	41
033	CAD製図基準に準拠したレイヤを読み込む……………	42
034	[属性移動]でレイヤを移動する……………	43
035	データを選択してレイヤを移動する……………	44
036	イメージ表示でレイヤを確認する……………	45

◆ 線 ◆

037	線を入力する……………	47
038	座標値を指定して線を入力する……………	48
039	水平・垂直線を入力する……………	49
040	平行線を入力する……………	50
041	連続した平行線を入力する……………	51

042	四角形を入力する	52
043	補助線上に線を入力する	53
044	三辺長を指定して三角形を入力する	54
045	線を整合する	55
046	線を伸縮する	55
047	延長止線する	56
048	面取りする(線面取り)	56
049	面取りする(円面取り)	57
050	線をカットする	57

◆ 円 ◆

051	円を入力する	59
052	平行線を半円で接続する	59
053	円弧の左右に幅員線を入力する	61

◆ 文字 ◆

054	文字を入力する	63
055	図面上の文字列と同じ属性の文字列を入力する	64
056	文字の後ろ(背景)の塗り潰しを非表示にする	65
057	引き出し文字を入力する	66
058	複数段の文字列を入力する	67
059	円文字を入力する	68
060	赤書きを入力する	69
061	文字列を訂正する	70
062	文字サイズを一括訂正する	71

◆ 寸法線 ◆

063	2点間の水平・垂直距離の寸法を入力する	73
064	直線の寸法を入力する	73
065	勾配寸法を入力する	74
066	寸法値を再計算する	75
067	寸法線を合成する	76
068	寸法値を消す	77
069	寸法値を変えずに寸法線を変形する	78

◆ ラスタ ◆

070	ラスタを配置する	80
071	ラスタの不要部分を削除する	81
072	ラスタを移動する	82
073	ラスタのサイズを変更する	83
074	ラスタの描画順を変更する	84

◆ 旗上げ ◆

075	平面図旗上げを入力する	86
076	縦断図旗上げを入力する	88
077	円・文字の旗上げを入力する	89

◆ ハッチング・特殊図形・車両軌跡 ◆

078	ハッチングを入力する	91
079	特殊線を入力する	92
080	階段を入力する	93
081	切断記号を入力する	94
082	車両軌跡を入力する	95

◆ 方位マーク・シンボル ◆

083	方位マークを入力する	97
084	構造物記号を入力する	98
085	部品を登録する	99
086	部品を配置する	100

◆ 断面・法面 ◆

087	簡易断面図を入力する	102
088	法面を入力する	103

◆ 座標・標高値・補助 ◆

089	図面から座標を登録する	105
090	登録済みの座標(マーク)をプロットする	106
091	指定した点の座標値を配置する	107
092	座標値を確認する	108
093	標高値を配置する	109
094	入力補助点を入力する	110

◆ 編集 ◆

095	データを移動する	112
096	データを複写する	112
097	データを削除する	113
098	範囲指定でデータをカットする	113
099	データを訂正する	114
100	データを回転する	115
101	座標系を保持したままデータを移動する	116
102	書類(WordやExcelなど)にデータを貼り付ける	117

◆ 塗り潰し・拡大図 ◆

103	工事箇所を色塗りする	119
104	拡大図を配置する	120

◆ 表 ◆

105	土量計算表を入力する	122
106	土量計算の帳票を作成する	124
107	数量計算表を入力する	125
108	Excelデータを取り込む	126
109	表を訂正する	128

◆ 計測 ◆

110	2点間を計測する	130
111	面積を計測する	131

◆ 図枠・表題欄 ◆

112	図枠・表題欄を配置する	133
113	複数ページに図枠表題を一括配置する	134
114	表題欄テンプレートを取り込む	135

◆ 工区割り ◆

115	工区割りする	137
-----	--------------	-----

◆ 朱書き・チェック ◆

116	CAD製図基準チェックをする……………	141
117	寸法をチェックする……………	143
118	責任主体を変更する……………	144
119	図面に対して直接朱書きする……………	145

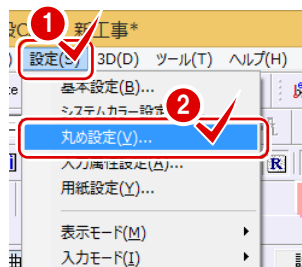
設定

001	図面に表示する座標値、距離、面積などの丸めを設定する……………	2
002	コマンドバーを表示する……………	3
003	ポップアップメニューをカスタマイズする……………	3
004	キー割り付けをカスタマイズする……………	4
005	コマンドバーをカスタマイズする……………	4
006	画面の背景色を変更する……………	6
007	画面表示の表示色を変更する……………	6
008	線種を指定したピッチで表示する……………	7
009	カラーの色をレイヤの色に合わせる……………	8

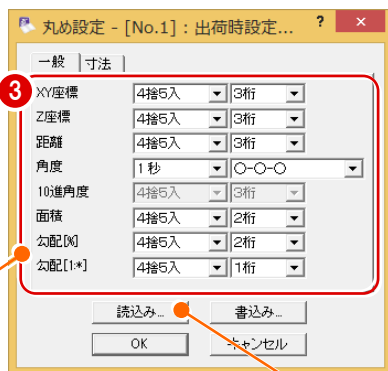
001

図面に表示する座標値、距離、面積などの丸めを設定する

[設定]－[丸め設定]で設定します。



座標値を入力、または距離、面積、勾配などの値を表示するときの丸めを設定します。

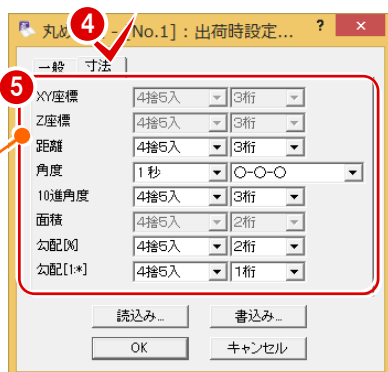


1 [設定]－[丸め設定]をクリックします。(1 2)

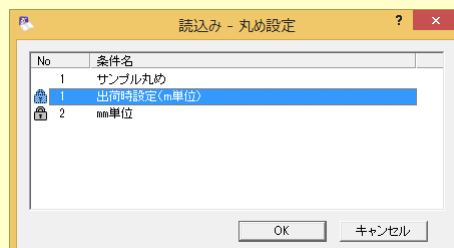
2 座標値、距離、面積などの値を表示するときの丸めを設定します。(3)

3 [寸法]タブをクリックして、寸法値を表示するときの丸めを設定します。(4 5)

[寸法線]コマンドで入力・訂正される寸法値を表示するときの丸めを設定します。



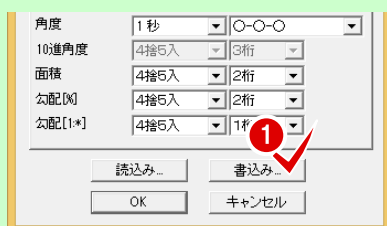
[m単位][mm単位]の設定を読み込むことができます。



補足

設定内容を保存する

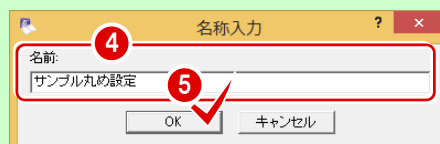
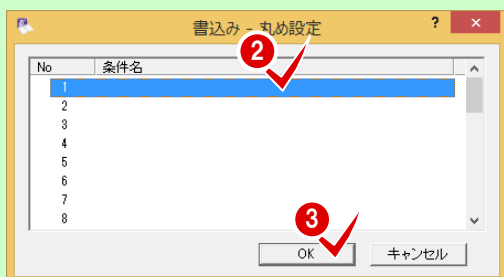
設定内容は[書込み]ボタンで保存しておくことができます。



1 [書込み]をクリックします。(1)

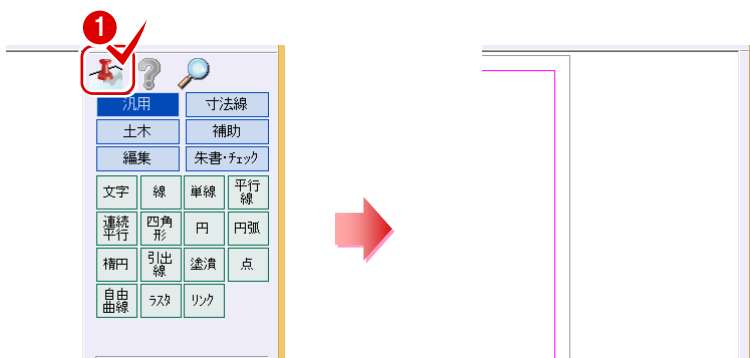
2 書き込むNoをクリックして、[OK]をクリックします。(2 3)

3 保存する設定の名称を入力して[OK]をクリックします。(4 5)



002 コマンドバーを非表示する

コマンドバーの上部にあるピン(赤色)をクリックして非表示にします。

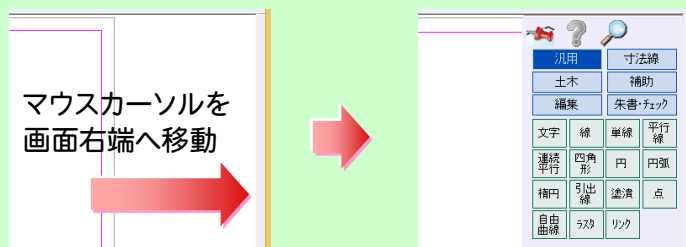


- 1 コマンドバーの上部にあるピン(赤色)をクリックして、コマンドバーを非表示にします。(1)

補足

コマンドバーを表示にする場合は、マウスポインタを画面右端へ移動すると表示することができます。

マウスポインタを画面右端へ移動



003 ポップアップメニューをカスタマイズする

[設定] - [ポップアップカスタマイズ] でカスタマイズします。



- 1 [設定] - [ポップアップカスタマイズ] をクリックします。(1 2)
- 2 [ボタン形式] をクリックします。(3)
- 3 [大分類][小分類] を設定して、よく使うコマンドを選択し、希望のボタン場所までドラッグします。(4 5)

[書込み]で現在の設定を保存できます。

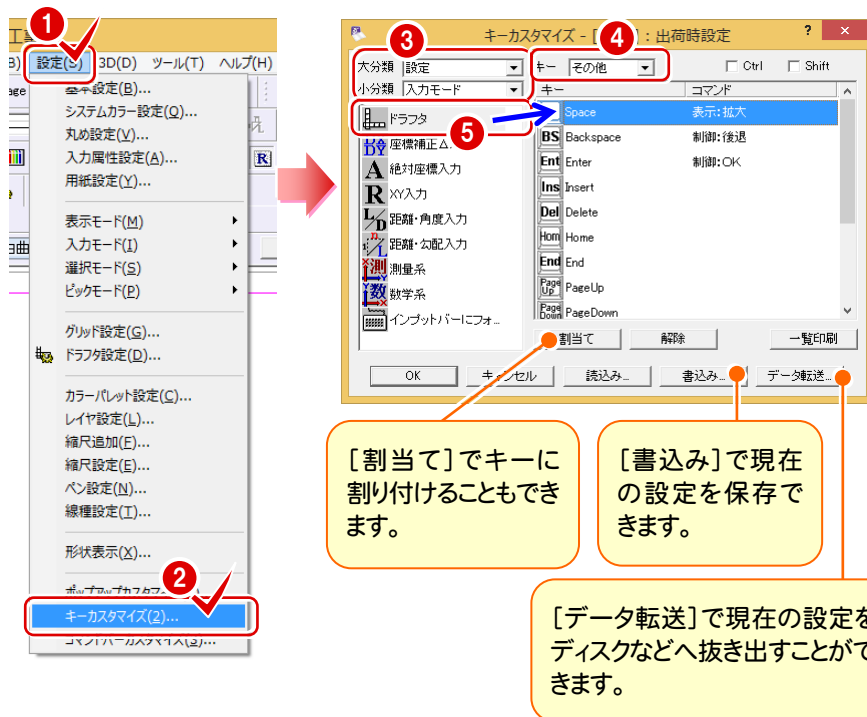
6×6 個のボタン
10 ページまで
設定できます。

[データ転送]で現在の設定をディスクなどへ抜き出すことができます。

004

キー割り付けをカスタマイズする

[設定]－[キーカスタマイズ]でカスタマイズします。

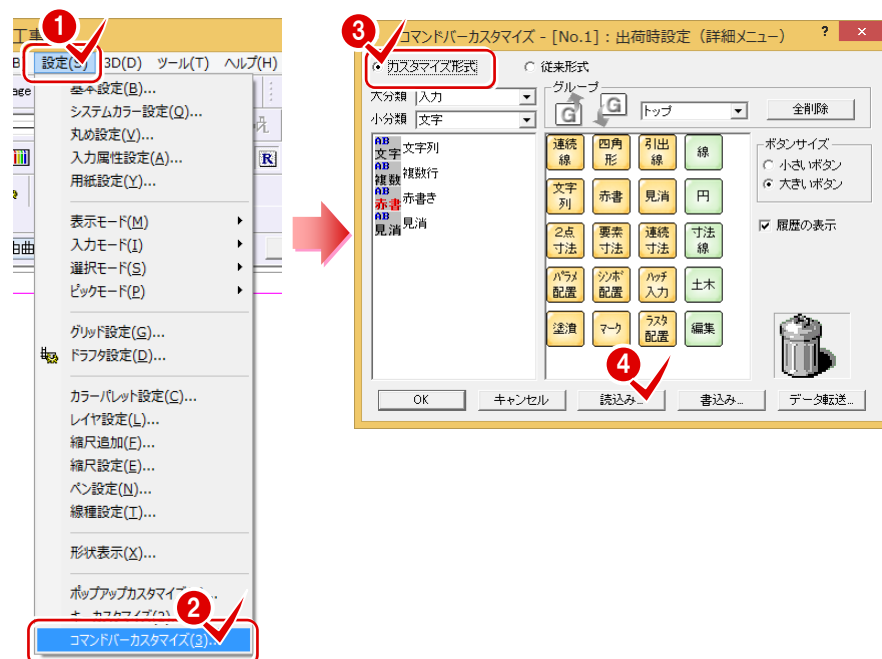


- 1 [設定]－[キーカスタマイズ]をクリックします。(1 2)
- 2 よく使うコマンドの[大分類][小分類]を設定します。(3)
- 3 割り付けるキーのグループを選択します。(4)
- 4 よく使うコマンドを割り付けるキーまでドラッグします。(5)

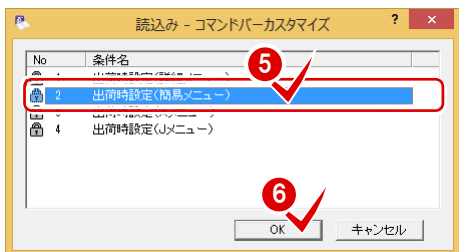
005

コマンドバーをカスタマイズする

[設定]－[コマンドバーカスタマイズ]でカスタマイズします。



- 1 [設定]－[コマンドバーカスタマイズ]をクリックします。(1 2)
- 2 [カスタマイズ形式]をクリックして、[読込み]をクリックします。(3 4)



3 利用する出荷時設定メニューをクリックして、[OK]をクリックします。
(5 6)

4 [大分類][小分類]を設定して、よく使うコマンドを選択し、希望のボタン場所までドラッグします。
(7 8)

5 あまり使わないコマンドを選択し、ゴミ箱の場所までドラッグします。
(9)



補足

[読み込み]について

読み込む設定ファイルには2種類あります。



No.に🔒が付いた設定ファイルはインストールで組み込まれる設定ファイルです。ファイルそのものを更新することはできません。

No.のみのファイルは[書き込み]で書き込んだ設定ファイルです。ファイルそのものを更新することが可能です。

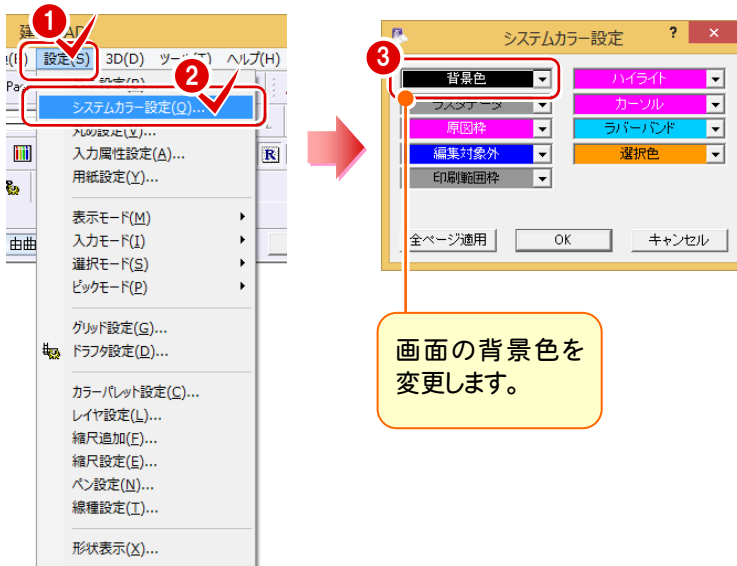
[書き込み]で現在の設定を保存できます。

[データ転送]で現在の設定をディスクなどへ抜き出すことができます。

006

画面の背景色を変更する

[設定]－[システムカラー設定]の[背景色]で変更します。



1 [設定]－[システムカラー設定]をクリックします。(1 2)

2 [背景色]を変更します。(3)

画面の背景色を変更します。

007

画面表示の表示色を変更する

[設定:表示モード:表示色]のアイコンで変更します。



補足 表示色について

建設CADでは、レイヤ、ペン、縮尺、カラー、線種のそれぞれの情報ごとに表示色を設定できます。

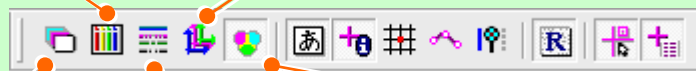
[設定]－[ペン設定]で指定した色で表示します。

[設定]－[縮尺設定]で指定した色で表示します。

[設定]－[レイヤ設定]で指定した色で表示します。

[設定]－[線種設定]で指定した色で表示します。

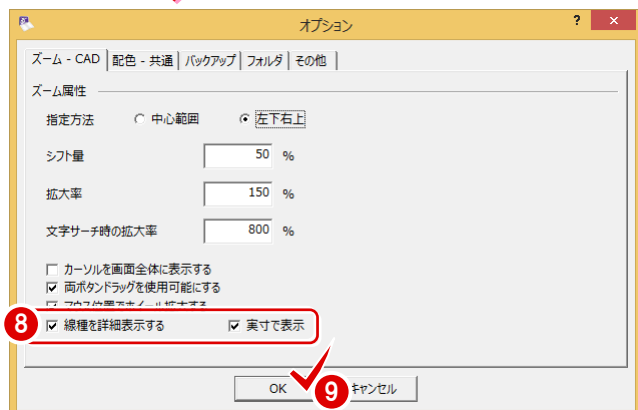
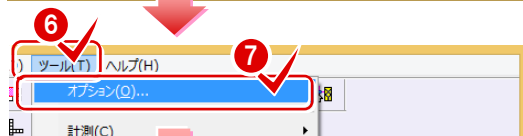
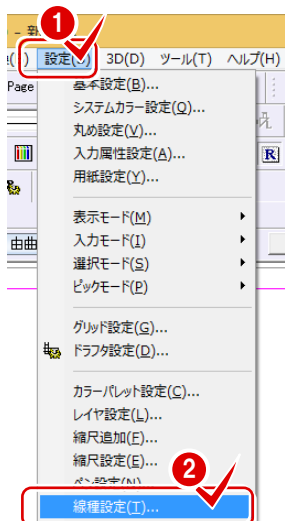
各要素で指定した色で表示します。



008

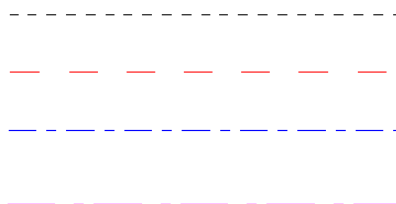
線種を指定したピッチで表示する

[ツール]－[オプション]－[ズーム-CAD]で[線種を詳細表示する]と[実寸で表示]にチェックを付けます。



- 1 [設定]－[線種設定]をクリックします。(1 2)
- 2 [ユーザ定義]をクリックし、線種を設定して、[OK]をクリックします。(3 4 5)
- 3 [ツール]－[オプション]をクリックします。(6 7)
- 4 [ズーム-CAD]タブの[線種を詳細表示する][実寸で表示]のチェックをオンにします。(8)
- 5 [OK]をクリックします。(9)

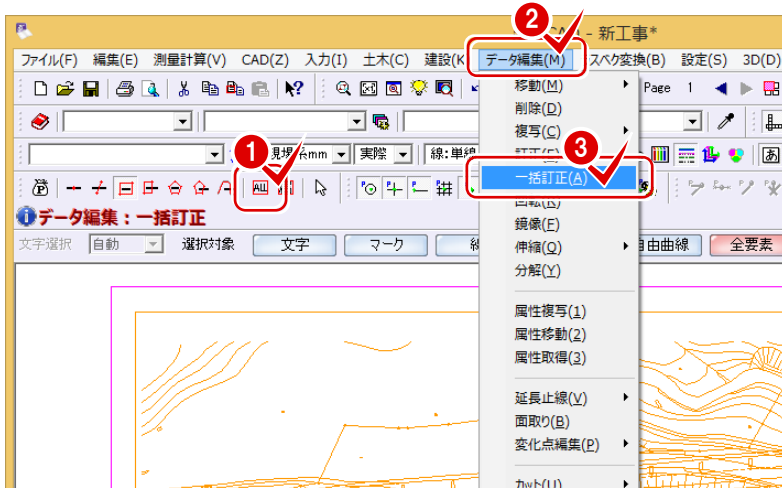
[線種設定]で設定したピッチで表示されます。



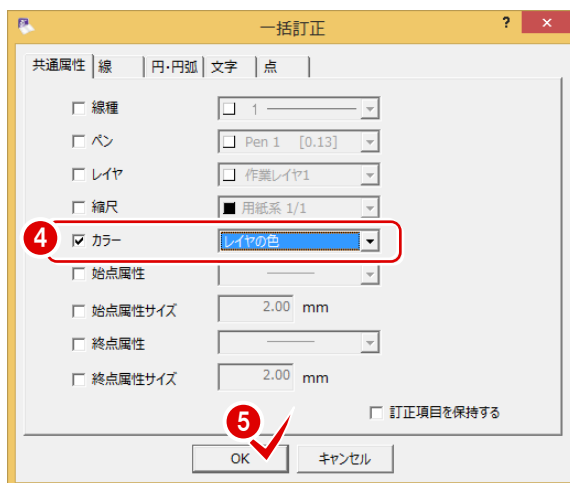
009

カラーの色をレイヤの色に合わせる

[データ編集] - [一括訂正] で合わせます。



- 1 [設定: 選択モード: 全選択]のアイコンをクリックします。(1)
- 2 [データ編集] - [一括訂正]をクリックします。(2 3)
- 3 [カラー]のチェックをオンにして、「レイヤの色」に設定します。(4)
- 4 [OK]をクリックします。(5)



補足

一括訂正後、図面のデータを[訂正]で確認すると、レイヤとカラーの色が同じになっています。



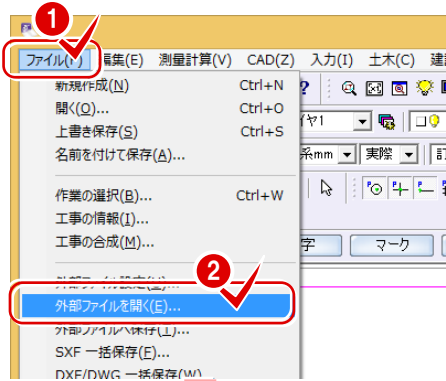
開く・保存・印刷

010	DXF/DWGの図面を開く	10
011	JWC/JWWの図面を開く	12
012	SXFの図面を開く	14
013	武蔵(.mss)ファイルを開く	15
014	用紙に合わせて図面を配置する	16
015	読み込む範囲を指定して配置する	17
016	測量ソフト(BLUETREND V・XA)データを開く	18
017	DXF/DWG形式で保存する	19
018	JWC/JWW形式で保存する	21
019	SXF形式で保存する	22
020	武蔵(.mss)形式で保存する	24
021	画像形式(JPEG・TIFF)で保存する	25
022	PDF形式で保存する	26
023	データを印刷する	27
024	CADの設定色で印刷する	29

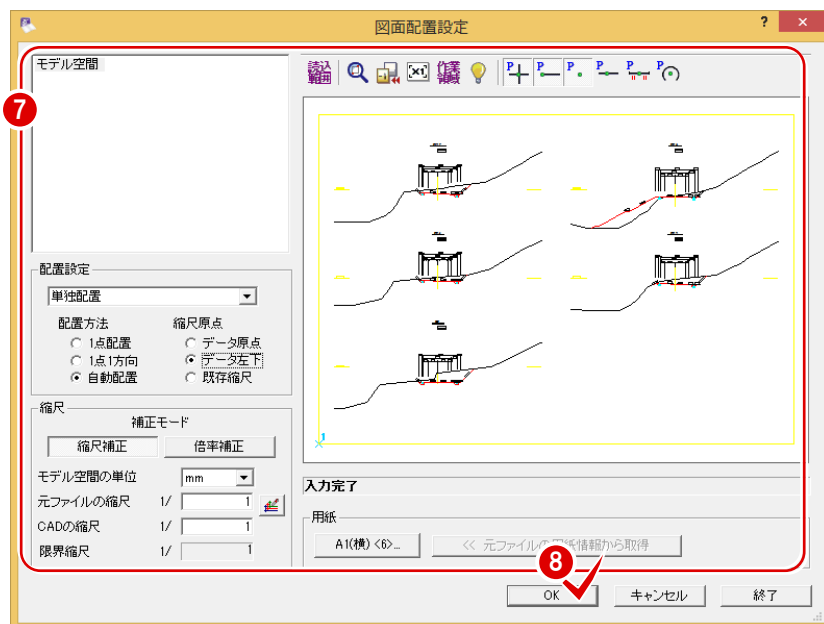
010

DXF/DWG の図面を開く

[ファイル] - [外部ファイルを開く] で開きます。



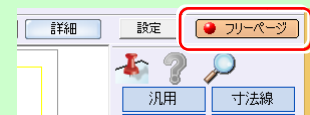
- 1 [ファイル] - [外部ファイルを開く] をクリックします。(1 2)
- 2 フォルダ、フィルター、ファイルを選択して、[開く] をクリックします。(3 4 5 6)
- 3 配置方法、補正を設定して、[OK] をクリックします。(7 8)



補足 フリーページについて

DXF/DWGの図面のモデル空間は、用紙枠を意識せず作業がおこなえるフリーページに取り込むことができます。その場合はあらかじめ[ファイル]-[外部ファイル設定]のDXF/DWG変換タブで[フリーページに取り込む]のチェックをオンにしてください(次ページ補足参照)。

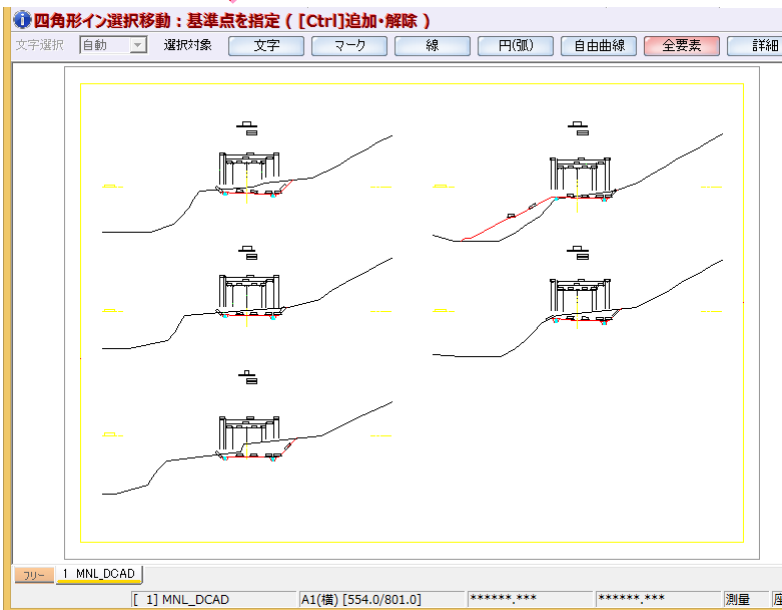
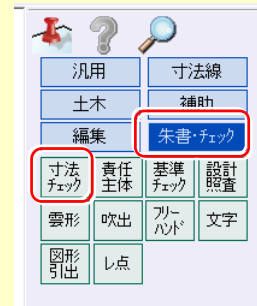
モデル空間は縮尺が合っていることが前提です。



4 [OK]をクリックします。(9)



取り込んだ図面に、寸法線要素で作成された寸法線が存在する場合にチェックが可能です。

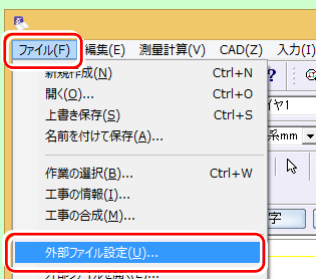


補足 PDF ファイルの取り込み

PDF ファイルは[ファイル]—[PDF 取込アシスト]から取り込むことができます。

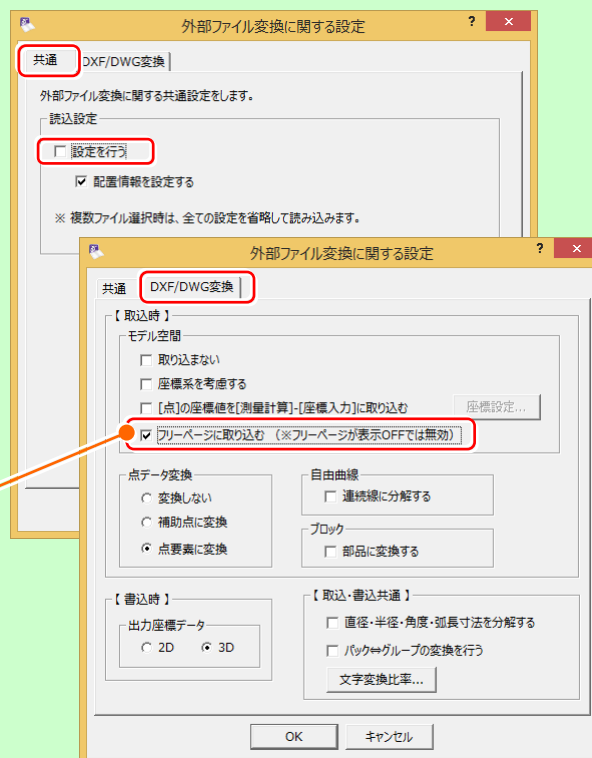
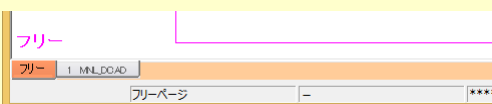
補足 外部ファイル変換に関する設定について

[ファイル]—[外部ファイル設定]の[外部ファイル変換に関する設定]ダイアログの共通タブの[読込設定]の[設定を行う]のチェックをオンにすると、図面取り込み時に、製図基準テンプレートの設定や、レイヤ・線・ペン変換の設定をおこなうことができます。



DXF/DWG 変換タブでは取込時・書込時の設定がおこなえます。

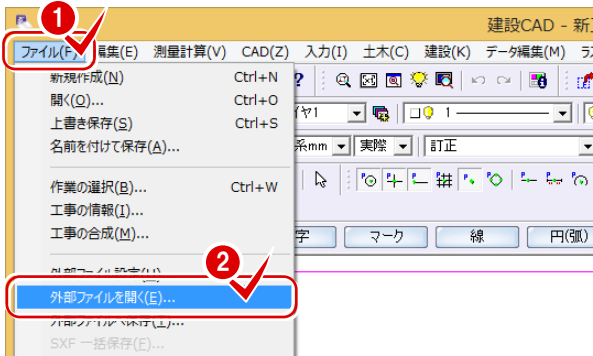
[フリーページに取り込む(※フリーページが表示OFFでは無効)]のチェックをオンにすると、モデル空間をフリーページに取り込みます。



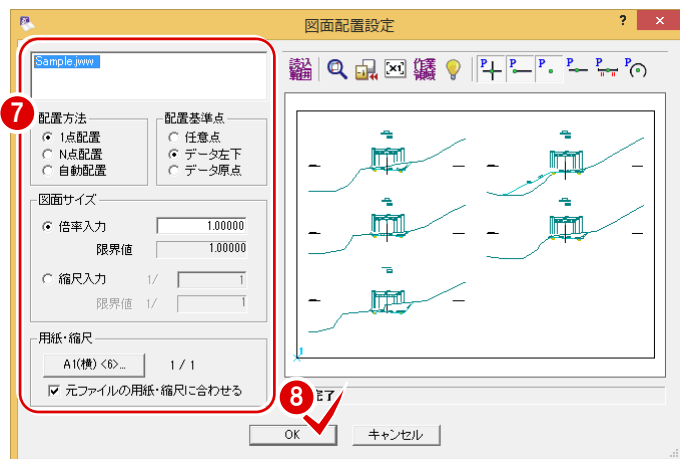
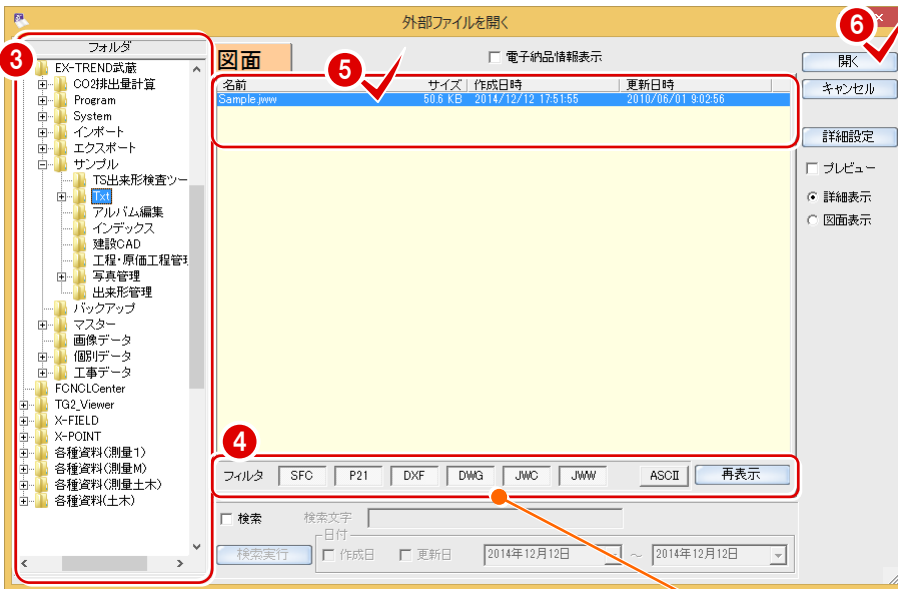
011

JWC/JWWの図面を開く

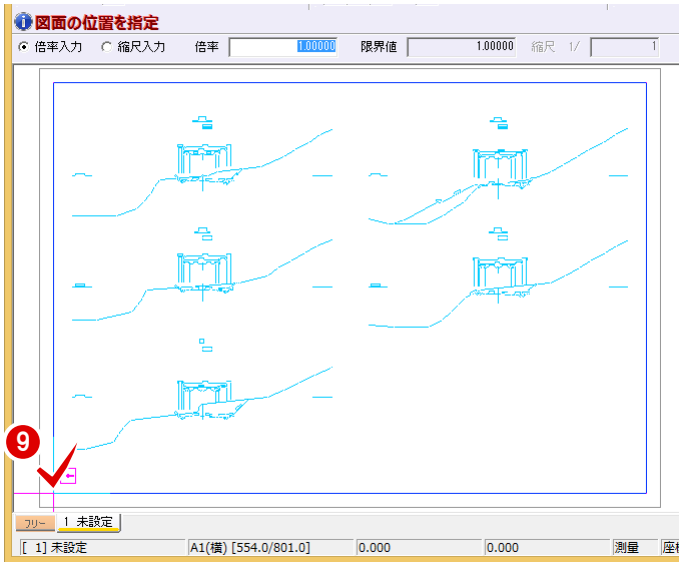
[ファイル]－[外部ファイルを開く]で開きます。



- 1 [ファイル]－[外部ファイルを開く]をクリックします。(1 2)
- 2 フォルダ、フィルター、ファイルを選択して、[開く]をクリックします。(3 4 5 6)
- 3 配置方法、図面サイズを設定して、[OK]をクリックします。(7 8)

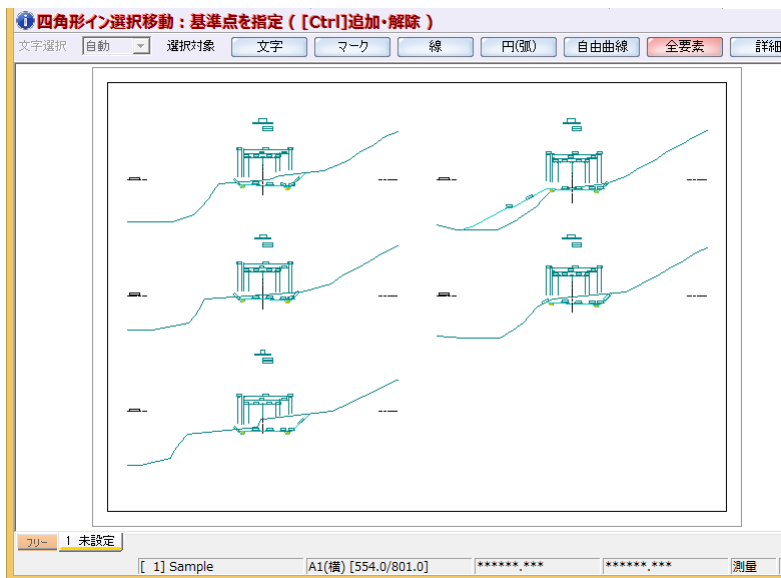
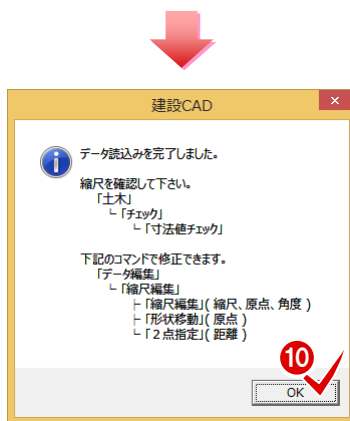


ここで取り込むファイルの種類を選択します。ファイルの種類を絞り込むことによって、容易にファイルを選択することができます。



4 配置位置をクリックします。(9)

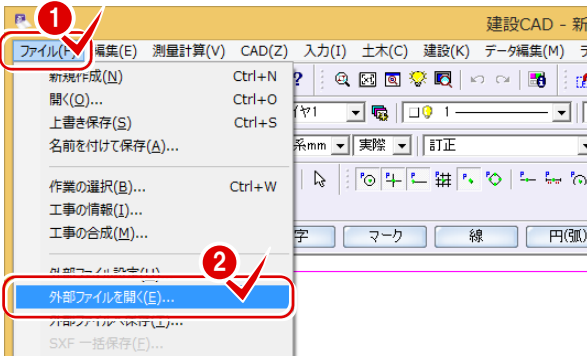
6 [OK]をクリックします。(10)



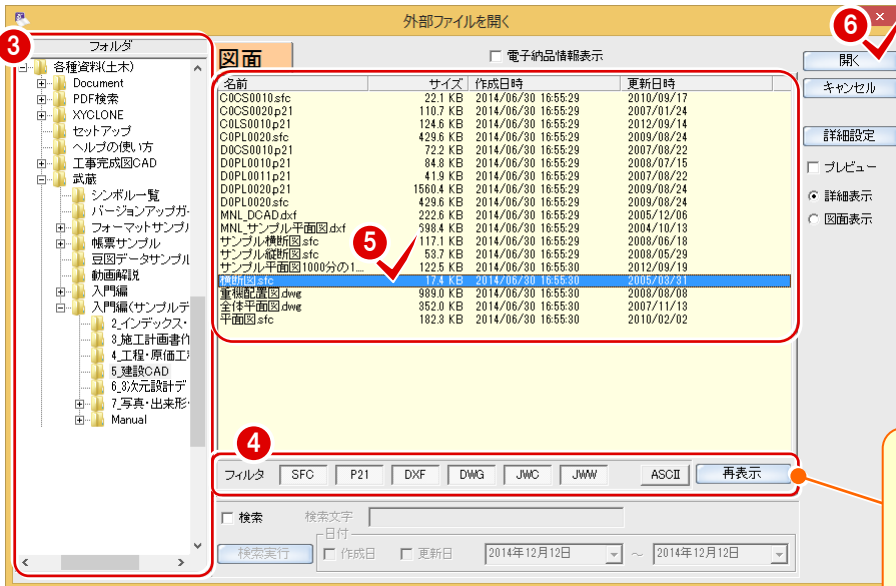
012

SXFの図面を開く

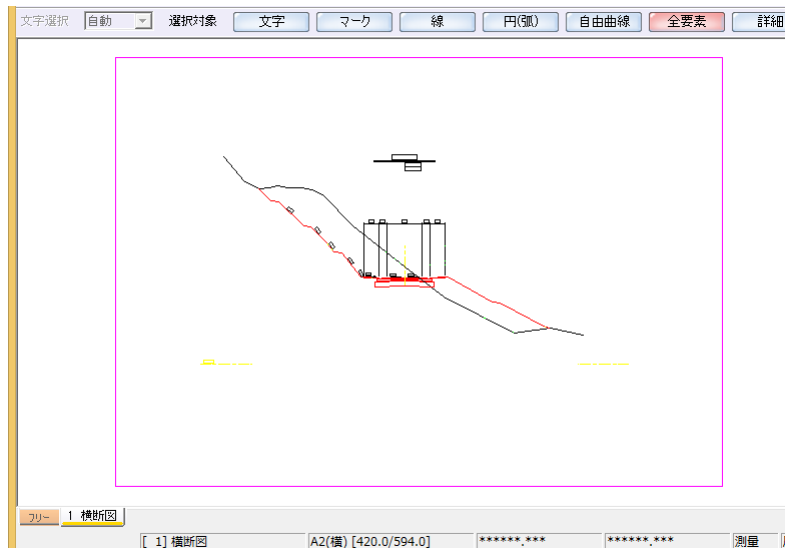
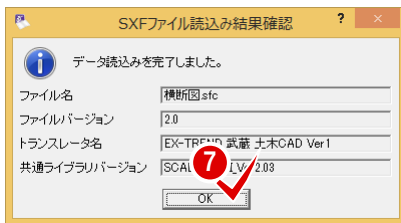
[ファイル]－[外部ファイルを開く]で開きます。



- 1 [ファイル]－[外部ファイルを開く]をクリックします。(1 2)
- 2 フォルダ、フィルター、ファイルを選択して、[開く]をクリックします。(3 4 5 6)
- 3 [OK]をクリックします。(7)

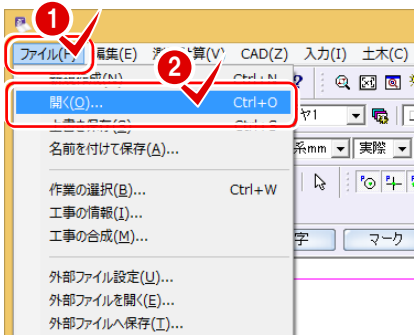


ここで取り込むファイルの種類を選択します。ファイルの種類を絞り込むことによって、容易にファイルを選択することができます。

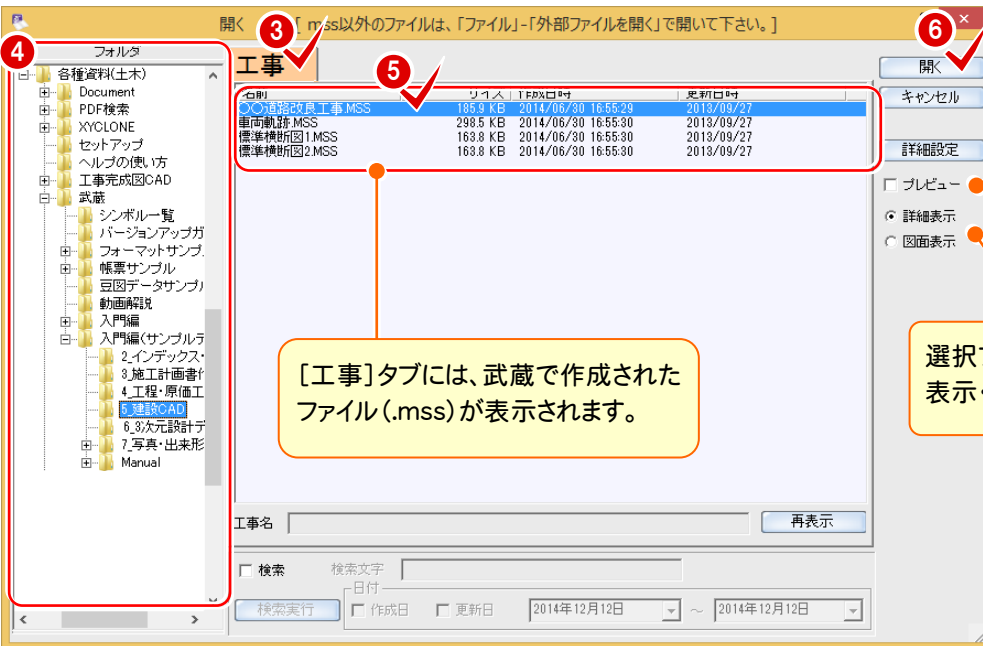


013 武蔵(.mss)ファイルを開く

[ファイル]－[開く]で開きます。



- 1 [ファイル]－[開く]をクリックします。
(1 2)
- 2 [工事]をクリックし、フォルダー、ファイルを指定して、[開く]をクリックします。
(3 4 5 6)



[プレビュー]のチェックをオンにすると左下にプレビュー表示されます。

選択フォルダー内にある図面を詳細表示・図面表示に切り替えます。

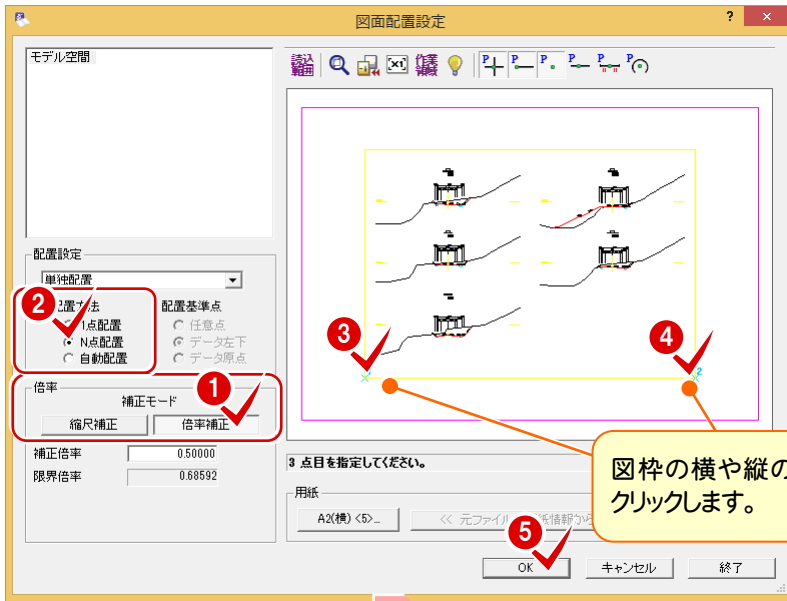
[工事]タブには、武蔵で作成されたファイル(.mss)が表示されます。

014

用紙に合わせて図面を配置する

[ファイル] - [外部ファイルを開く] で、DXF/DWG/JWC/JWWの図面を取り込むときに表示される[図面配置設定]ダイアログで[N点配置]を選択して配置します。

[N点配置]とは相対する複数(N)の点を指定して補正配置する方法です。



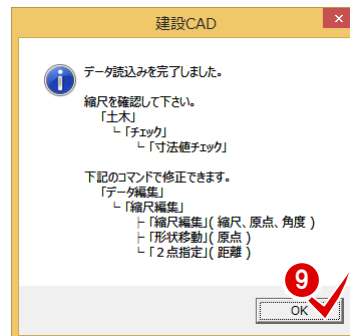
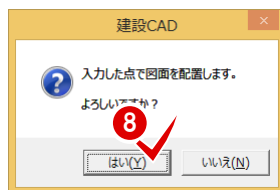
1 [倍率補正]、[N点配置]をクリックし、図面上の2点をクリックして、[OK]をクリックします。
(1 2 3 4 5)

2 用紙のコーナーをクリックして、[はい]をクリックします。
(6 7 8 9)

図枠の横や縦の2点をクリックします。



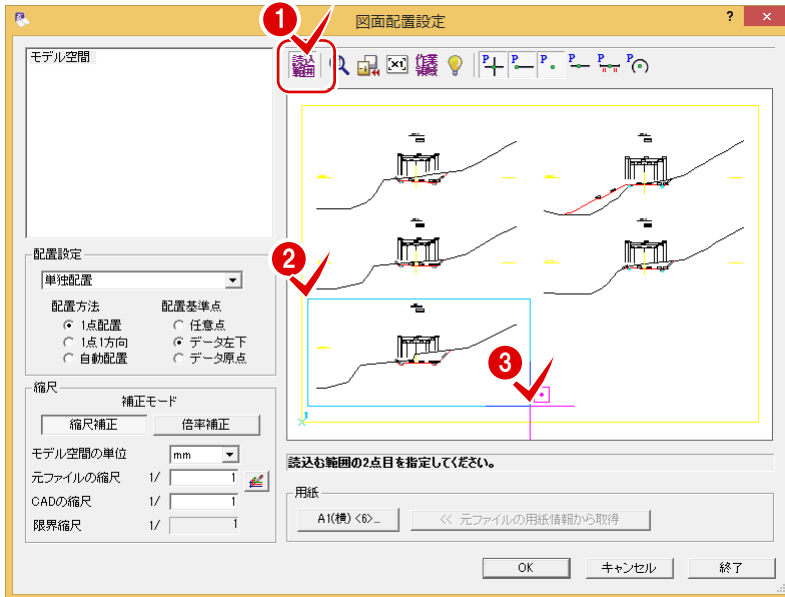
DXF/DWGの場合は、用紙枠のサイズと用紙サイズが異なるときもあるので、確認が必要です。修正の必要がある場合もあります。



015

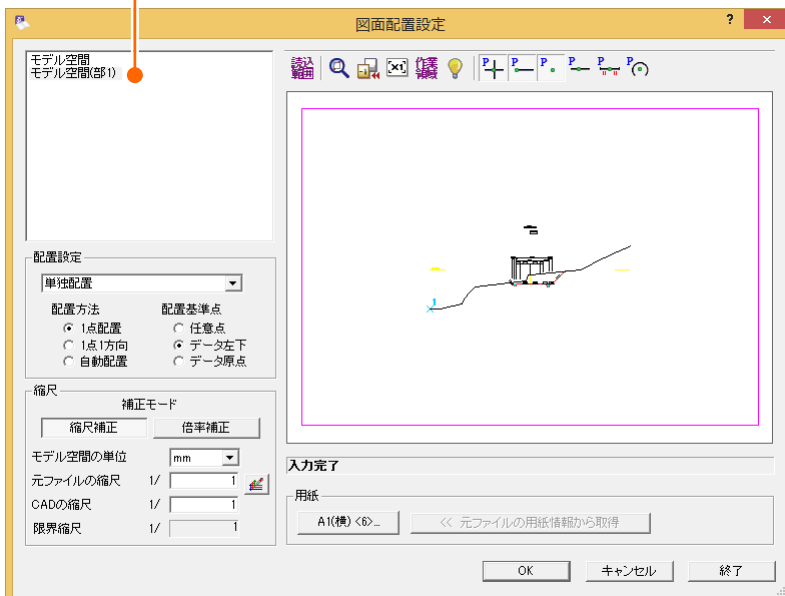
読み込む範囲を指定して配置する

[ファイル]－[外部ファイルを開く]で、DXF/DWG/JWC/JWWの図面を取り込むときに表示される[図面配置設定]ダイアログの[読み込む範囲]ボタンで範囲を指定して配置します。



- 1 [読み込む範囲]をクリックして、読み込む範囲を指定します。
(1 2 3)

[モデル空間(部)]が追加され指定した範囲で図面が作成されます。
[モデル空間]をクリックすると、画面が切り替わるので、読み込みたい範囲を指定し直すこともできます。



016

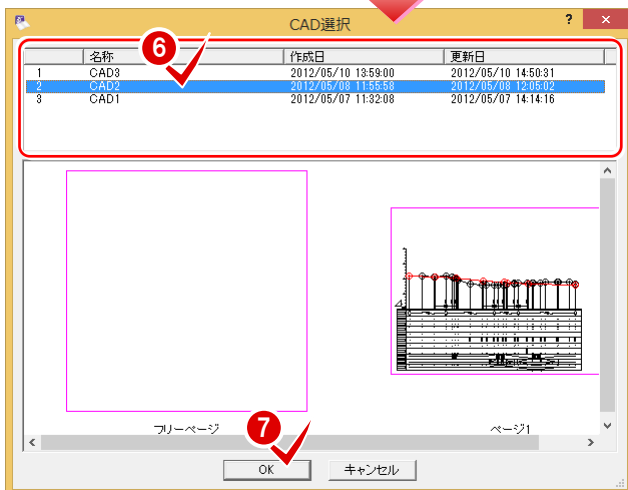
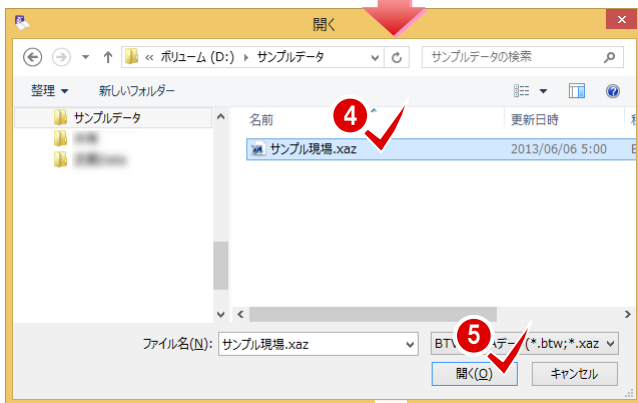
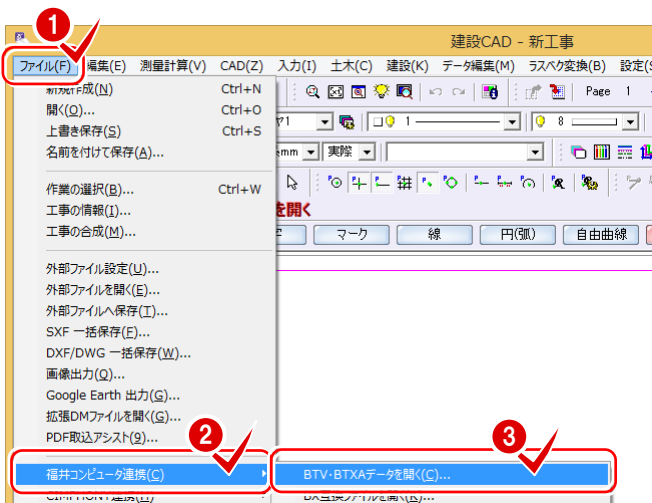
測量ソフト(BLUETREND V・XA)データを開く

[ファイル]－[福井コンピュータ連携]－[BTV・BTXA データを開く]で開きます。
 《BM コンバータ》(BTV・XA→建設 CAD データコンバータ)を
 インストールしている場合に有効です。

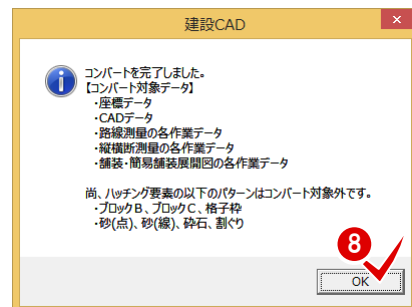
対象バージョンは以下の通りです。

BLUETREND XA 2011 以降 BLUETREND V Ver.1.0 以降
 EX-TREND Win Ver.3.0 以降

建設 CAD のデータ(工事データ)は、新規データになります。既存のデータを開いている場合は、
 コマンド実行後に、上書き保存の確認、新規に工事データを作成してコンバートします。



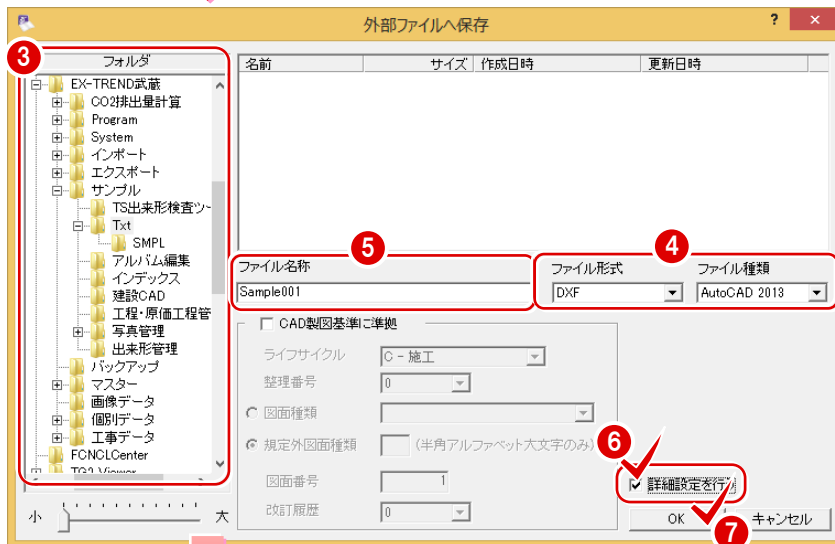
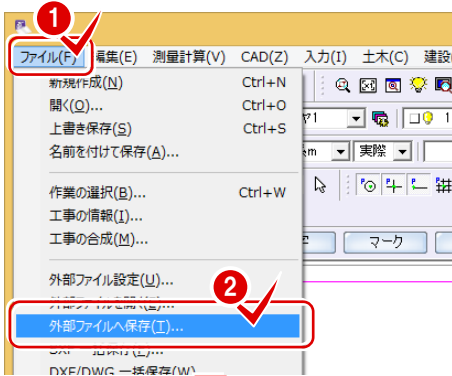
- 1 [ファイル]－[福井コンピュータ連携]－[BTV・BTXAデータを開く]をクリックします。(1 2 3)
- 2 フォルダー、ファイル(拡張子btw・xaz)を指定して、[開く]をクリックします。(4 5)
- 3 作業データを指定して、[OK]をクリックします。(6 7)
- 4 [OK]をクリックします。(8)



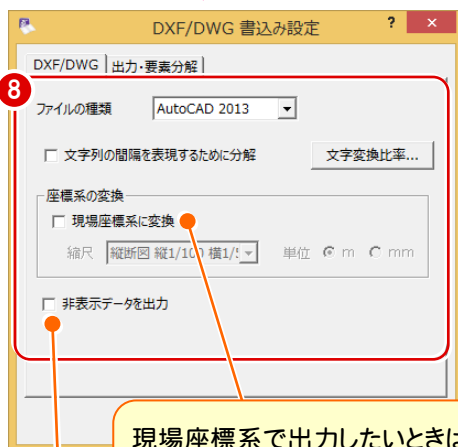
017

DXF/DWG 形式で保存する

[ファイル]－[外部ファイルへ保存]でDXF/DWG形式に変換して保存します。

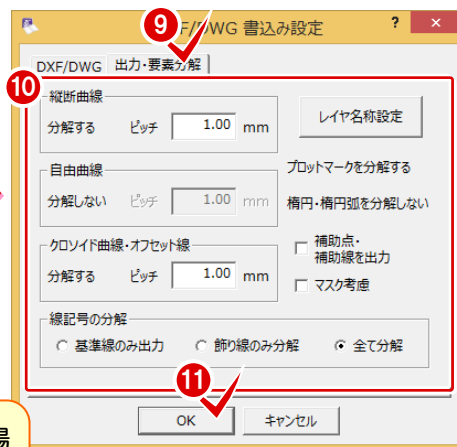


- 1 [ファイル]－[外部ファイルへ保存]をクリックします。(1 2)
- 2 保存するフォルダー、ファイル形式、ファイル種類を選択して、ファイル名称を入力します。(3 4 5)
- 3 [詳細設定を行う]のチェックをオンにして、[OK]をクリックします。(6 7)
- 4 DXF/DWG書き込み時の設定をおこないます。(8)
- 5 [出力・要素分解]をクリックして、DXF/DWG書き込み時の要素の分解などを設定します。(9 10)
- 6 [OK]をクリックします。(11)
- 7 [OK]をクリックします。(12)



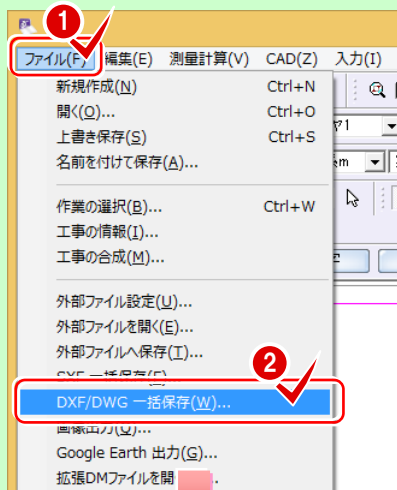
現場座標系で出力したいときは、[現場座標系に出力]のチェックをオンにして、[縮尺]を設定します。

非表示データもすべて出力する場合は [非表示データを出力]のチェックをオンにしてください。

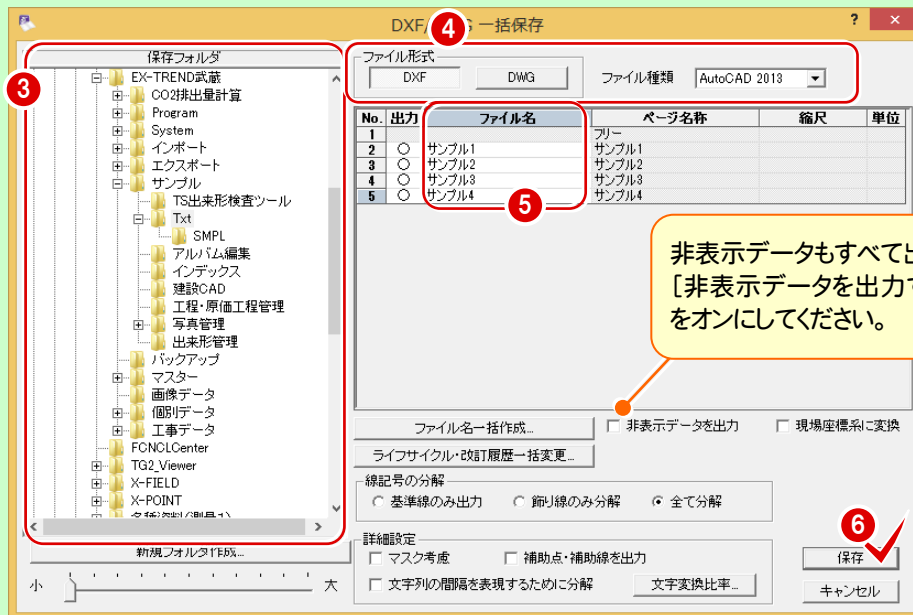


補足 全ての図面をDXF/DWG形式に一括して保存する

[ファイル]－[DXF/DWG一括保存]でDXF/DWG形式に一括変換して保存します。



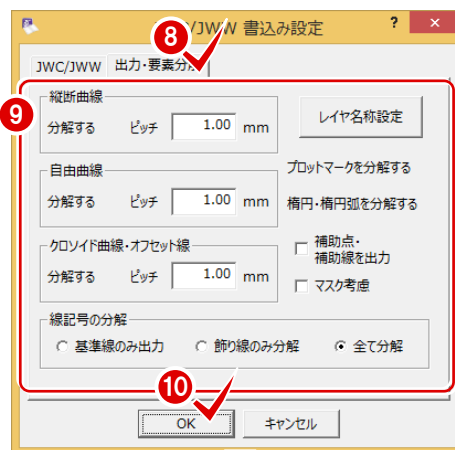
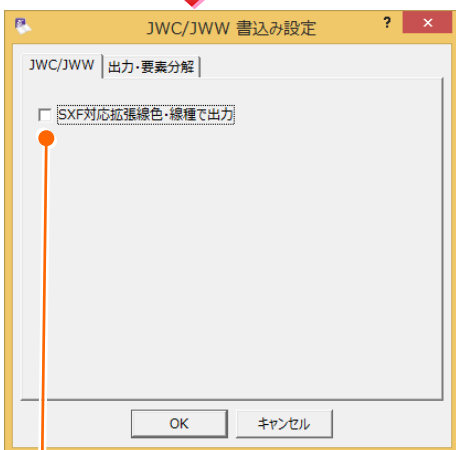
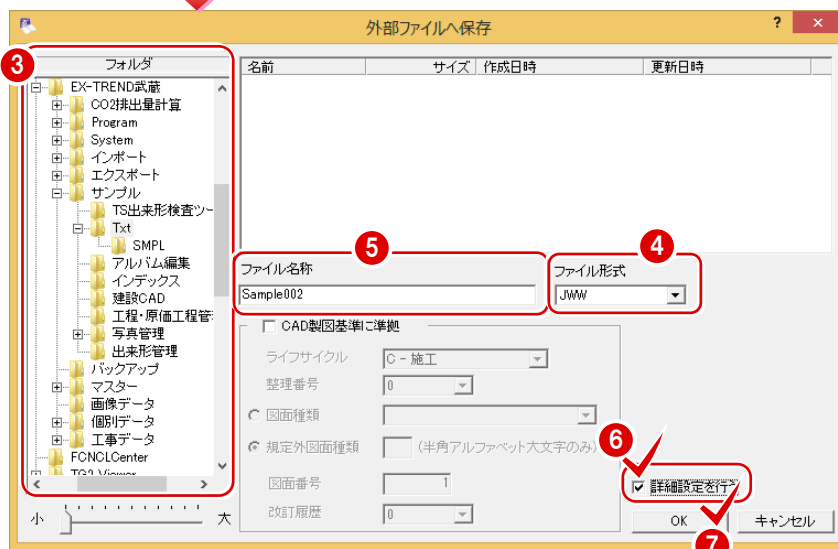
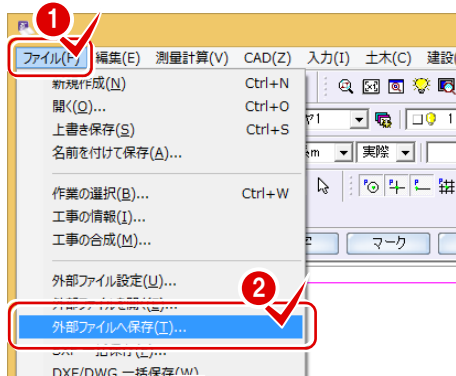
- 1 [ファイル]－[DXF/DWG一括保存]をクリックします。(1 2)
- 2 保存するフォルダー、ファイル形式、ファイル種類、ファイル名を設定して、[保存]をクリックします。(3 4 5 6)
- 3 [OK]をクリックします。(7)



018

JWC/JWW形式で保存する

[ファイル]－[外部ファイルへ保存]でJWC/JWW形式に変換して保存します。



[SXF対応拡張線色・線種で出力]のチェックをオンにした場合は、Jwcadにおける、SXFに対応した拡張線色および線種で出力します。

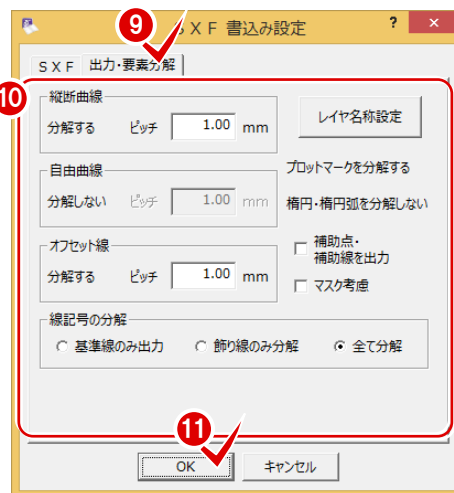
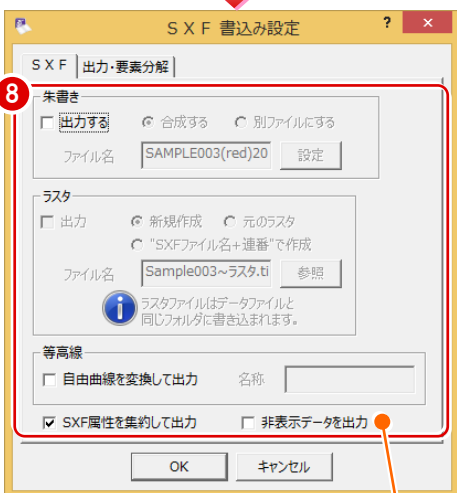
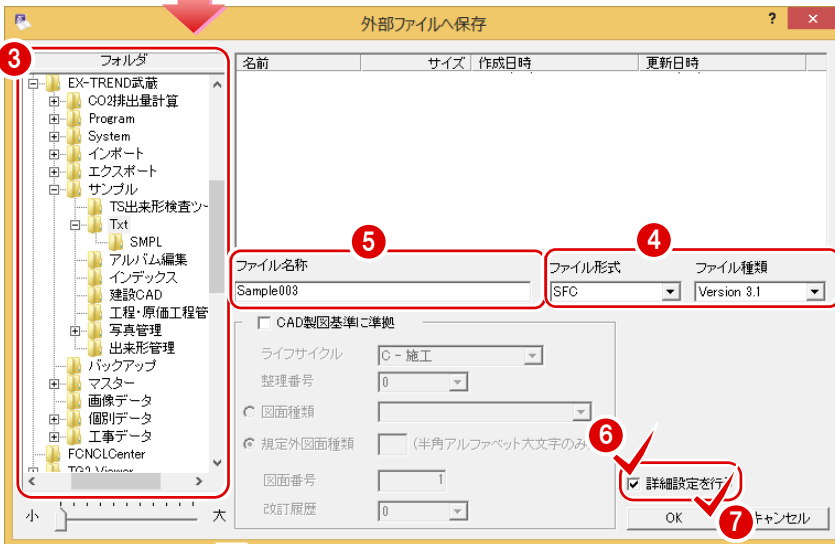
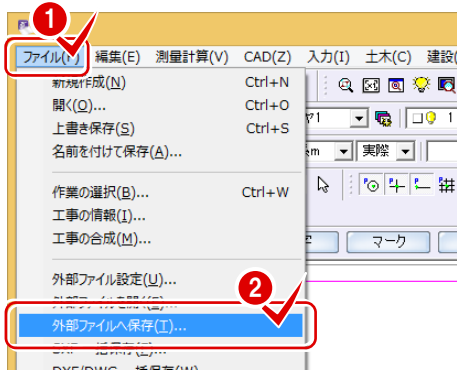


- 1 [ファイル]－[外部ファイルへ保存]をクリックします。(1 2)
- 2 保存するフォルダー、ファイル形式を選択して、ファイル名称を入力します。(3 4 5)
- 3 [詳細設定を行う]のチェックをオンにして、[OK]をクリックします。(6 7)
- 4 [出力・要素分解]をクリックします。(8)
- 5 JWC/JWW書き込み時の要素の分解などを設定して、[OK]をクリックします。(9 10)
- 6 [OK]をクリックします。(11)

019

SXF形式で保存する

[ファイル]－[外部ファイルへ保存]でSXF形式に変換して保存します。



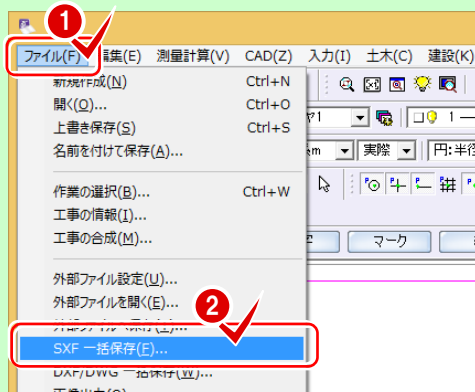
非表示データもすべて出力する場合は
[非表示データを出力する]のチェック
をオンにしてください。



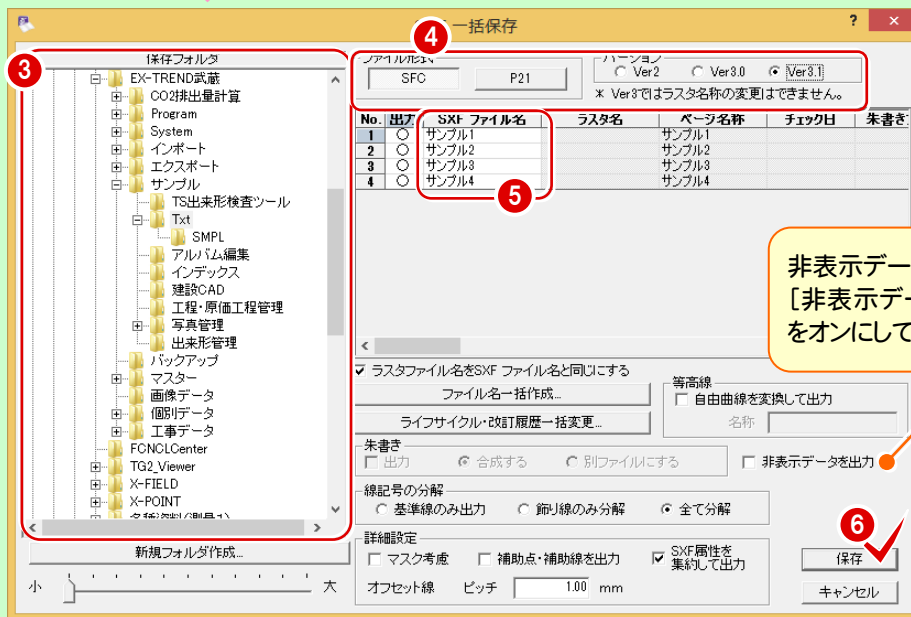
- 1 [ファイル]－[外部ファイルへ保存]をクリックします。(1 2)
- 2 保存するフォルダ、ファイル形式、ファイル種類を選択して、ファイル名称を入力します。(3 4 5)
- 3 [詳細設定を行う]のチェックをオンにして、[OK]をクリックします。(6 7)
- 4 SFC書き込み時の設定をおこないます。(8)
- 5 [出力・要素分解]をクリックして、SFC書き込み時の要素の分解などを設定します。(9 10)
- 6 [OK]をクリックします。(11)
- 7 [OK]をクリックします。(12)

補足 全ての図面をSXF形式に一括して保存する

[ファイル]－[SXF一括保存]でSXF形式に一括変換して保存します。



- 1 [ファイル]－[SXF一括保存]をクリックします。(1 2)
- 2 保存するフォルダー、ファイル形式、ファイル種類、ファイル名を設定して、[保存]をクリックします。(3 4 5 6)
- 3 [OK]をクリックします。(7)



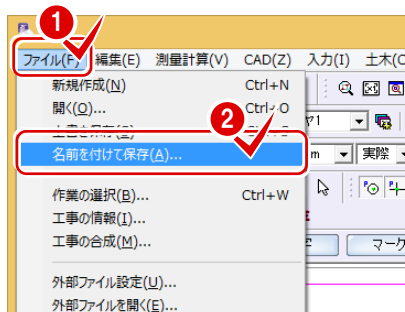
非表示データもすべて出力する場合は
[非表示データを出力]のチェック
をオンにしてください。



020

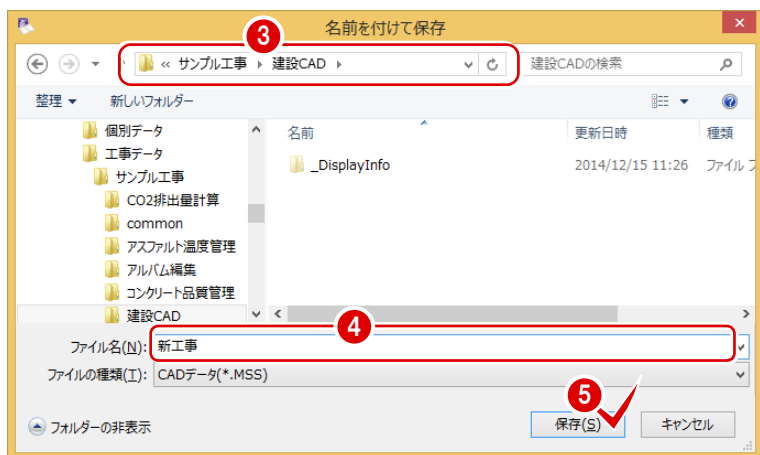
武蔵 (.mss) 形式で保存する

[ファイル]－[名前を付けて保存]で保存します。



1 [ファイル]－[名前を付けて保存]をクリックします。(1 2)

2 保存するフォルダー、ファイル名を設定して、[保存]をクリックします。(3 4 5)



補足

上書き保存について

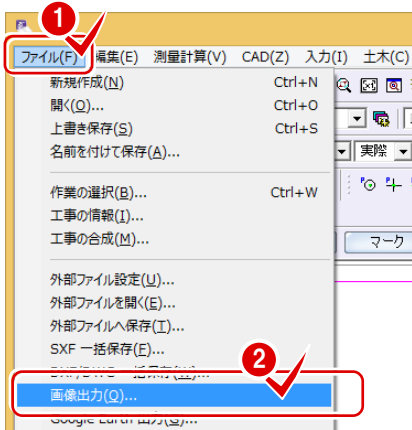
上書き保存を実行すると、前回保存したデータに上書きされ、前回のデータはなくなります。

前回のデータを残す場合は、[ファイル]－[名前を付けて保存]を使用してください。

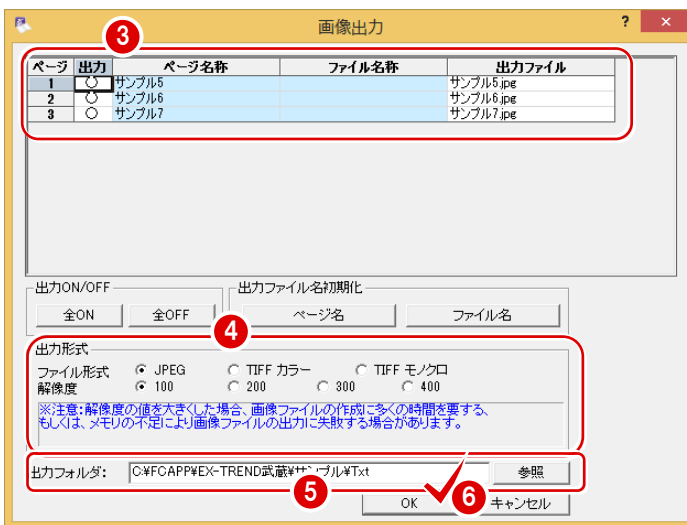
021

画像形式(JPEG・TIFF)で保存する

[ファイル]－[画像出力]で保存します。



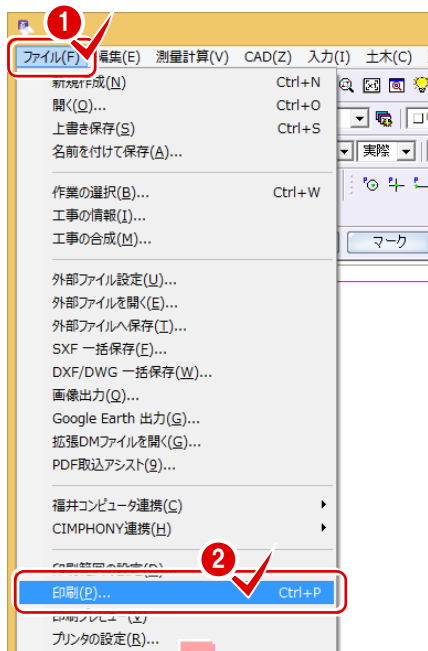
- 1 [ファイル]－[画像出力]をクリックします。(① ②)
- 2 画像出力するページの[出力]を「○」にして、ファイル名を入力します。(③)
- 3 出力形式、出力先のフォルダーを設定して、[OK]をクリックします。(④ ⑤ ⑥)
- 4 [OK]をクリックします。(⑦)



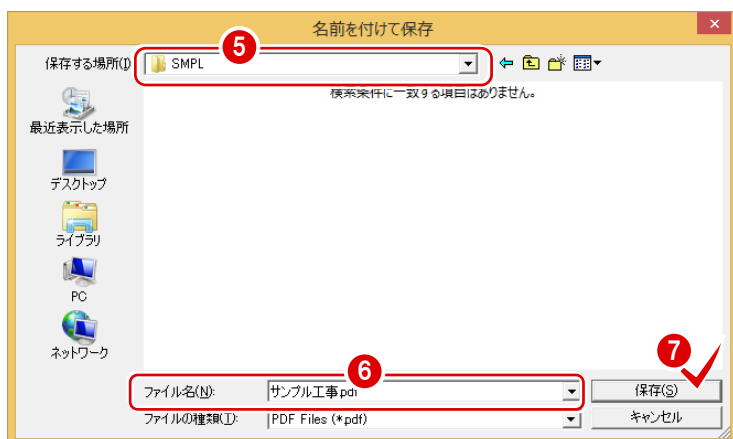
022

PDF 形式で保存する

[ファイル]－[印刷]で、データをPDF形式で保存します。



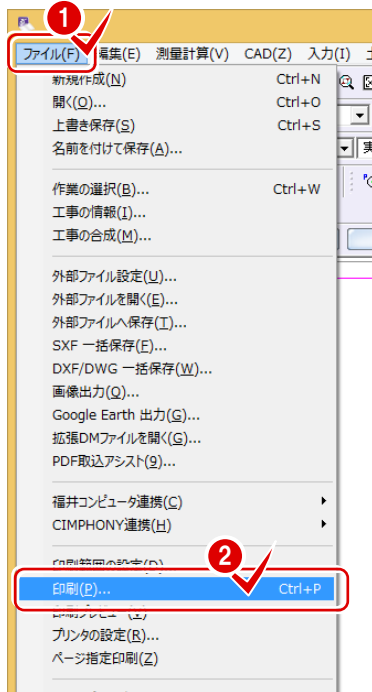
- 1 [ファイル]－[印刷]をクリックします。
(① ②)
- 2 [プリンター名]で「Antenna House PDF Driver 5.0」を選択して、[OK]をクリックします。(③ ④)
- 3 保存するフォルダー、ファイル名を設定して、[保存]をクリックします。
(⑤ ⑥ ⑦)



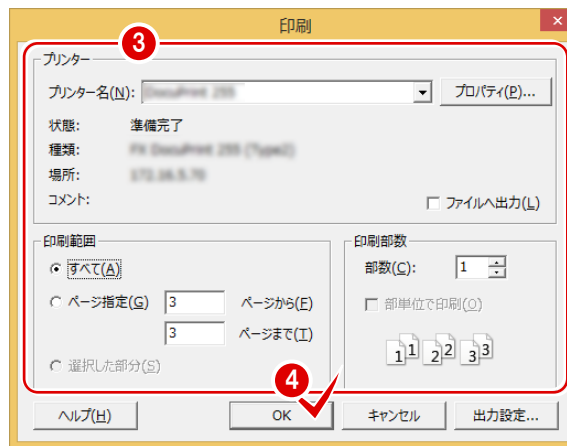
023

データを印刷する

[ファイル]－[印刷]で、データを印刷します。

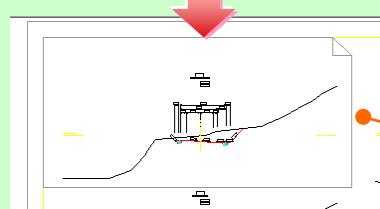
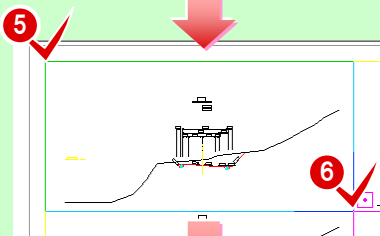
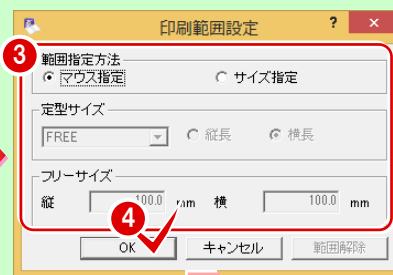
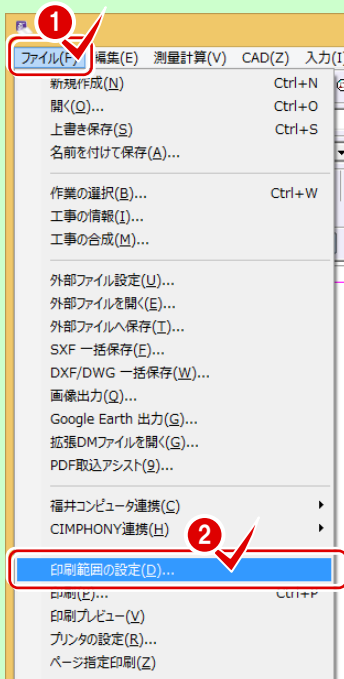


- 1 [ファイル]－[印刷]をクリックします。(1 2)
- 2 プリンター、印刷範囲、印刷部数を設定して、[OK]をクリックします。(3 4)



補足 印刷範囲を設定して部分印刷する

[ファイル]－[印刷範囲の設定]で印刷範囲を設定します。

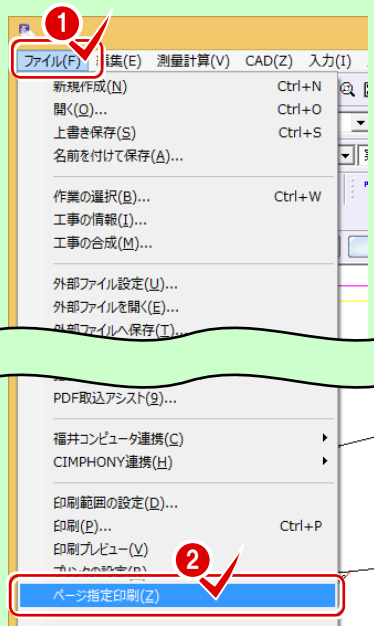


- 1 [ファイル]－[印刷範囲の設定]をクリックします。(1 2)
- 2 範囲指定方法を選択して、[OK]をクリックします。(3 4)
- 3 印刷範囲を指定します。(5 6)

印刷範囲が表示されます。

補足 印刷するページを選択して印刷する

[ファイル]－[ページ指定印刷]で印刷するページを選択します。



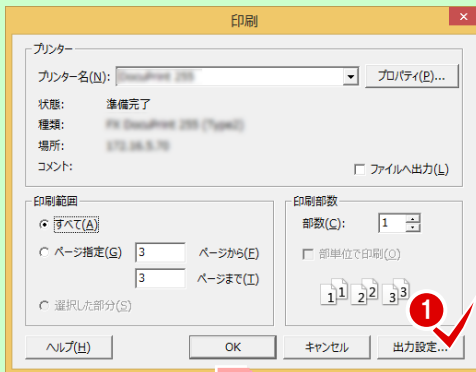
- 1 [ファイル]－[ページ指定印刷]をクリックします。(1 2)
- 2 印刷するページを選択して、[OK]をクリックします。(3 4)



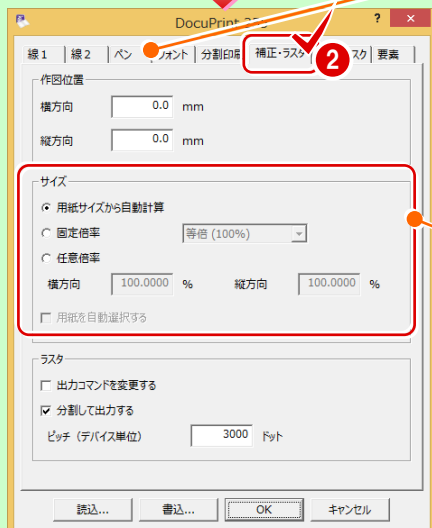
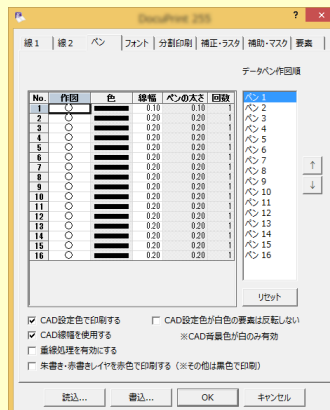
補足 印刷の出力設定について

[印刷]ダイアログの[出力設定]－[補正・ラスタ]で印刷サイズの設定などがおこなえます。ただし、設定によっては縮尺が正しく印刷されないのので、注意してください。

詳しくはヘルプを参照してください。



[ペン]タブで、ペンに関する設定をおこなうことができます。



[用紙サイズから自動計算]

プリンターの設定のサイズに自動で縮小・拡大されます。ただし、縮尺は正しく印刷されません。

[固定倍率]

固定の倍率を使用して、縮小・拡大されます。

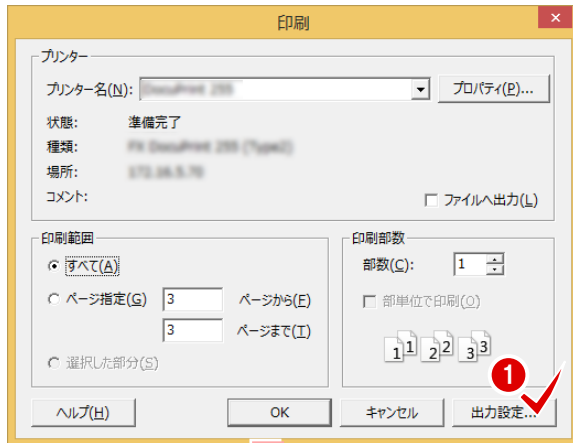
[任意倍率]

縦・横それぞれ任意の倍率を指定できます。ただし、縦横倍率が異なる場合はラスターデータの補正ができません。

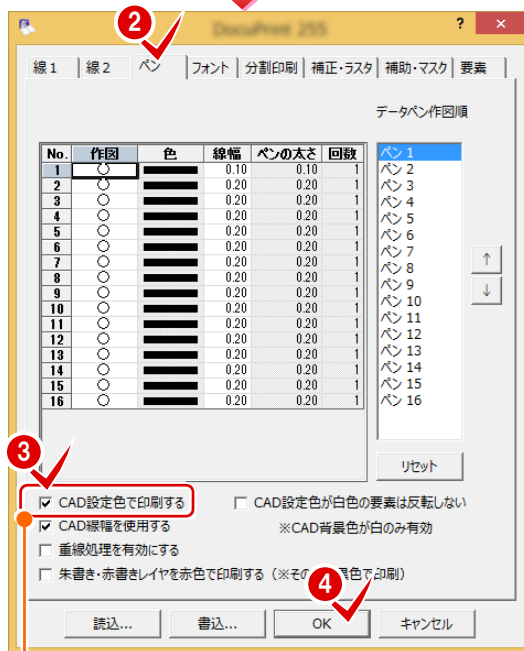
024

CADの設定色で印刷する

[印刷]ダイアログの[出力設定]の[ペン]タブで[CAD設定色で印刷する]をオンにします。



- 1 [出力設定]をクリックします。(1)
- 2 [ペン]をクリックし、[CAD設定色で印刷する]を選択して、[OK]をクリックします。(2 3 4)



[CAD設定色で印刷する][CAD線幅を使用する]のチェックがオンのときは、画面の表示色、線幅で印刷します。オフのときは、CADの設定は無効になります。[出力設定]—[ペン]で設定したペン No ごとの色、線幅で印刷します。

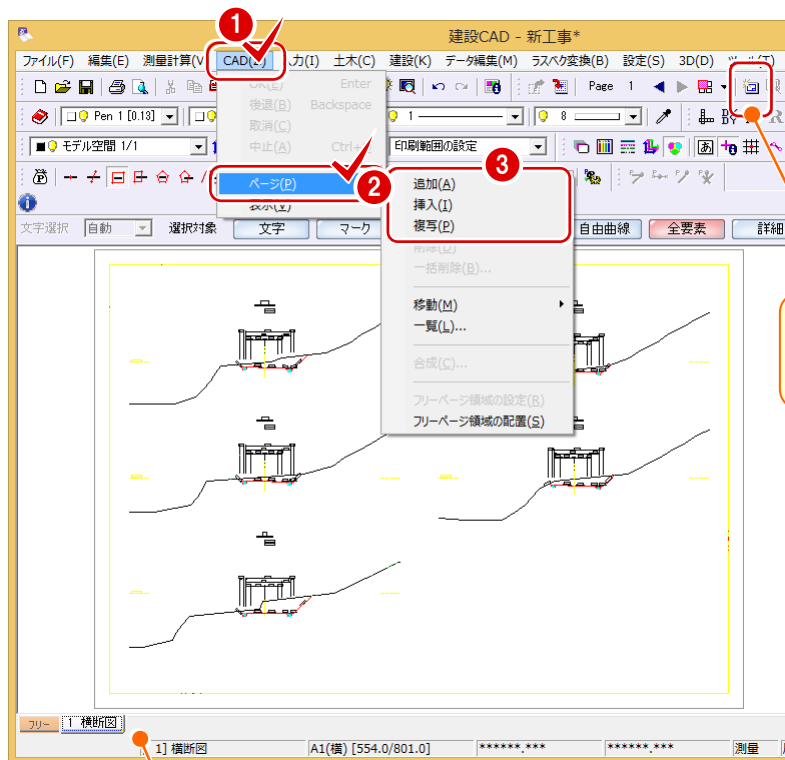
ページ

025	ページを追加・挿入・複写する……………	31
026	ページを削除する……………	32

025

ページを追加・挿入・複写する

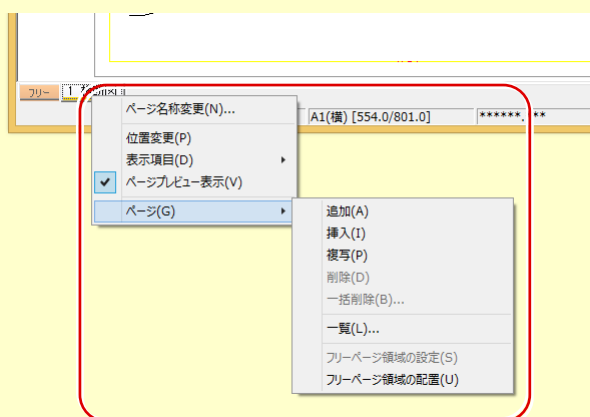
[CAD]–[ページ]–[追加][挿入][複写]でページを追加・挿入・複写します。



1 [CAD]–[ページ]の[追加]または[挿入]または[複写]をクリックします。(1 2 3)

[CAD:ページ:追加]のアイコンでもページを追加できます。

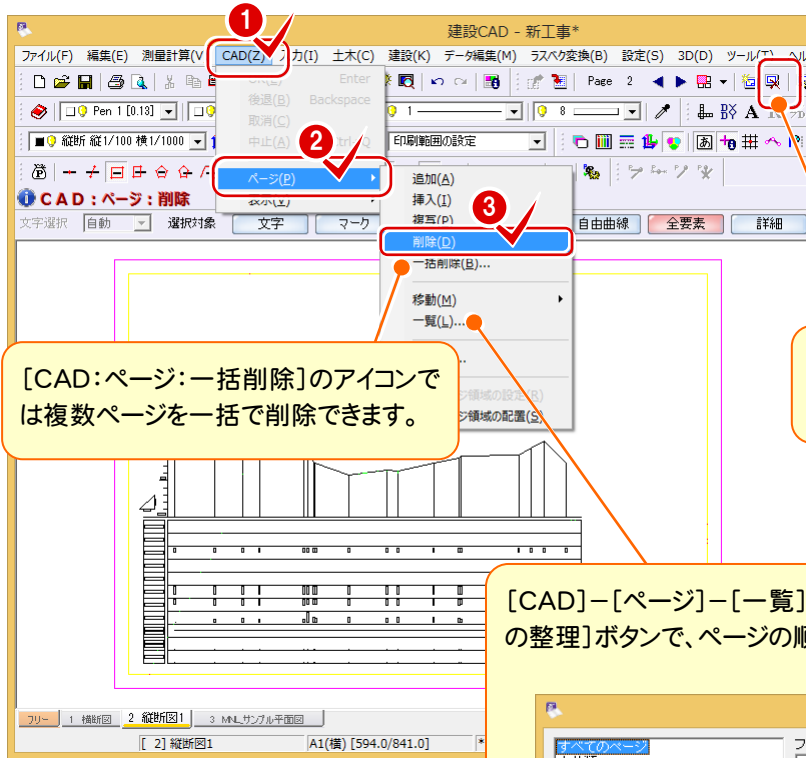
ページタブを右クリックして表示されるポップアップメニューの[ページ]–[追加][挿入][複写]でもページを追加・挿入・複写できます。



026

ページを削除する

[CAD] - [ページ] - [削除] でページを削除します。



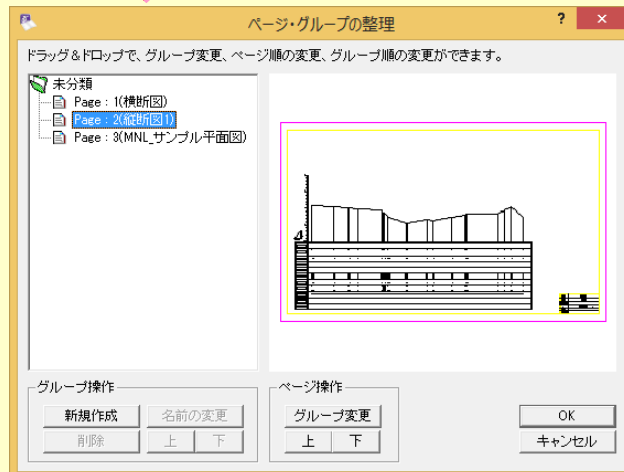
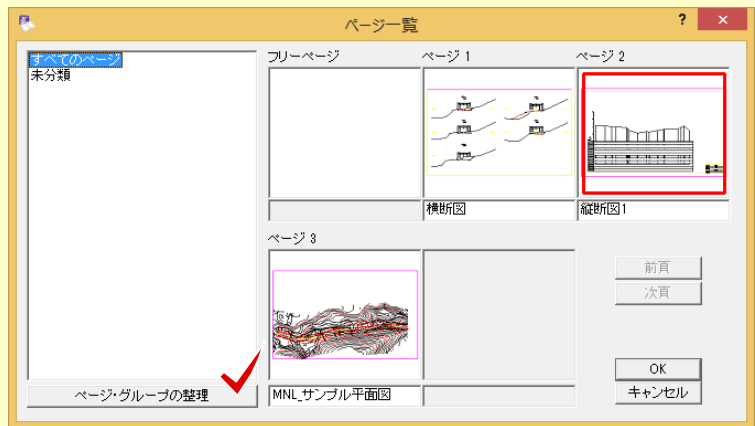
1 [CAD] - [ページ] - [削除] をクリックします。
(① ② ③)

2 [OK] をクリックします。(④)

[CAD:ページ:一括削除]のアイコンでは複数ページを一括で削除できます。

[CAD:ページ:削除]のアイコンでもページを削除できます。

[CAD] - [ページ] - [一覧] でページ一覧を表示します。[ページ・グループの整理] ボタンで、ページの順番や、グループ毎の管理ができます。



用紙・座標系

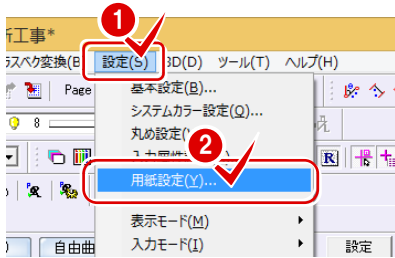
027	用紙を設定する.....	34
028	座標系を設定する.....	35

027

用紙を設定する

[設定]－[用紙設定]で用紙を設定します。

ここでは、用意されている用紙設定を読み込む操作で解説します。

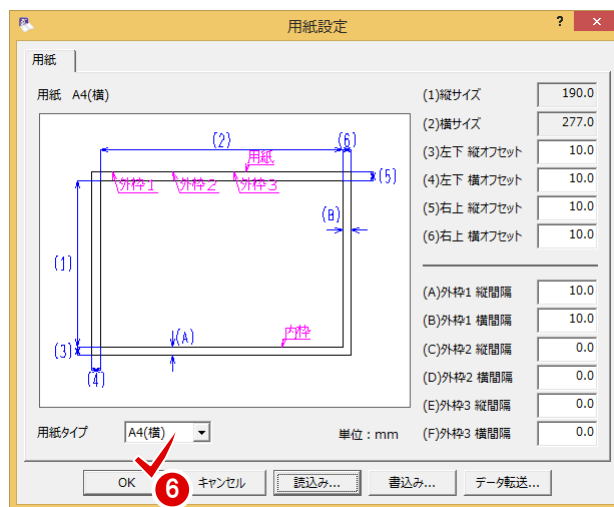
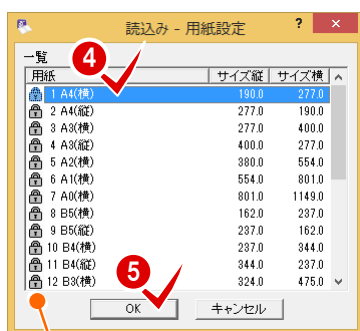
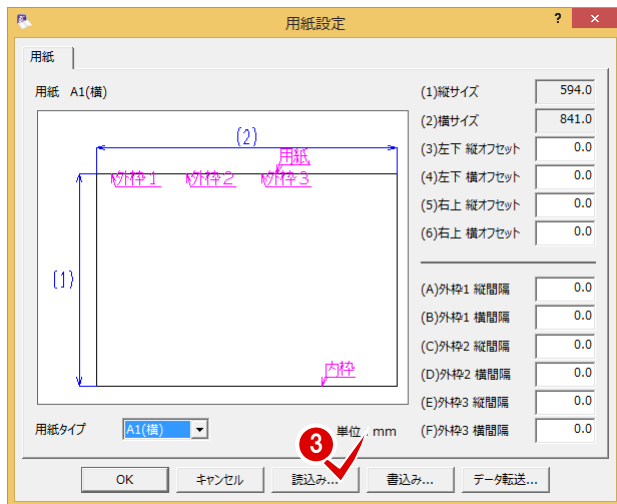




1 [ページ設定]－[用紙]をクリックします。
(1 2)

2 [読み込み]をクリックします。(3)

3 「A4(横)」をクリックして、[OK]をクリックします。(4 5)

4 [OK]をクリックします。(6)

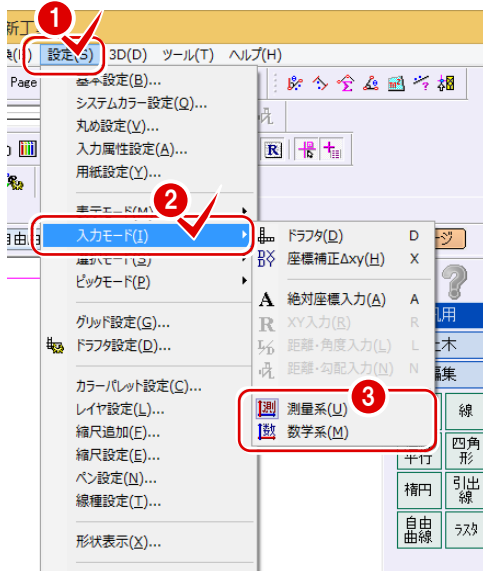


読み込む設定ファイルには2種類あります。
No.1に  が付いた設定ファイルはインストール時に組み込まれます。ファイルそのものを更新することはできません。
No.1に  が付いていないファイルは[書込み]から書き込んだものです。ファイルそのものを更新することが可能です。

028

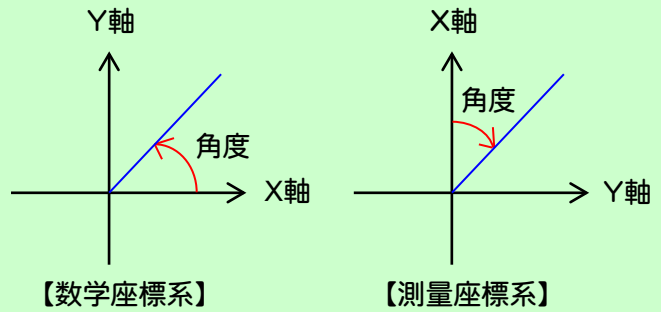
座標系を設定する

[設定]－[入力モード]－[測量系][数学系]で設定します。



- 1 [設定]－[入力モード]－[測量系]または
[数学系]をクリックします。
(① ② ③)

補足 数学座標系、測量座標系



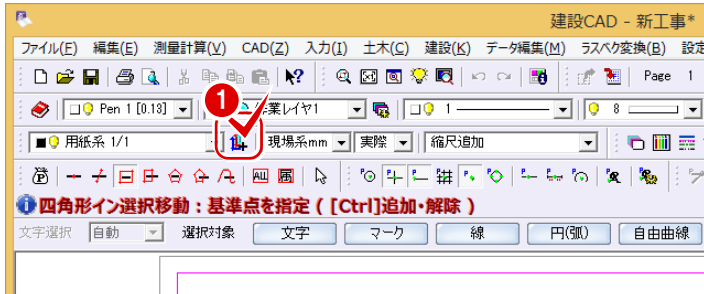
縮尺・入力単位

029	縮尺を設定する.....	37
030	縮尺を変更する.....	38
031	入力単位を設定する.....	39

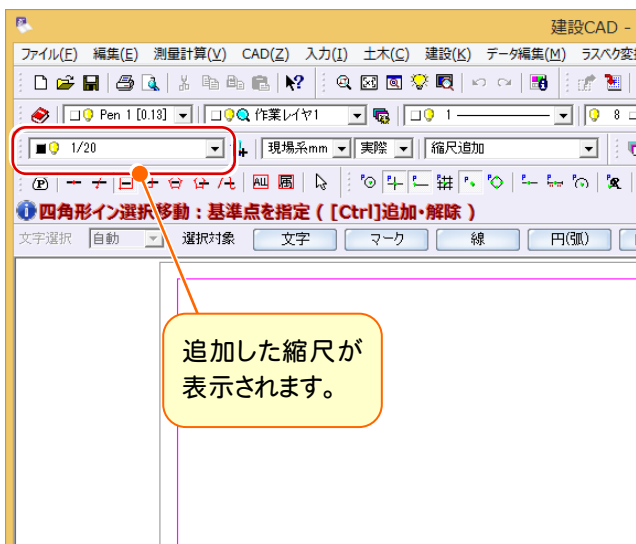
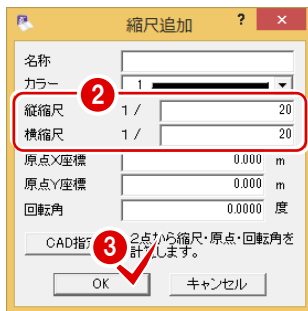
029

縮尺を設定する

[設定:縮尺追加]のアイコンで縮尺を設定します。



- 1 [設定:縮尺追加]のアイコンをクリックします。(1)
- 2 縦縮尺、横縮尺を入力して、[OK]をクリックします。(2 3)



030

縮尺を変更する

[編集]－[縮尺]－[縮尺編集]で縮尺を変更します。

[基準点マウス指定]のチェックをオンにすると、縮尺変更の基準を指定できます。オフのときは用紙左下を基準とします。

- 1 [編集]－[縮尺]－[縮尺編集]をクリックします。(1 2 3)
- 2 編集する縮尺を選択します。(4)
- 3 [縮尺を変更する]を選択し、変更後の縮尺を入力して、[OK]をクリックします。(5 6)
- 4 基準点をクリックします。(7)
- 5 [OK]をクリックします。(8)

① 縮尺編集 : 縮尺編集 : 伸縮の基準点を指定

用紙枠が表示されますので、用紙を図面に合わせる感覚でマウスカーソルを合わせます。

建設CAD

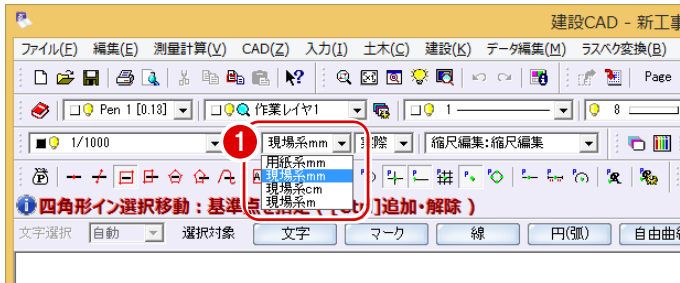
⑧ コマンドを実行すると、UNDOができなくなります。実行しますか？

OK キャンセル

031

入力単位を設定する

[入力単位]ボックスで設定します。



1 入力単位を設定します。(1)

補足 入力単位

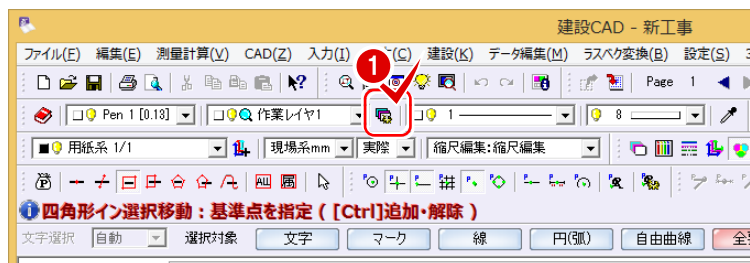
- 用紙系 mm 縮尺を考慮しない(1/1)値で入力します。
- 現場系 mm 縮尺を考慮した mm 単位の値で入力します。
- 現場系 cm 縮尺を考慮した cm 単位の値で入力します。
- 現場系 m 縮尺を考慮した m 単位の値で入力します。

レイヤ

032	レイヤを設定する	41
033	CAD製図基準に準拠したレイヤを読み込む	42
034	[属性移動]でレイヤを移動する	43
035	データを選択してレイヤを移動する	44
036	イメージ表示でレイヤを確認する	45

032 レイヤを設定する

[設定:レイヤ設定]のアイコンでレイヤを設定します。

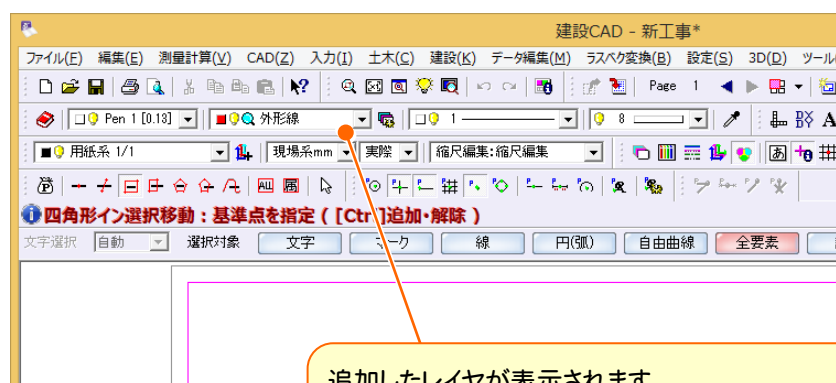
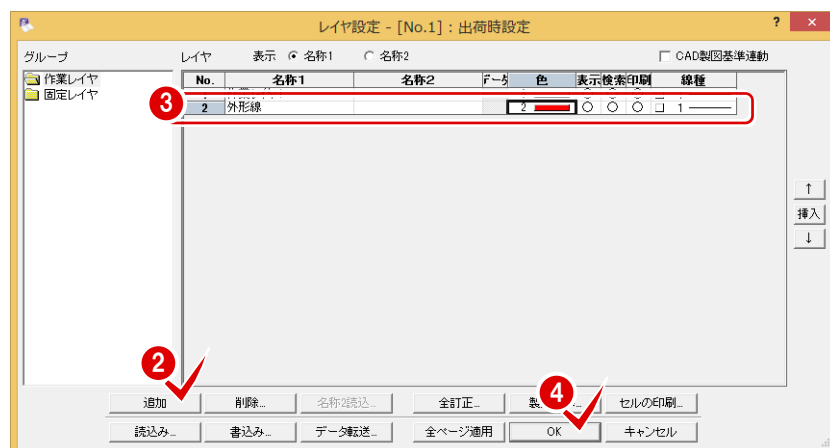


1 [設定:レイヤ設定]のアイコンをクリックします。(1)

2 [追加]をクリックします。(2)

3 レイヤ名を入力して、色や線種などを設定します。(3)

4 [OK]をクリックします。(4)



追加したレイヤが表示されます。

■ レイヤの色を表示します。

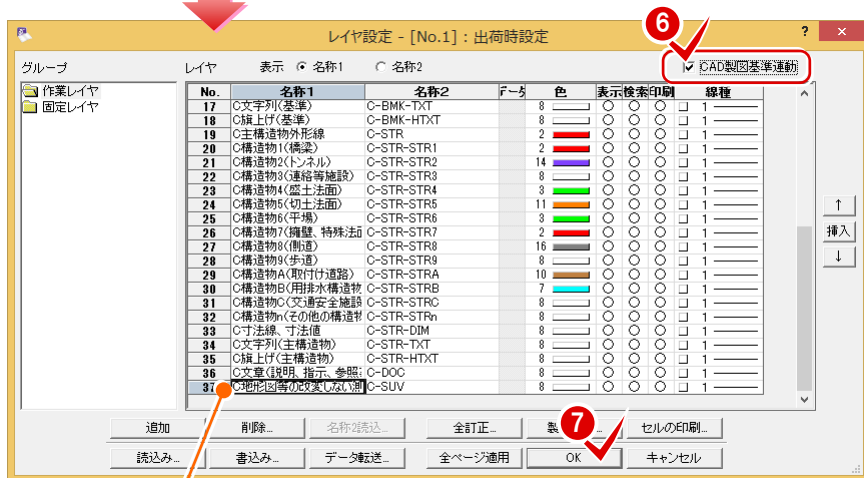
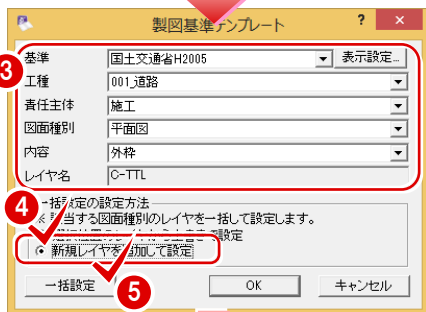
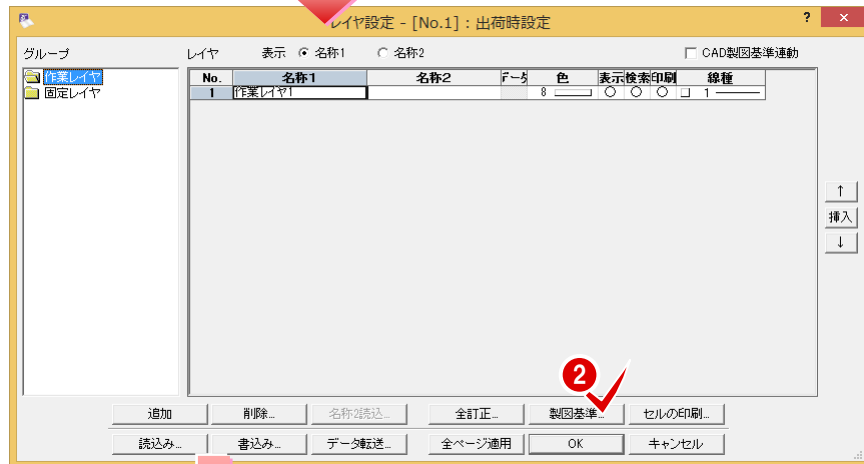
💡 クリックすると💡に替わり、レイヤが非表示になります。

🔍 クリックすると🔍に替わり、そのレイヤの要素は編集できません。

033

CAD 製図基準に準拠したレイヤを読み込む

[レイヤ設定]ダイアログの[製図基準]ボタンで読み込みます。



- 1 [設定:レイヤ設定]のアイコンをクリックします。(1)
- 2 [製図基準]をクリックします。(2)
- 3 [基準][工種][責任主体][図面種別]を設定します。(3)
- 4 [新規レイヤを追加して設定]をクリックして[一括設定]をクリックします。(4 5)
- 5 [CAD製図基準連動]のチェックをオンにして、[OK]をクリックします。(6 7)

[製図基準テンプレート]ダイアログで設定した内容のレイヤが、作業レイヤに新規に追加されます。

補足

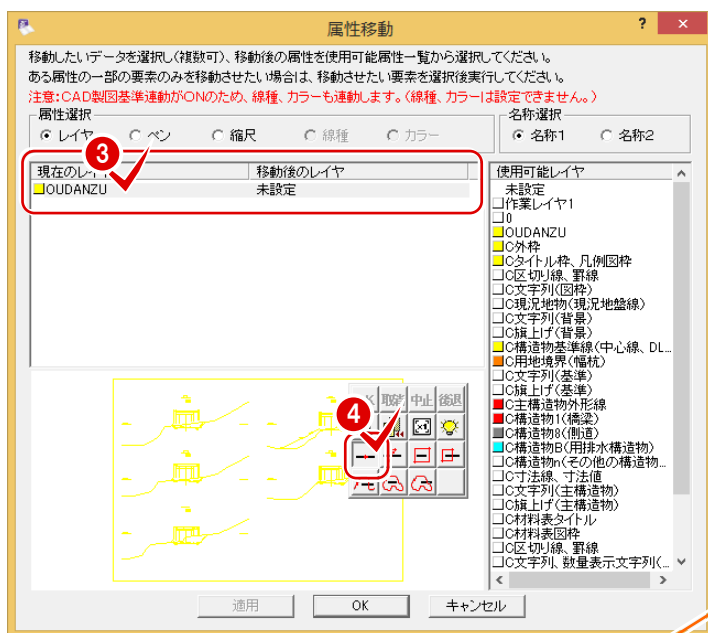
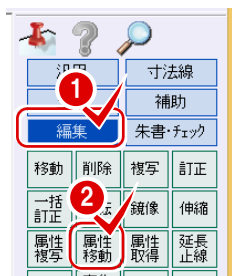
[CAD製図基準連動]

チェックをオンにすると、データを入力するときのレイヤや色などが、CAD製図基準に沿った約束事に固定(連動)されます。

034

[属性移動]でレイヤを移動する

[編集]—[属性移動]でレイヤを移動します。



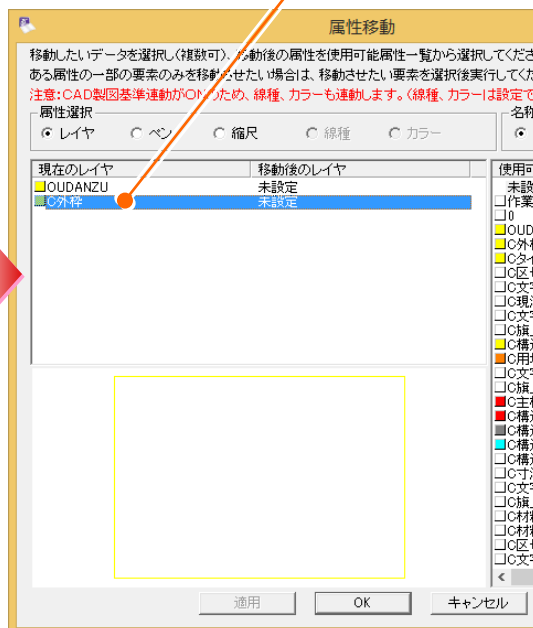
- 1 [編集]—[属性移動]をクリックします。(1 2)
- 2 移動するレイヤをクリックします。(3)
- 3 右クリックして[設定:選択モード:ポイント]をオンにします。(4)
- 4 移動する要素を指定します。(5 6 7 8)
- 5 移動後のレイヤをクリックして、[適用]をクリックします。(9 10)

移動後のレイヤが表示されます。

「OUDANZU」レイヤの外枠だけが「C外枠」レイヤに移動し、「OUDANZU」レイヤからは、外枠データが消えます。



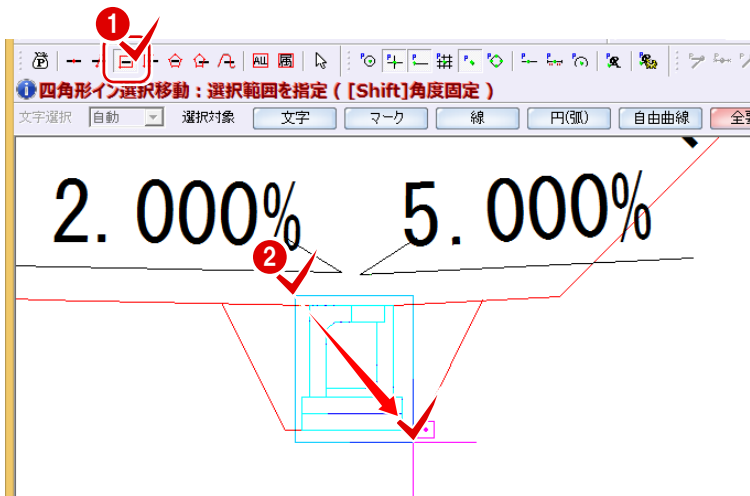
キーボードのCtrlキーを押しながらクリックすると複数の要素が選択できます。



035

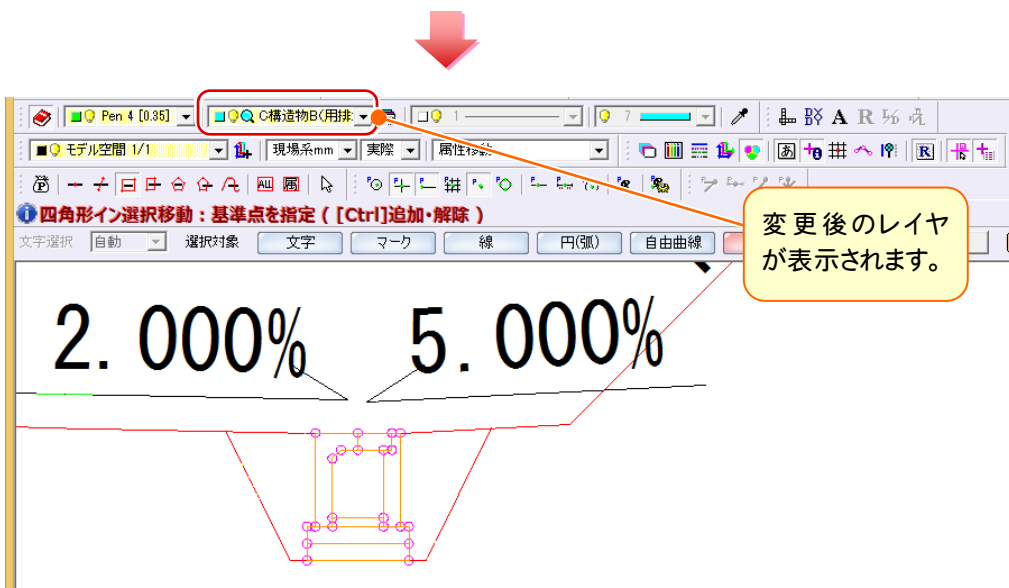
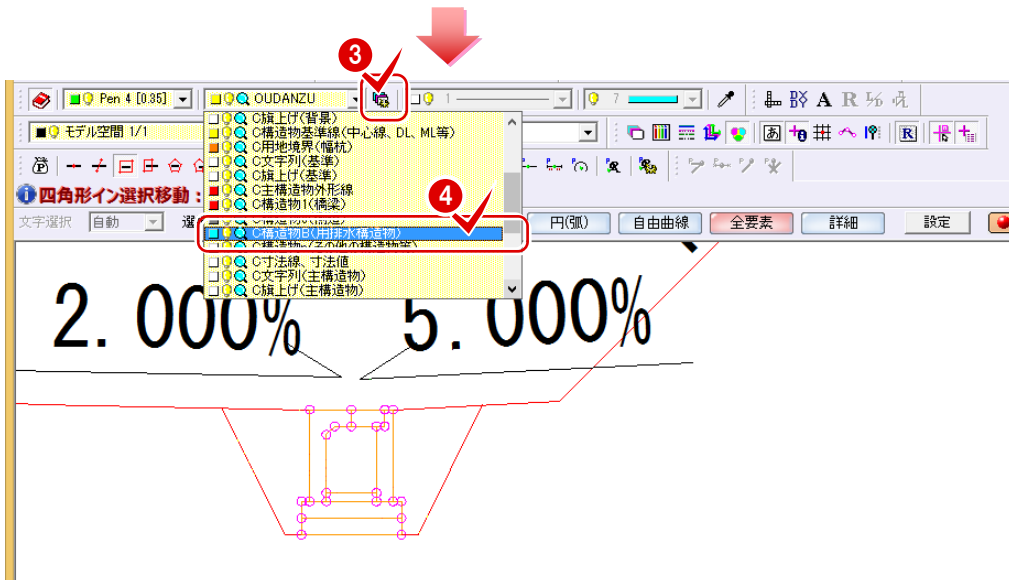
データを選択してレイヤを移動する

データを選択してレイヤを移動します。



1 [設定:選択モード:四角形イン]をクリックして、レイヤを移動する要素の範囲を指定します。(1 2)

2 [レイヤ]の[▼]をクリックして、変更後のレイヤをクリックします。(3 4)

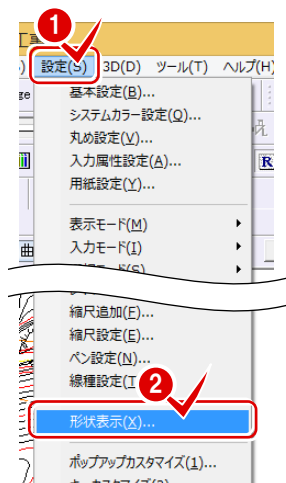


変更後のレイヤ
が表示されます。

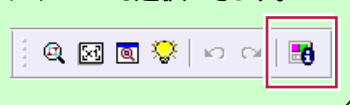
036

イメージ表示でレイヤを確認する

[設定]－[形状表示]でレイヤを確認します。



アイコンでも選択できます。

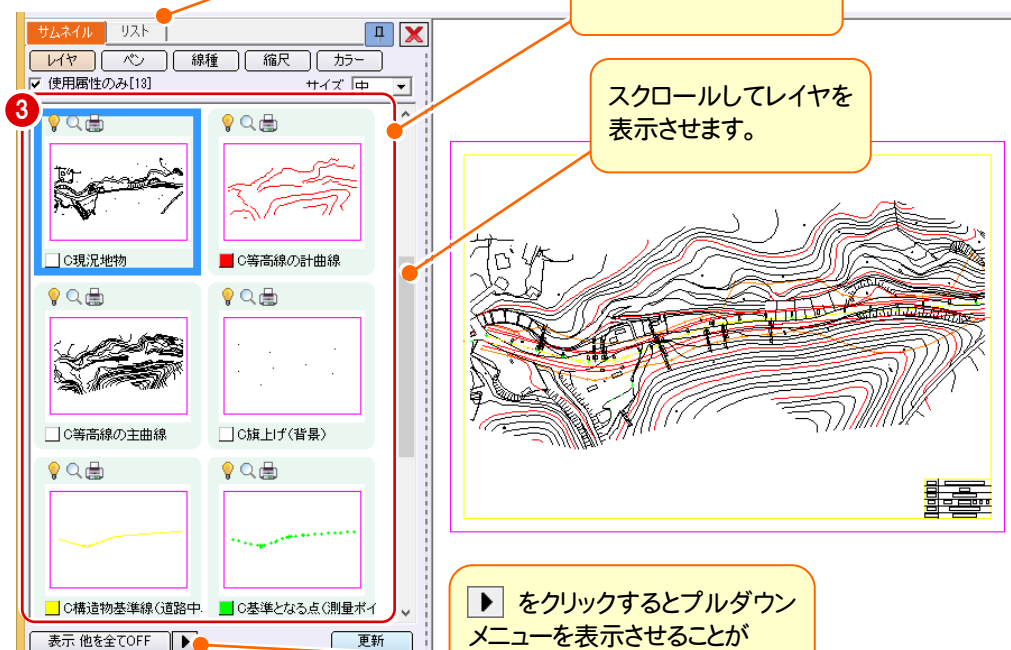


- 1 [設定]－[形状表示]をクリックします。(1 2)
- 2 レイヤが変更されたことを確認します。(3)

一覧で表示します。

レイヤが確認できます。

スクロールしてレイヤを表示させます。



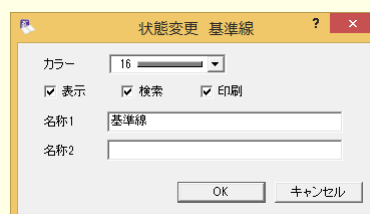
▶ をクリックするとプルダウンメニューを表示させることができます。(下の補足参照)

補足

サムネイルを右クリック、または ▶ をクリックして、レイヤのカラー・表示・検索・印刷の設定や、プレビューを確認できます。



選択された属性の状態(表示・検索・印刷など)を変更することができます。



線

037	線を入力する	47
038	座標値を指定して線を入力する	48
039	水平・垂直線を入力する	49
040	平行線を入力する	50
041	連続した平行線を入力する	51
042	四角形を入力する	52
043	補助線上に線を入力する	53
044	三辺長を指定して三角形を入力する	54
045	線を整合する	55
046	線を伸縮する	55
047	延長止線する	56
048	面取りする(線面取り)	56
049	面取りする(円面取り)	57
050	線をカットする	57

037

線を入力する

[汎用]－[線]－[連続線]で図面上の任意のポイントを指定して線を入力します。



1 [汎用]－[線]－[連続線]をクリックします。(1 2 3)

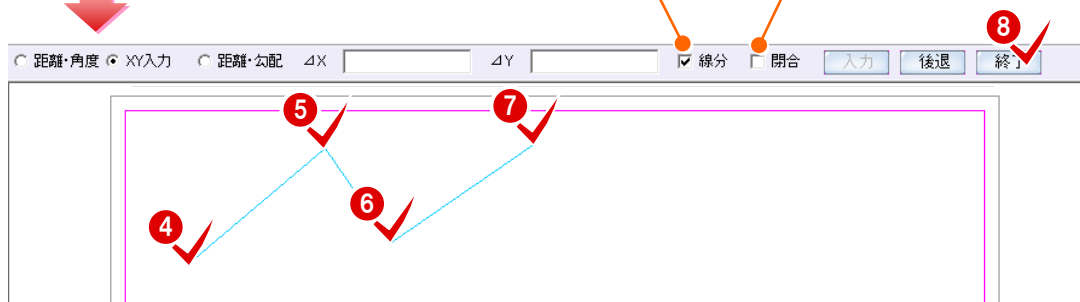
2 線の始点、通過点をクリックして、[終了]をクリックします。(4 5 6 7 8)

[線分]のチェック

オン: 単線要素で入力
オフ: 連続線要素で入力

[閉合]のチェック

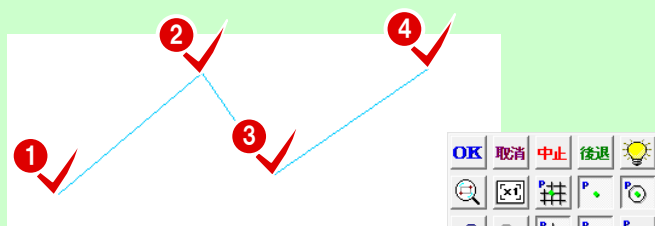
オン: 閉合線で入力(始点と終点を結びます。)
オフ: 開放線で入力



補足

途中で間違えた場合は

線入力の途中でクリックするポイントを間違えたり、ずれたりしたときなど、再度ポイントし直す場合は、ポップアップメニューの[後退]を選択します。([元に戻す]コマンドは入力途中のものは対象ではありません。)

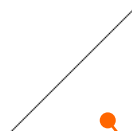
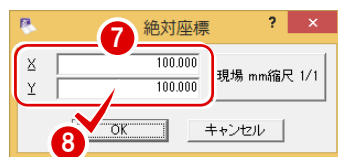
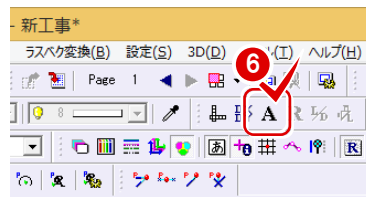
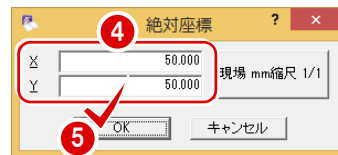
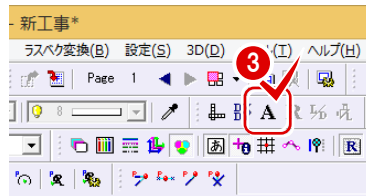
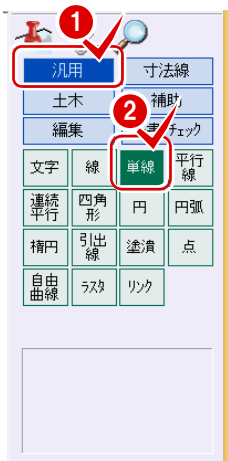


- [OK] データ入力・データ選択を確定します。
例: 上図の④のポイントで線を確定する場合、④をクリック後、マウスの右ボタンをクリックして、[OK]をクリックします。
- [後退] 1つ前に選択した状態に戻します。
例: 上図の④をクリック後、③のポイント選択まで戻る場合、マウスの右ボタンをクリックして、[後退]をクリックします。
- [取消] データの入力・選択を最初からやり直します。
例: 上図①～④でクリックしたポイントを1度クリアしたい場合、マウスの右ボタンをクリックして、[取消]をクリックします。
- [中止] コマンドを終了します。
例: 選択中のコマンドを中止したい場合、マウスの右ボタンをクリックして、[中止]をクリックします。

038

座標値を指定して線を入力する

[汎用]－[単線] (または[線]－[連続線]) を選択した後、[A]のアイコンで座標値を指定します。



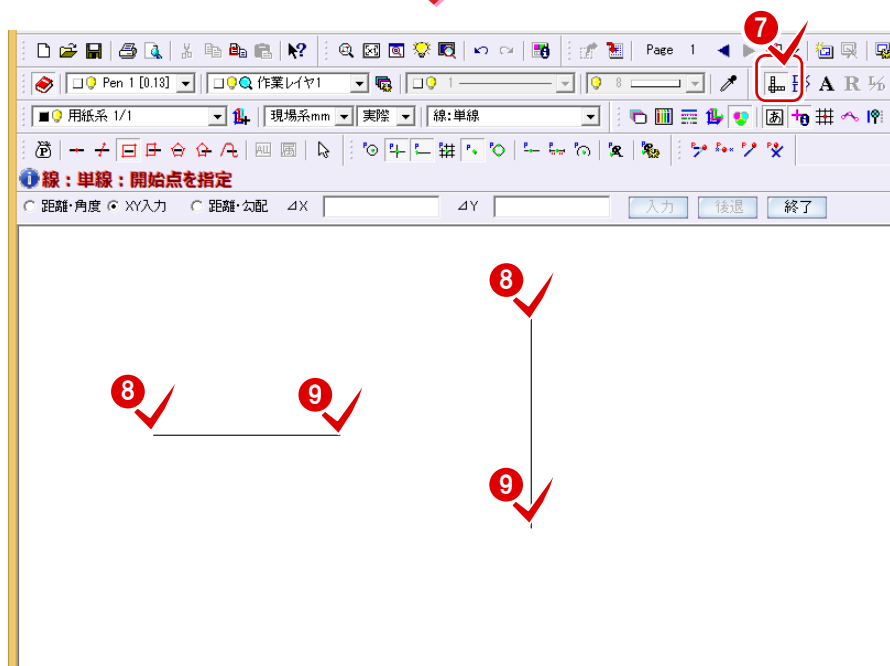
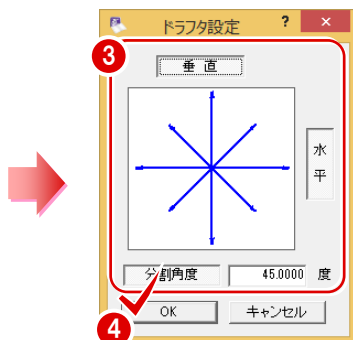
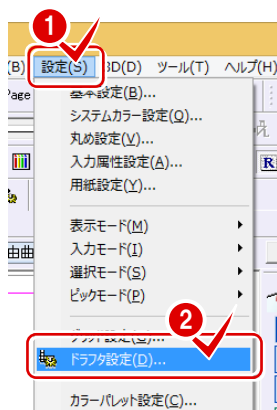
指定した座標値で線が入力されます。

- 1 [汎用]－[単線]をクリックします。(1 2)
- 2 [A]アイコンをクリックします。(3)
- 3 始点の座標値を入力して、[OK]をクリックします。(4 5)
- 4 [A]のアイコンをクリックします。(6)
- 5 終点の座標値を入力して、[OK]をクリックします。(7 8)

039

水平・垂直線を入力する

[入力モード:ドラフタ]のアイコンでドラフタ機能を有効にします。
ドラフタの角度は[設定]-[ドラフタ設定]で設定します。

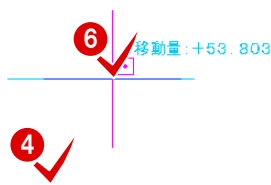
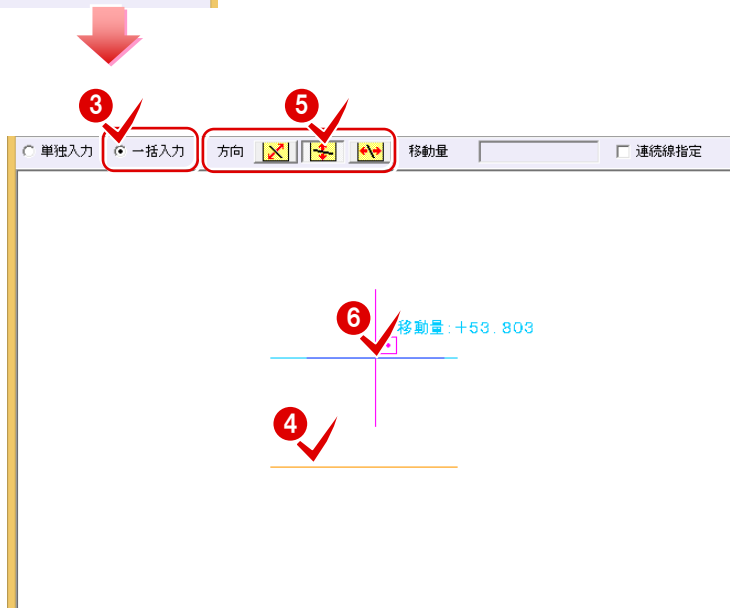


- 1 [設定]-[ドラフタ設定]をクリックします。(1 2)
- 2 有効にするドラフタ方向のボタンをオンにして、[OK]をクリックします。(3 4)
- 3 [汎用]-[単線]をクリックします。(5 6)
- 4 [設定:入力モード:ドラフタ]のアイコンをオンにして、線の始点、終点をクリックします。(7 8 9)

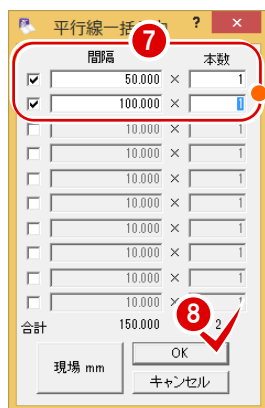
040

平行線を入力する

[汎用]－[平行線]で平行線を入力します。



- 1 [汎用]－[平行線]をクリックします。(1 2)
- 2 [一括入力]をクリックします。(3)
- 3 基準となる線をクリックします。(4)
- 4 [方向]を指定して、平行線を出す方向をクリックします。(5 6)
- 5 チェックをオンにして、平行線の間隔、本数を入力して、[OK]をクリックします。(7 8)



1行目のチェックをオンにして、[間隔]に「5」、[本数]に「1」を入力

2行目のチェックをオンにして、[間隔]に「10」、[本数]に「1」を入力

2本の平行線が入力されます。

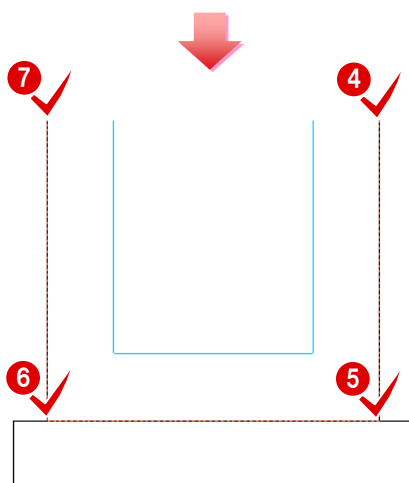
041

連続した平行線を入力する

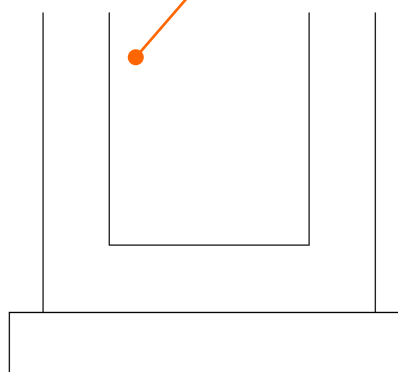
[汎用]—[連続平行]で連続した平行線を入力します。



- 1 [汎用]—[連続平行]をクリックします。
(① ②)
- 2 平行距離を入力します。(③)
- 3 基準となる線の各端点をクリックします。
(④ ⑤ ⑥ ⑦)
- 4 [OK]をクリックします。(⑧)



連続した平行線が
入力されます。



042

四角形を入力する

[汎用]—[四角形]で四角形を入力します。



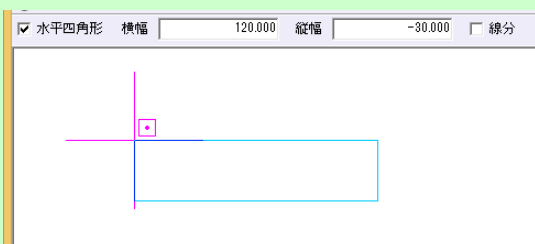
- 1 [汎用]—[四角形]をクリックします。(1 2)
- 2 [水平四角形]のチェックをオンにして、[横幅][縦幅]を入力します。(3 4)
- 3 配置位置をクリックします。(5)



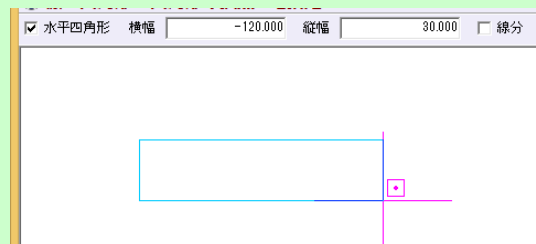
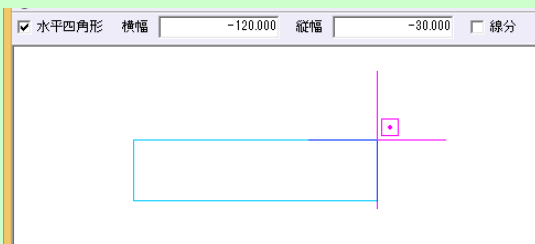
補足

左上を基準に四角形を入力する場合は

[縦幅]の数値にマイナス符号を付けて入力すると、左上を基準に入力できます。



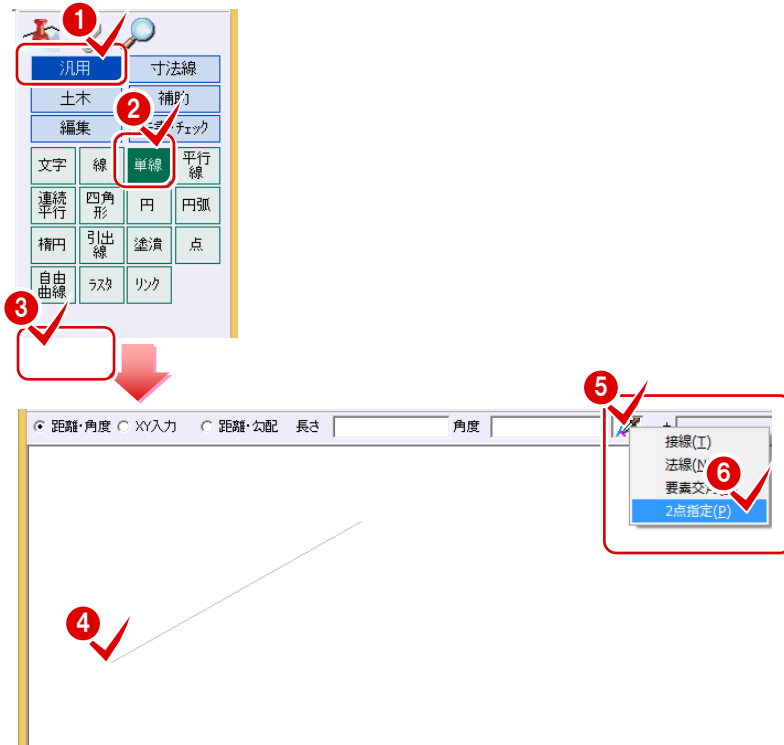
[縦幅][横幅]の数値が両方ともマイナスの場合は右上基準、[横幅]の数値がマイナスの場合は右下基準になります。



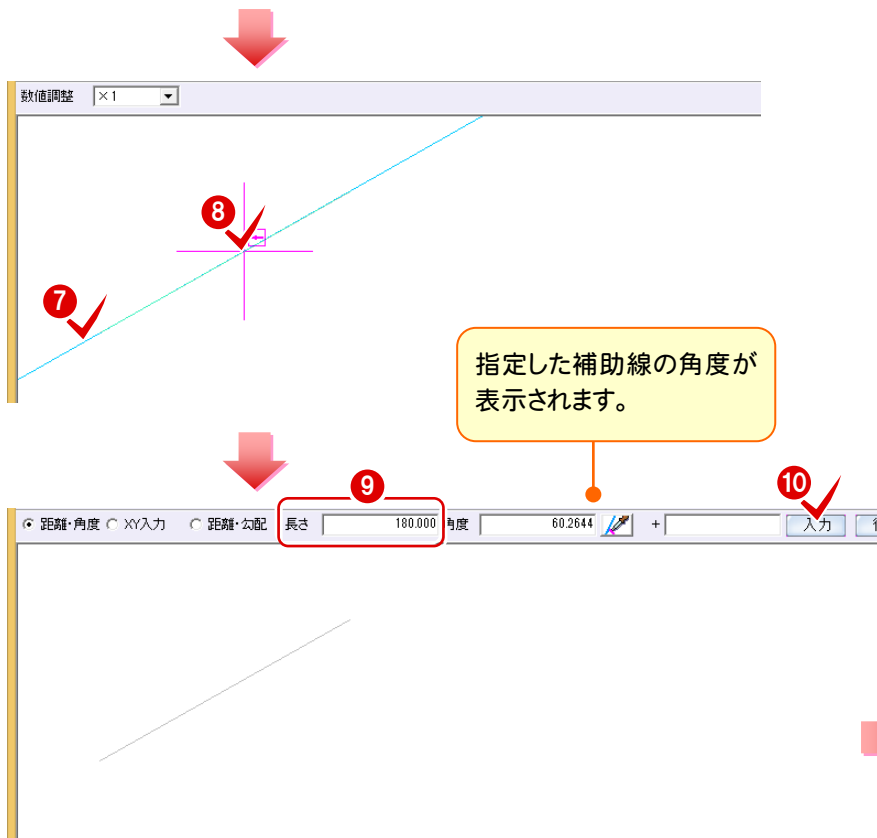
043

補助線上に線を入力する

インプットバーの[角度取得]で補助線の角度を取得して線を入力します。



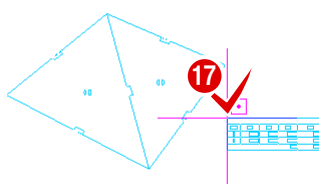
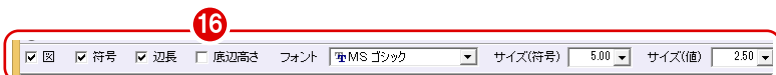
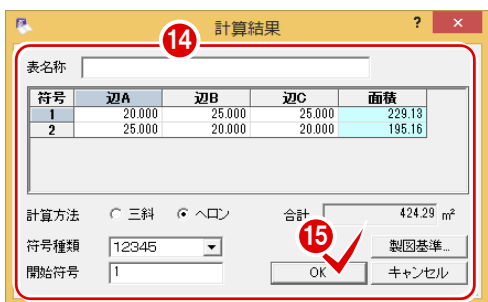
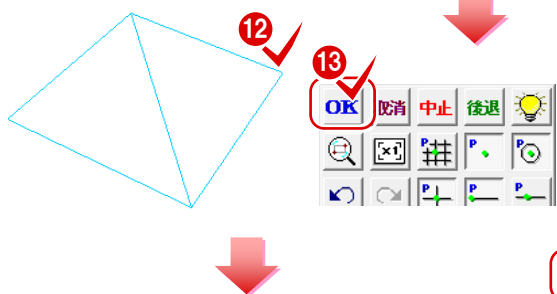
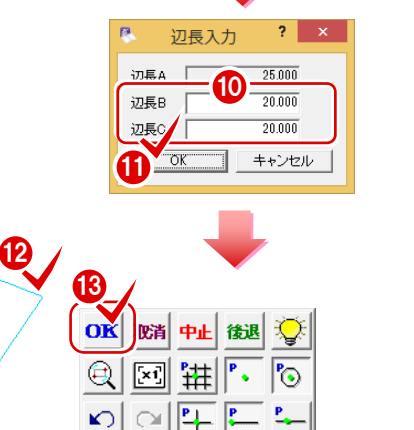
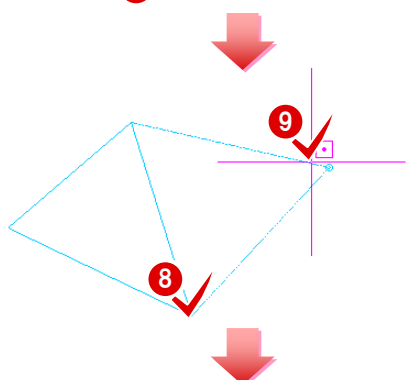
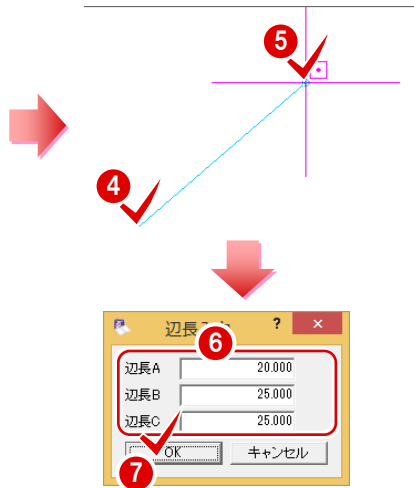
- 1 [汎用]—[単線]をクリックします。
(① ②)
- 2 [距離・角度]をクリックします。(③)
- 3 線の始点をクリックします。(④)
- 4 [角度取得]のアイコンをクリックして
[2点指定]をクリックします。
(⑤ ⑥)
- 5 補助線上の2点をクリックします。
(⑦ ⑧)
- 6 [長さ]を入力して、[入力]をクリックし
ます。(⑨ ⑩)



044

三辺長を指定して三角形を入力する

[土木]-[ヘロン三斜]-[辺長]で、三辺長を指定して三角形を入力します。

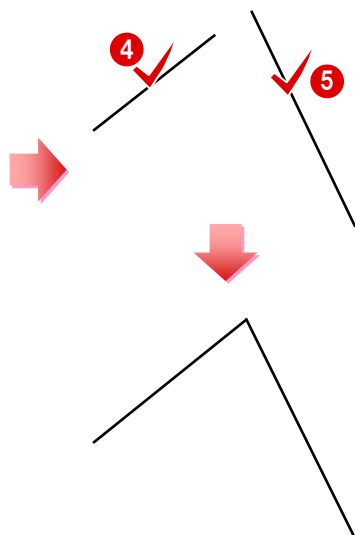


- 1 [土木]-[ヘロン三斜]-[辺長]をクリックします。(1 2 3)
- 2 始点と方向をクリックします。(4 5)
- 3 辺長を入力して、[OK]をクリックします。(6 7)
- 4 向きをクリックします。(8)
- 5 隣接する3辺を連続で入力する場合は残りの頂点をクリックします。(9)
- 6 辺長を入力して、[OK]をクリックします。(10 11)
- 7 向きをクリックします。(12)
- 8 入力を終了したら、右クリックして表示されるポップアップメニューの[OK]をクリックします。(13)
- 9 計算結果を確認して、[OK]をクリックします。(14 15)
- 10 インputバーで表示する項目などを設定して、面積表の配置位置をクリックします。(16 17)

045

線を整合する

[編集]－[延長止線]－[整合]で、線を整合します。



1 [編集]－[延長止線]－[整合]をクリックします。(1 2 3)

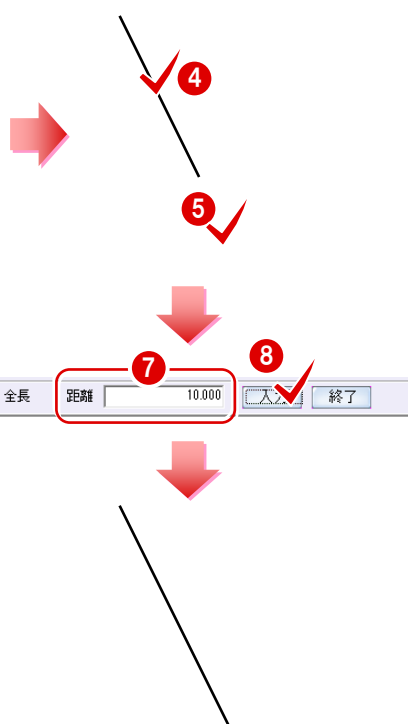
2 整合する2直線をクリックします。(4 5)

補足 整合対象要素は
線分、連続線、上下線が対象です。

046

線を伸縮する

[編集]－[伸縮]－[線伸縮]で、線を伸縮します。



1 [編集]－[伸縮]－[線伸縮]をクリックします。(1 2 3)

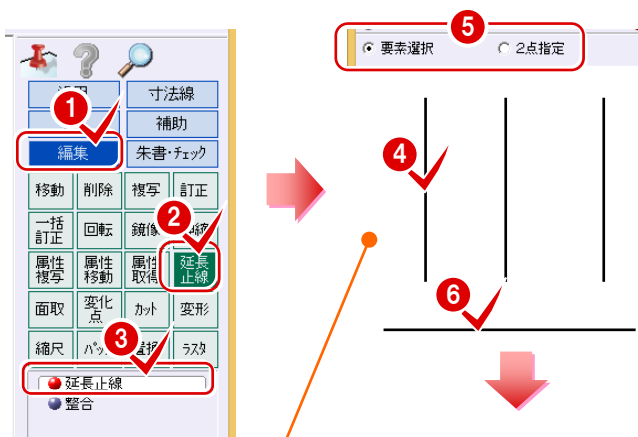
2 伸ばす線、方向をクリックします。(4 5)

3 [線を変更]を選択し、[距離]を入力して、[入力]をクリックします。(6 7 8)

047

延長止線する

[編集]－[延長止線]－[延長止線]で、指定した線を、他方で指定したライン上まで延長、または切断します。



複数の要素を同時に選択して、指定したライン上まで一気に延長することもできます。

- 1 [編集]－[延長止線]－[延長止線]をクリックします。(1 2 3)
- 2 延長する線を選択します。(4)
- 3 止めるラインの指定方法を選択します。(5)
- 4 止めるラインを指定します。(6)

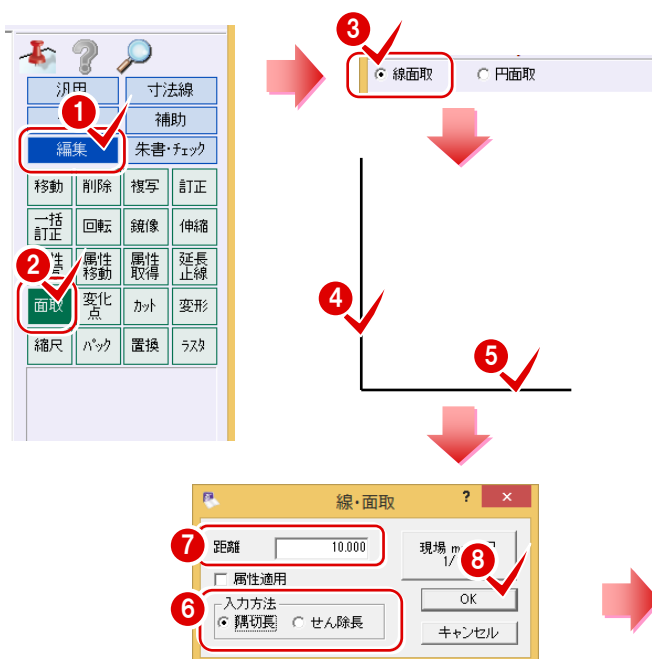
補足 延長対象要素は

線分、連続線、上下線が延長対象です。
止める側は線分、連続線、補助線、円、円弧、上下線、自由曲線が対象です。

048

面取りする(線面取り)

[編集]－[面取]－[線面取]で、隅切長・せん断長を指定して面取します。

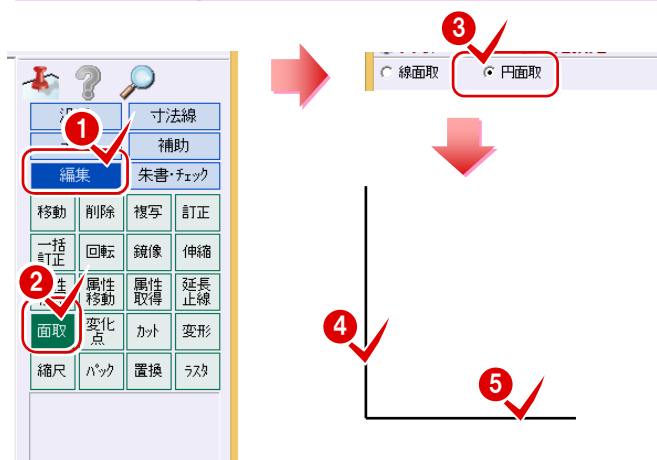


- 1 [編集]－[面取]をクリックします。(1 2)
- 2 [線面取]をクリックします。(3)
- 3 面取りする2本の線をクリックします。(4 5)
- 4 入力方法([隅切長][せん断長])を指定し、[距離]を入力して、[OK]をクリックします。(6 7 8)

049

面取りする(円面取り)

[編集]-[面取]-[円面取]で、せん断長・R・弦長・弧長を指定して面取します。



- 1 [編集]-[面取]をクリックします。(1 2)
- 2 [円面取]をクリックします。(3)
- 3 面取りする2本の線をクリックします。(4 5)
- 4 入力方法([せん断長][R][弦長][弧長])を指定し、[距離]を入力して、[OK]をクリックします。(6 7 8)



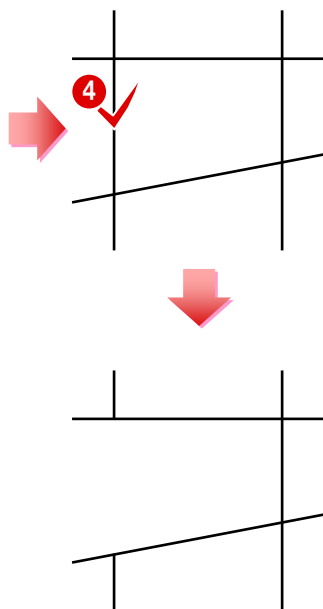
050

線をカットする

[編集]-[カット]-[線間カット]で、線をカットします。



- 1 [編集]-[カット]-[線間カット]をクリックします。(1 2 3)
- 2 カットする線をクリックします。(4)



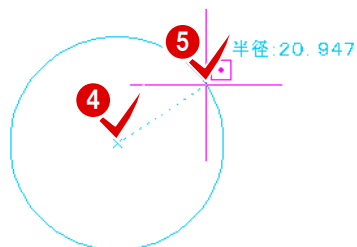
円

051	円を入力する……………	59
052	平行線を半円で接続する……………	59
053	円弧の左右に幅員線を入力する……………	61

051

円を入力する

[汎用]－[円]－[半径]で、中心、半径を指定して円を入力します。

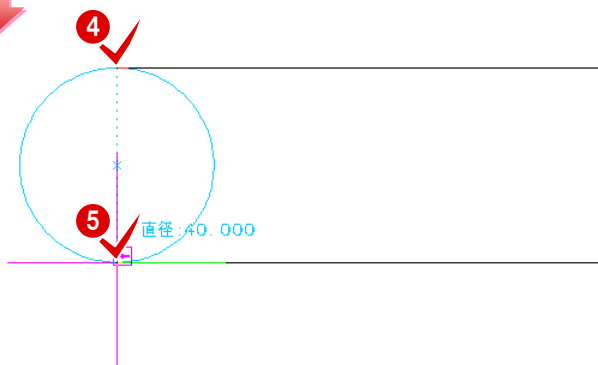


- 1 [汎用]－[円]－[半径]をクリックします。
(① ② ③)
- 2 円の中心、半径をクリックします。
(④ ⑤)

052

平行線を半円で接続する

[汎用]－[円]－[直径]で円を入力して、[編集]－[カット]－[線間カット]で半円にします。



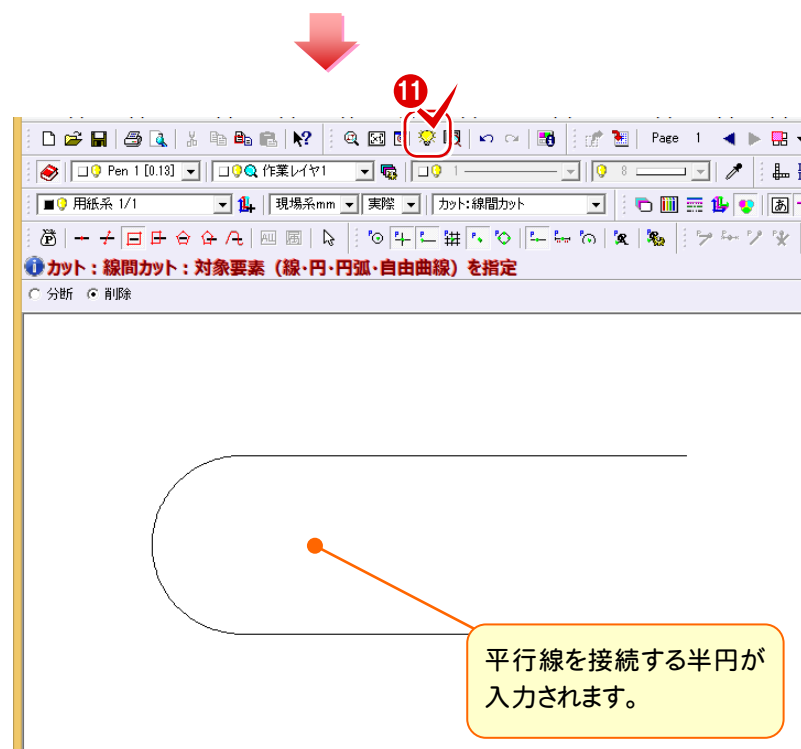
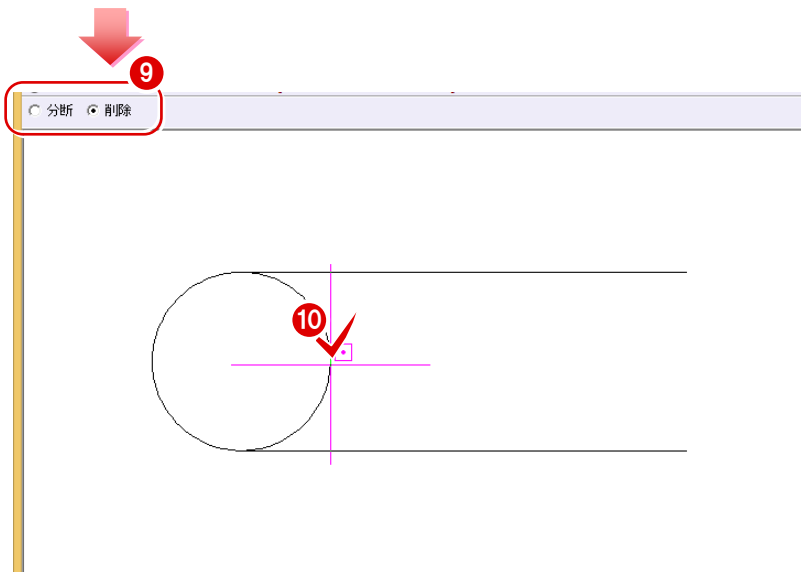
- 1 [汎用]－[円]－[直径]をクリックします。
(① ② ③)
- 2 平行線の端点をクリックします。
(④ ⑤)



3 [編集]-[カット]-[線間カット]をクリックします。(6 7 8)

4 [削除]を選択して、平行線側の半円をクリックします。(9 10)

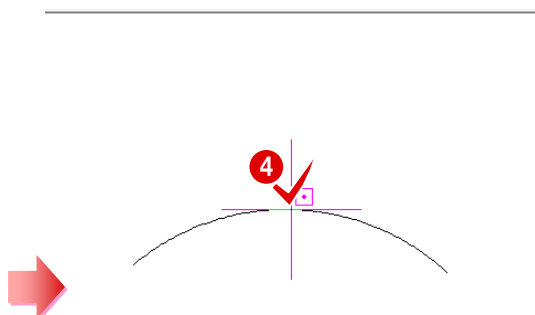
5 [CAD:表示:再描画]のアイコンをクリックします。(11)



053

円弧の左右に幅員線を入力する

[土木]－[平面線形]－[幅員線]で、円弧の左右に幅員線を入力します。



1 [土木]－[平面線形]－[幅員線]をクリックします。(1 2 3)

2 円弧をクリックします。(4)

3 始点側・終点側の拡幅量を入力して、[OK]をクリックします。(5 6)

オフセットがある場合は、オフセット量も入力します。

幅員線入力

基準要素情報

円弧要素
半径: 0.054
始点座標: (0.279, 0.231)
方向角: 44.4852

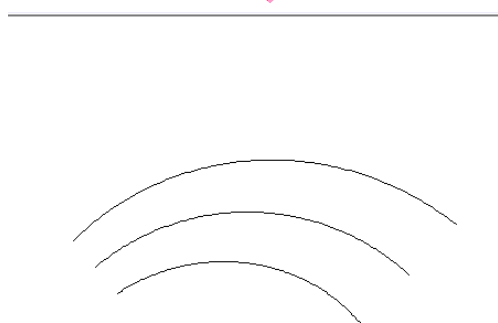
左側

No.	オフセット量	始点側拡幅量	終点側拡幅量
1	0.000	5.000	10.000
2			
3			
4			

右側

No.	オフセット量	始点側拡幅量	終点側拡幅量
1	0.000	5.000	10.000
2			
3			
4			

OK キャンセル



補足

同様に、円弧以外に線やクロソイドも選択できます。
円は選択できません。

文字

054	文字を入力する	63
055	図面上の文字列と同じ属性の文字列を入力する	64
056	文字の後ろ(背景)の塗り潰しを非表示にする	65
057	引き出し文字を入力する	66
058	複数段の文字列を入力する	67
059	円文字を入力する	68
060	赤書きを入力する	69
061	文字列を訂正する	70
062	文字サイズを一括訂正する	71

054

文字を入力する

[汎用]－[文字]－[文字列]で文字を入力します。

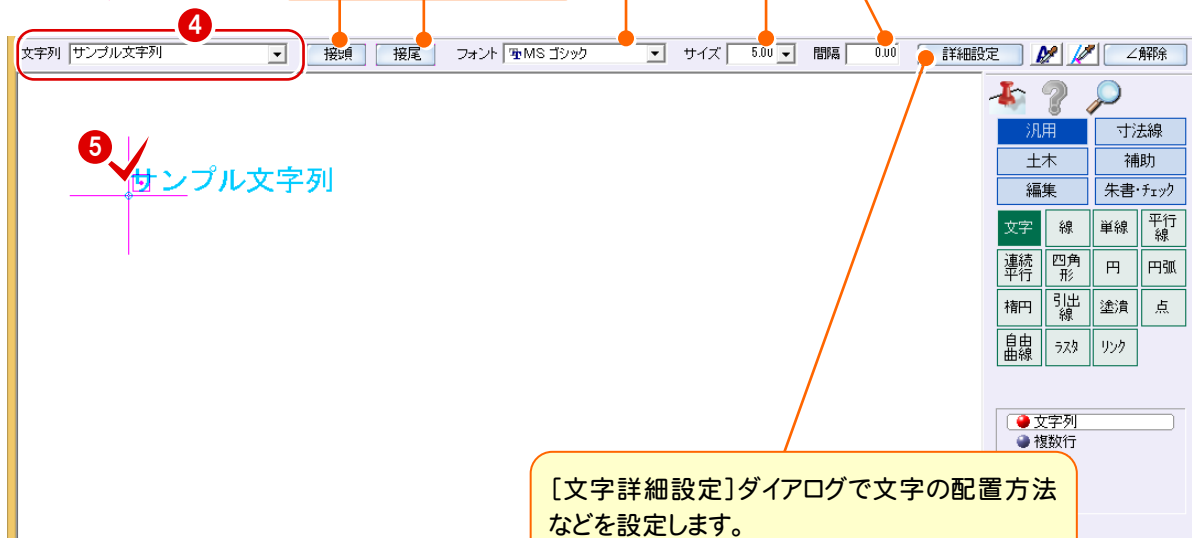


1 [汎用]－[文字]－[文字列]をクリックします。(1 2 3)

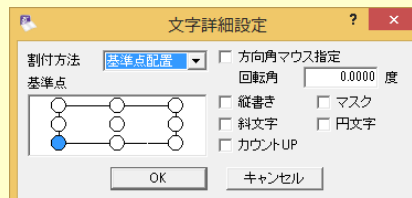
2 文字列を入力して、配置位置をクリックします。(4 5)

文字列の前後に付ける文字列を入力します。

フォント、文字サイズ、間隔を入力します。



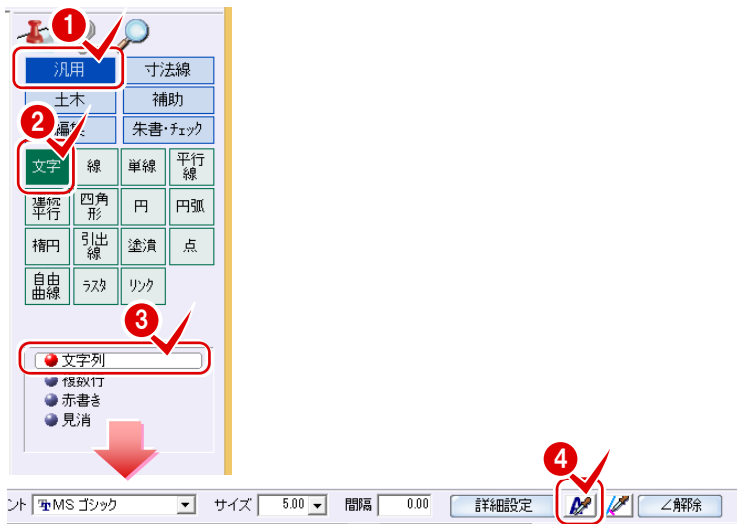
[文字詳細設定]ダイアログで文字の配置方法などを設定します。



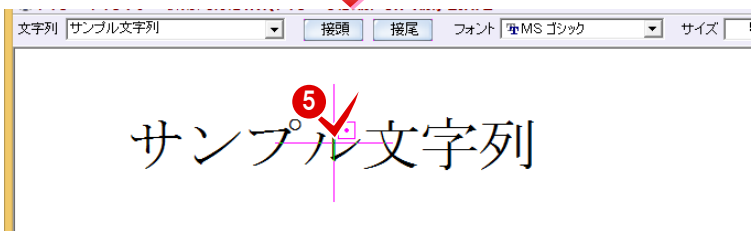
055

図面上の文字列と同じ属性の文字列を入力する

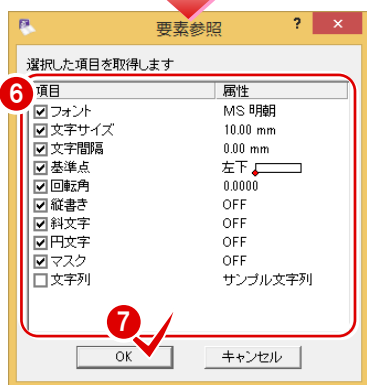
[汎用]-[文字]-[文字列]で、図面上の文字列の属性を取得して文字列を入力します。



- 1 [汎用]-[文字]-[文字列]をクリックします。(1 2 3)
- 2 インputバーの左側のアイコンをクリックします。(4)
- 3 属性を取得する文字列をクリックします。(5)
- 4 属性を取得する項目のチェックをオンにして、[OK]をクリックします。(6 7)
- 5 文字列を入力して、配置位置をクリックします。(8 9)



サンプル文字列



取得した文字列の属性が設定されます。



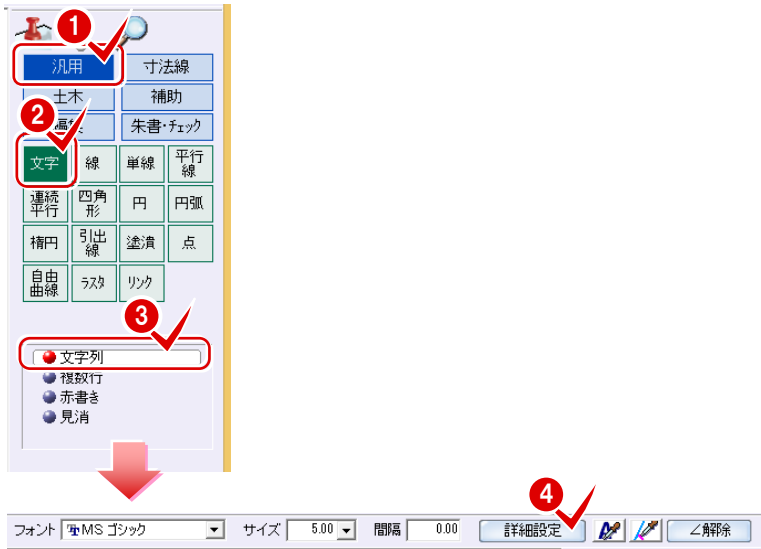
サンプル文字列

文字列ABC

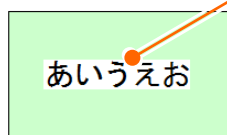
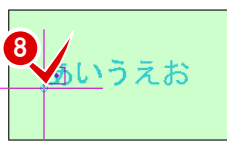
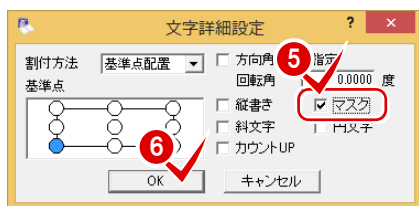
056

文字の後ろ(背景)の塗り潰しを非表示にする

[汎用]-[文字]-[文字列]で[マスク]のチェックをオンにして文字列を入力します。



- 1 [汎用]-[文字]-[文字列]をクリックします。(1 2 3)
- 2 [詳細設定]をクリックします。(4)
- 3 [マスク]のチェックをオンにして、[OK]をクリックします。(5 6)
- 4 文字列を入力して、配置位置をクリックします。(7 8)

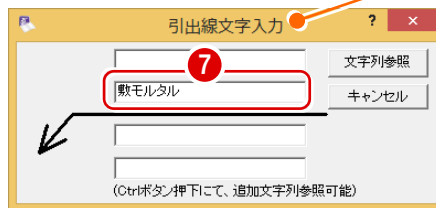
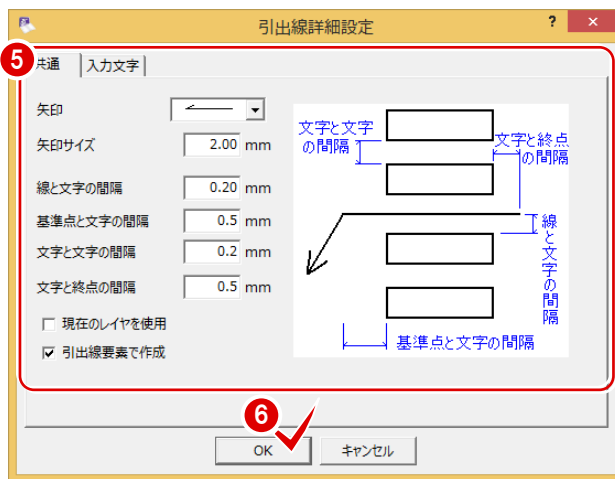
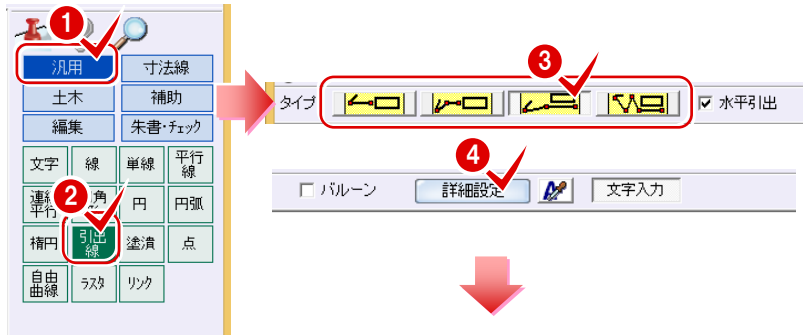


背景が非表示
になります。

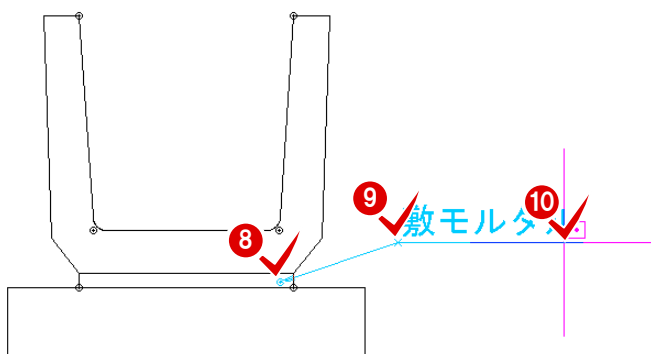
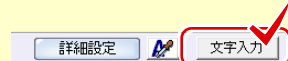
057

引き出し文字を入力する

[汎用]－[引出線]で引き出し文字を入力します。



[引出線文字入力]ダイアログが表示されない場合は、インプットバーの[文字入力]をクリックしてください。



- 1 [汎用]－[引出線]をクリックします。(1 2)
- 2 引き出し線のタイプを選択して、[詳細設定]をクリックします。(3 4)
- 3 引き出し線の属性を設定して、[OK]をクリックします。(5 6)
- 4 文字列を入力します。(7)
- 5 引き出し線の開始位置、折れ点、文字を配置する方向をクリックします。(8 9 10)

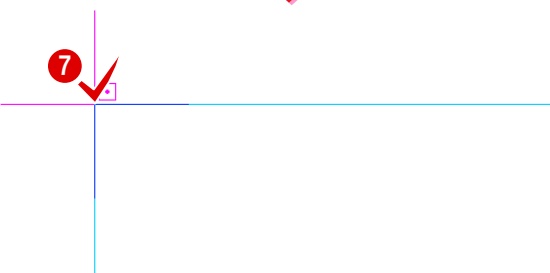
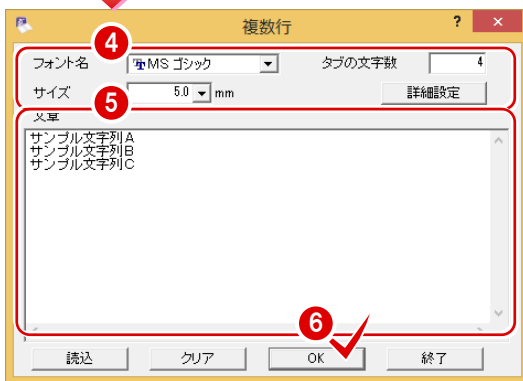
058

複数段の文字列を入力する

[汎用]－[文字]－[複数行]で複数段の文字列を入力します。

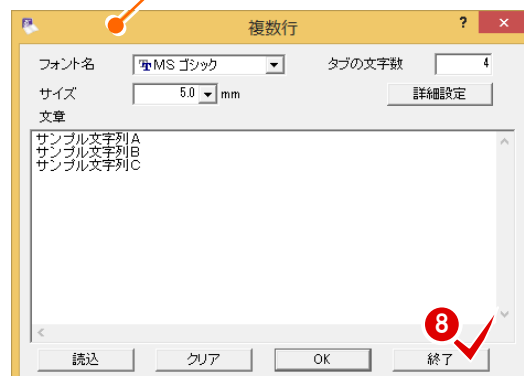


- 1 [汎用]－[文字]－[複数行]をクリックします。(1 2 3)
- 2 文字列の属性を設定し、文章を入力して、[OK]をクリックします。(4 5 6)
- 3 文章の配置位置をクリックします。(7)
- 4 [終了]をクリックします。(8)



サンプル文字列 A
 サンプル文字列 B
 サンプル文字列 C

文章が配置されて、再度[複数行]ダイアログが表示されます。続けて入力することもできますが、ここでは終了するので、[終了]をクリックします。



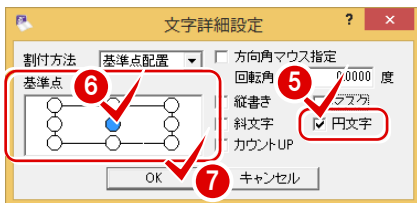
059

円文字を入力する

[汎用]－[文字]－[文字列]で[円文字]のチェックをオンにして文字列を入力します。



- 1 [汎用]－[文字]－[文字列]をクリックします。(1 2 3)
- 2 [詳細設定]をクリックします。(4)
- 3 [円文字]のチェックをオンにし、[基準点]の真ん中をクリックして、[OK]をクリックします。(5 6 7)
- 4 文字列を入力して、配置位置をクリックします。(8 9)

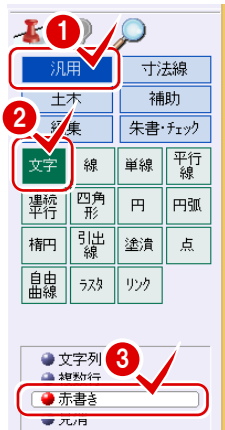


円文字が入力されます。

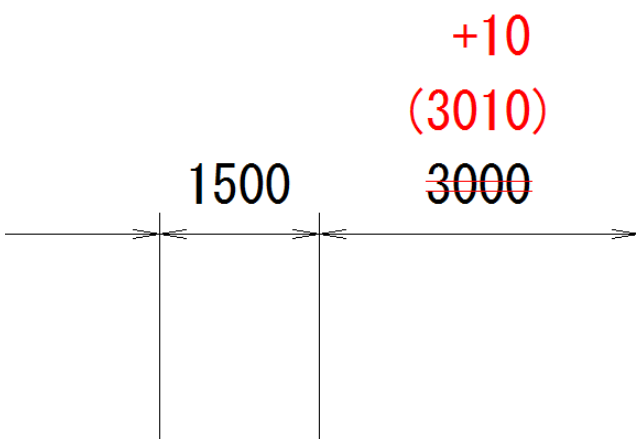
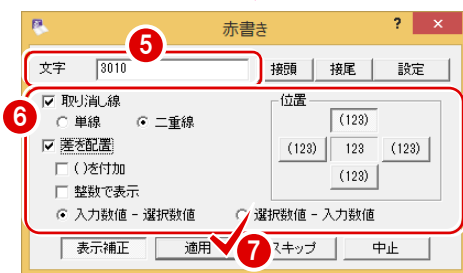
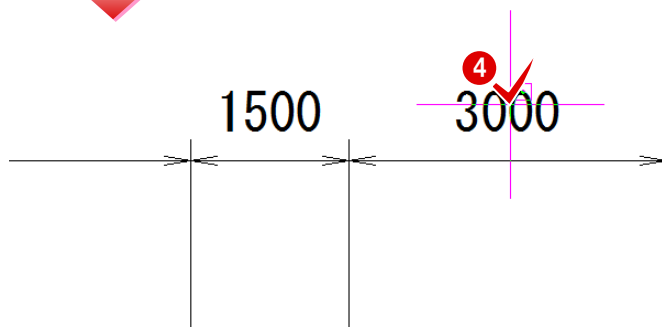
060

赤書きを入力する

[汎用]-[文字]-[赤書き]で赤書きを入力します。



- 1 [汎用]-[文字]-[赤書き]をクリックします。(1 2 3)
- 2 訂正する数値をクリックします。(4)
- 3 訂正後の数値を入力し、取消線、差の配置の有無などを設定して、[適用]をクリックします。(5 6 7)



061

文字列を訂正する

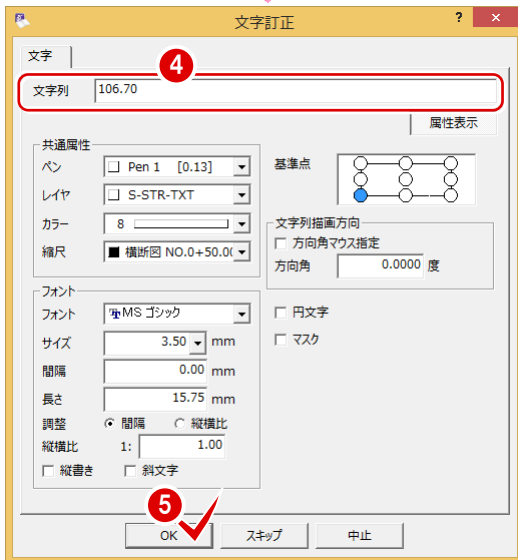
[編集]-[訂正]で、文字列を訂正します。



- 1 [編集]-[訂正]をクリックします。
(① ②)
- 2 訂正する文字列をクリックします。(③)
- 3 [文字列]を訂正して、[OK]をクリックします。(④ ⑤)

NO. 0+50. 00

GH=109.00
FH=106.77



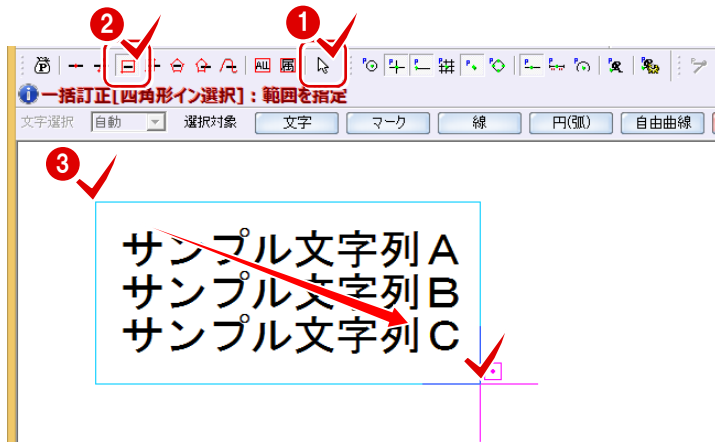
NO. 0+50. 00

GH=109. 00
106. 70

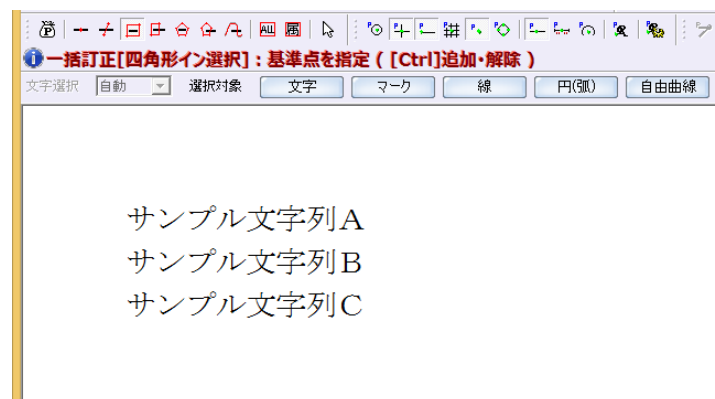
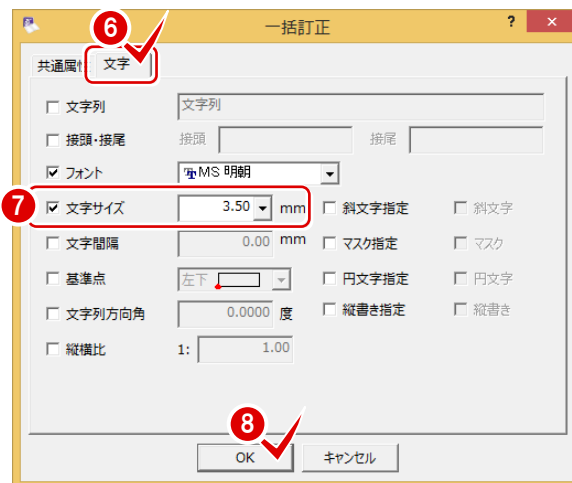
062

文字サイズを一括訂正する

[編集]—[一括訂正]で、文字サイズを一括訂正します。



- 1 [要素選択]のアイコンをクリックして、[設定: 選択モード: 四角形イン]のアイコンをクリックします。(1 2)
- 2 訂正する文字列を選択します。(3)
- 3 [編集]—[一括訂正]をクリックします。(4 5)
- 4 [文字]タブをクリックし、[文字サイズ]のチェックをオンにして、訂正する文字サイズを設定します。(6 7)
- 5 [OK]をクリックします。(8)



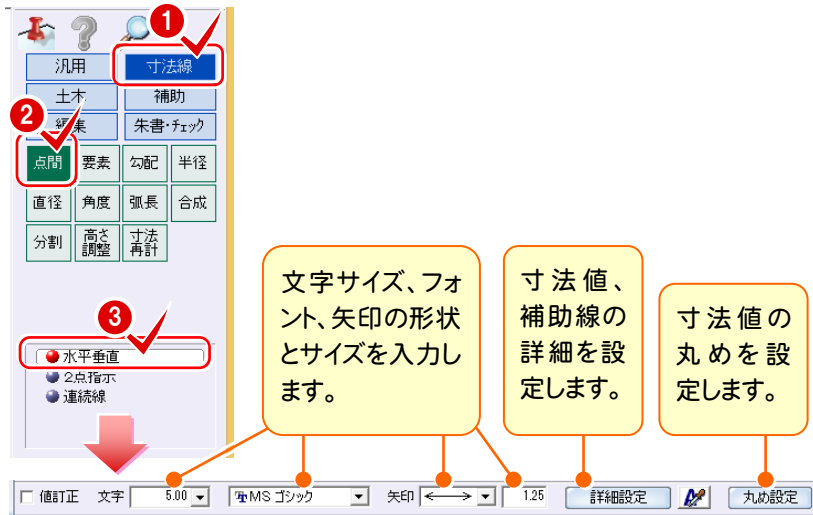
寸法線

063	2点間の水平・垂直距離の寸法を入力する……………	73
064	直線の寸法を入力する……………	73
065	勾配寸法を入力する……………	74
066	寸法値を再計算する……………	75
067	寸法線を合成する……………	76
068	寸法値を消す……………	77
069	寸法値を変えずに寸法線を変形する……………	78

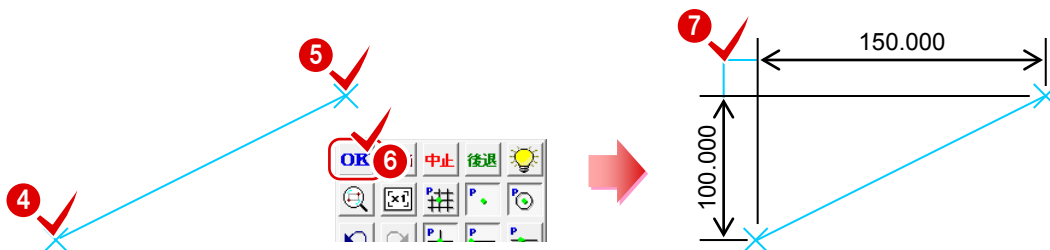
063

2点間の水平・垂直距離の寸法を入力する

[寸法線]－[点間]－[水平垂直]で寸法を入力します。



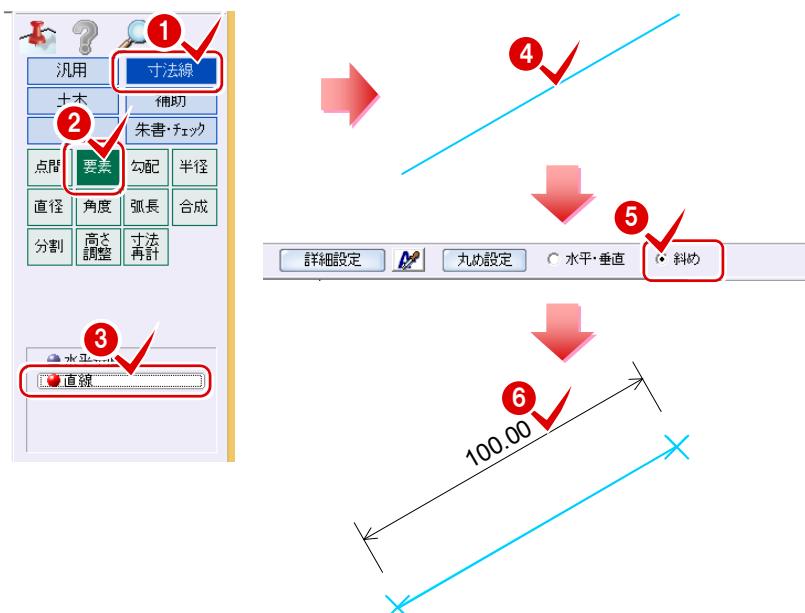
- 1 [寸法線]－[点間]－[水平垂直]をクリックします。(① ② ③)
- 2 寸法表示する点を指定します。(④ ⑤)
- 3 右クリックして、[OK]をクリックします。(⑥)
- 4 配置位置をクリックします。(⑦)



064

直線の寸法を入力する

[寸法線]－[要素]－[直線]で寸法を入力します。

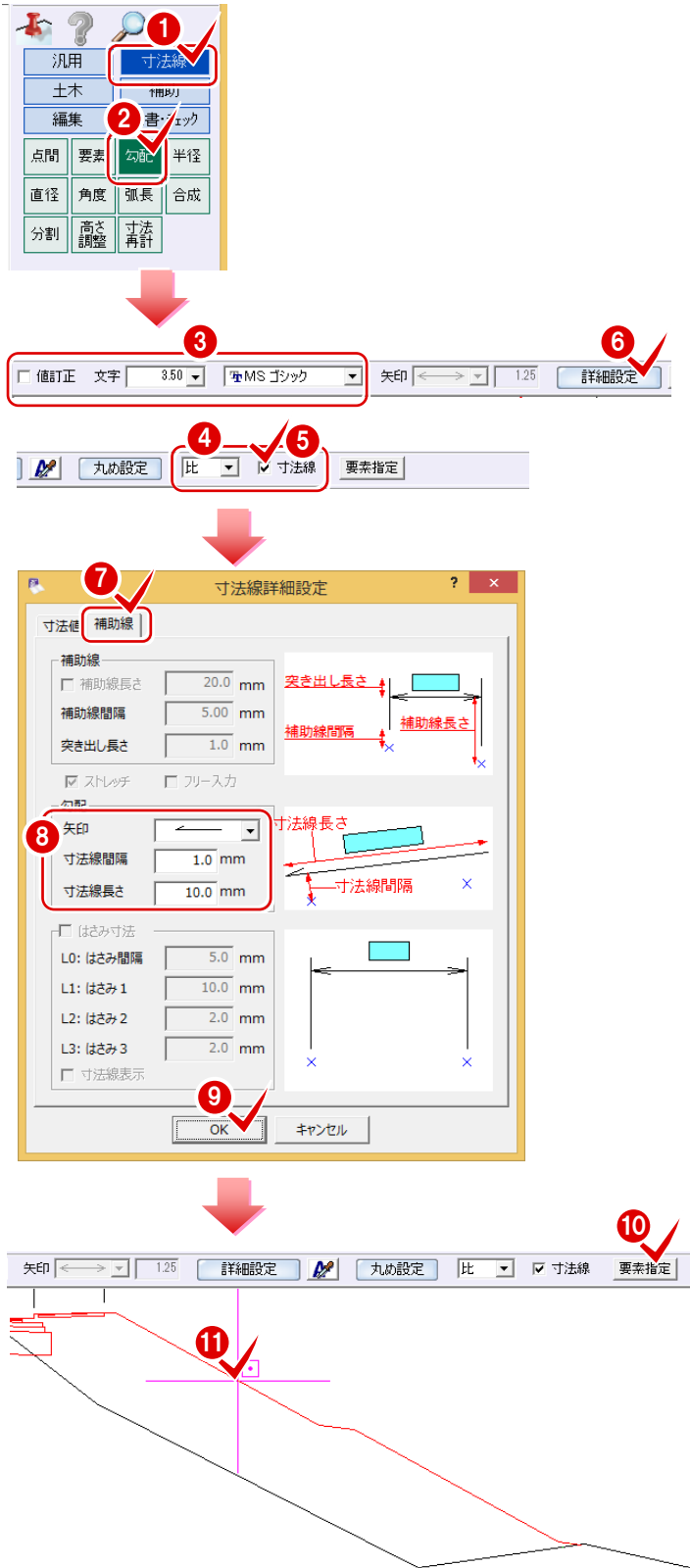


- 1 [寸法線]－[要素]－[直線]をクリックします。(① ② ③)
- 2 直線を指定します。(④)
- 3 [斜め]をクリックします。(⑤)
- 4 配置位置をクリックします。(⑥)

065

勾配寸法を入力する

[寸法線]—[勾配]で、勾配寸法を入力します。

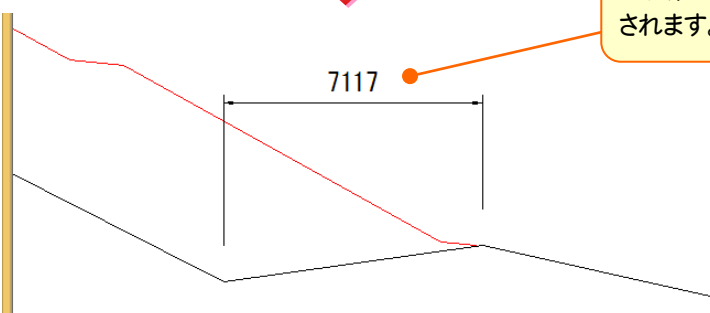
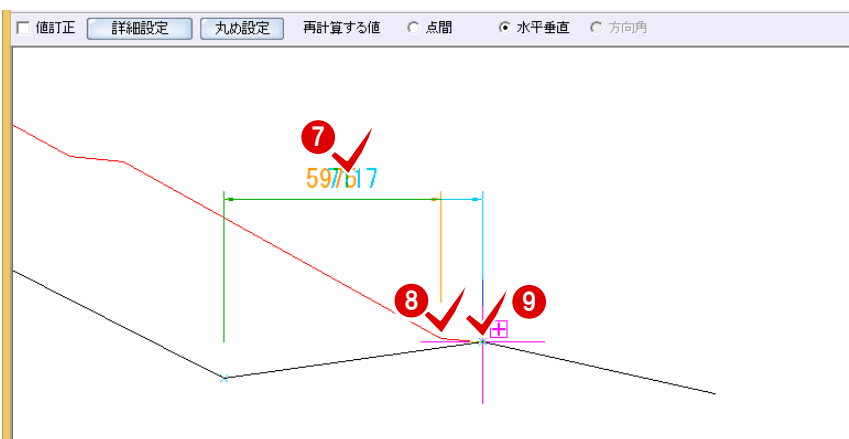
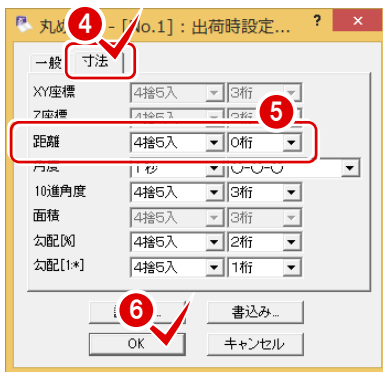


- 1 [寸法線]—[勾配]をクリックします。
(① ②)
- 2 文字サイズ、フォントを設定します。(③)
- 3 寸法の表示方法を設定して、[寸法線]のチェックをオンにして、[詳細設定]をクリックします。(④ ⑤ ⑥)
- 4 [補助線]タブをクリックし、矢印、寸法線間隔、寸法線長さを設定して、[OK]をクリックします。(⑦ ⑧ ⑨)
- 5 [要素指定]をクリックしてオンにします。
(⑩)
- 6 勾配寸法を配置する要素をクリックします。
(⑪)

066

寸法値を再計算する

[寸法線]—[寸法値再計算]で、寸法値を再計算します。



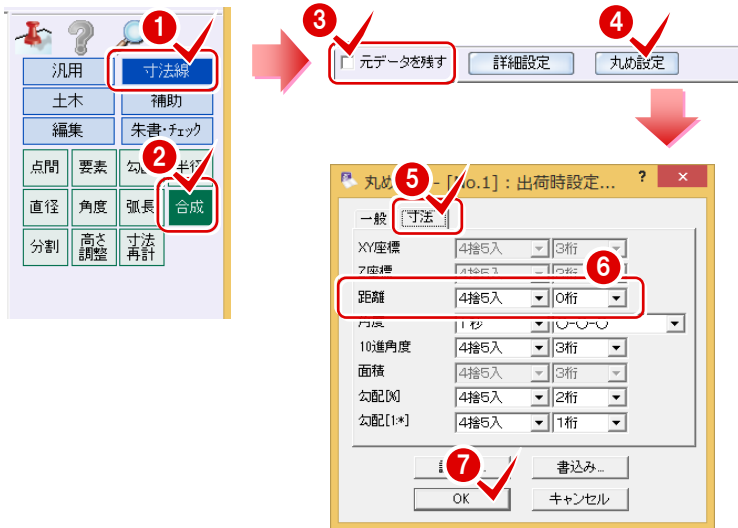
- 1 [寸法線]—[寸法値再計算]をクリックします。(1 2)
- 2 [丸め設定]をクリックします。(3)
- 3 [寸法]タブをクリックし、丸めを設定して、[OK]をクリックします。(4 5 6)
- 4 再計算する寸法線をクリックし、移動元の寸法線の足、移動先ををクリックします。(7 8 9)

寸法値が再計算されます。

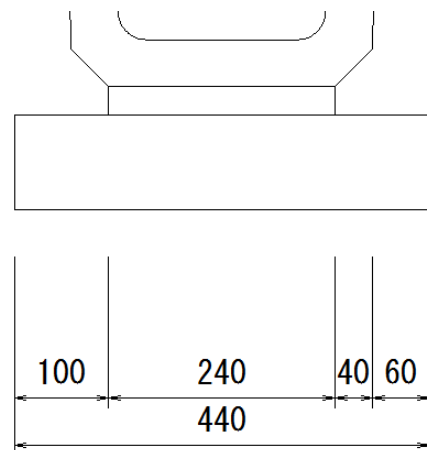
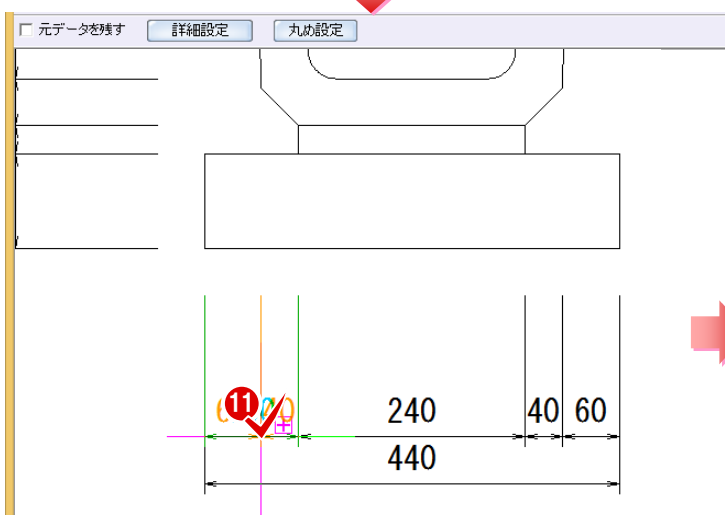
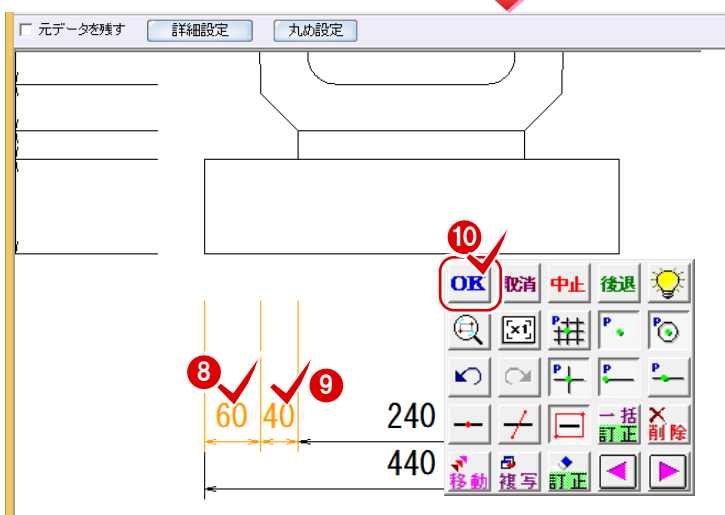
067

寸法線を合成する

[寸法線]—[合成]で、寸法線を合成します。



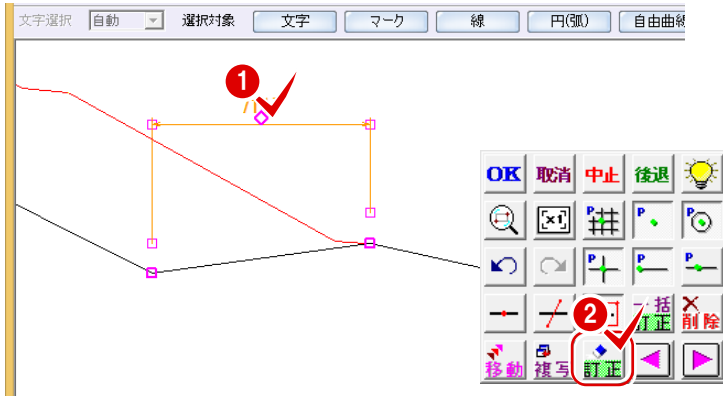
- 1 [寸法線]—[合成]をクリックします。
(① ②)
- 2 [元データを残す]のチェックをオフにして、[丸め設定]をクリックします。
(③ ④)
- 3 [寸法]タブをクリックし、丸めを設定して、[OK]をクリックします。
(⑤ ⑥ ⑦)
- 4 合成する寸法値をクリックします。
(⑧ ⑨)
- 5 寸法値の指定を終了したら、右クリックして表示されるポップアップメニューの [OK]をクリックします。(⑩)
- 6 合成した寸法線の配置位置をクリックします。(⑪)



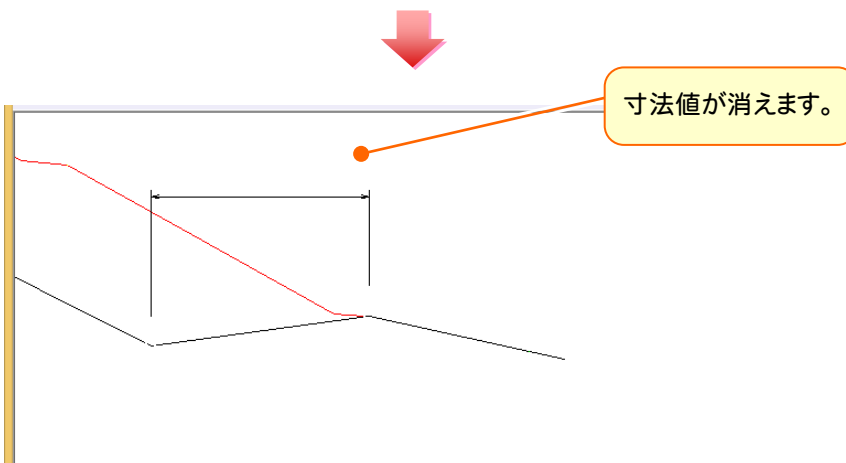
068

寸法値を消す

[訂正]で[寸法値の有無]のチェックをオフにして、寸法値を消します。



- 1 寸法値をクリックします。(1)
- 2 右クリックして表示されるポップアップメニューの[訂正]をクリックします。(2)
- 3 [寸法値の有無]のチェックをオフにして[OK]をクリックします。(3 4)



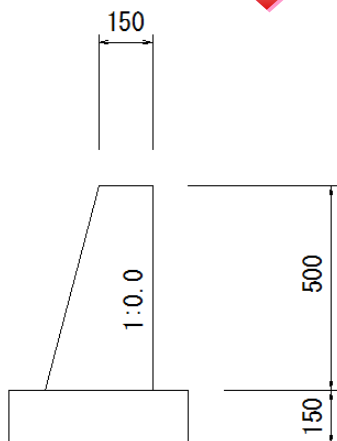
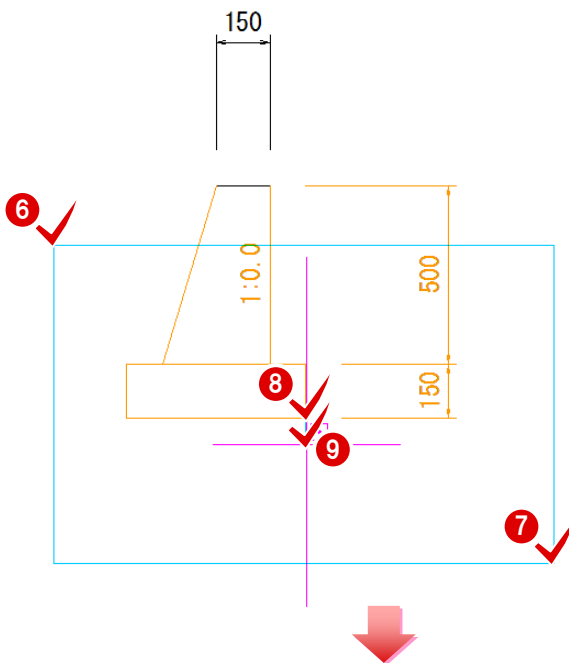
069

寸法値を変えずに寸法線を変形する

[編集] - [変形] - [変形] で [寸法再計算] のチェックをオフにして変形します。



- 1 [編集] - [変形] - [変形] をクリックします。(1 2 3)
- 2 選択モードを指定して、[寸法再計算] のチェックをオフにします。(4 5)
- 3 変形する範囲を指定して、変形元、変形先の基準点をクリックします。(6 7 8 9)



ラスタ

070	ラスタを配置する	80
071	ラスタの不要部分を削除する	81
072	ラスタを移動する	82
073	ラスタのサイズを変更する	83
074	ラスタの描画順を変更する	84

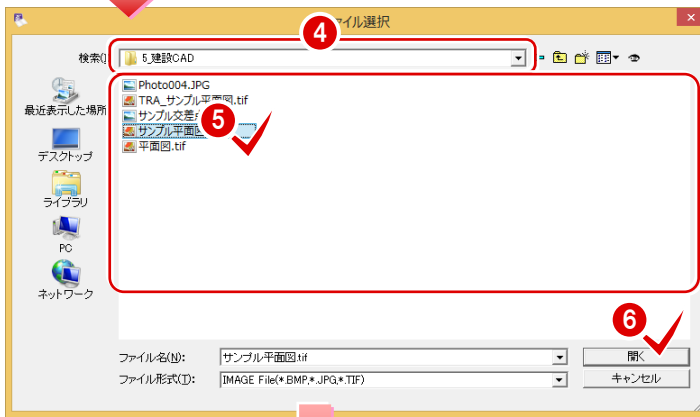
070

ラスタを配置する

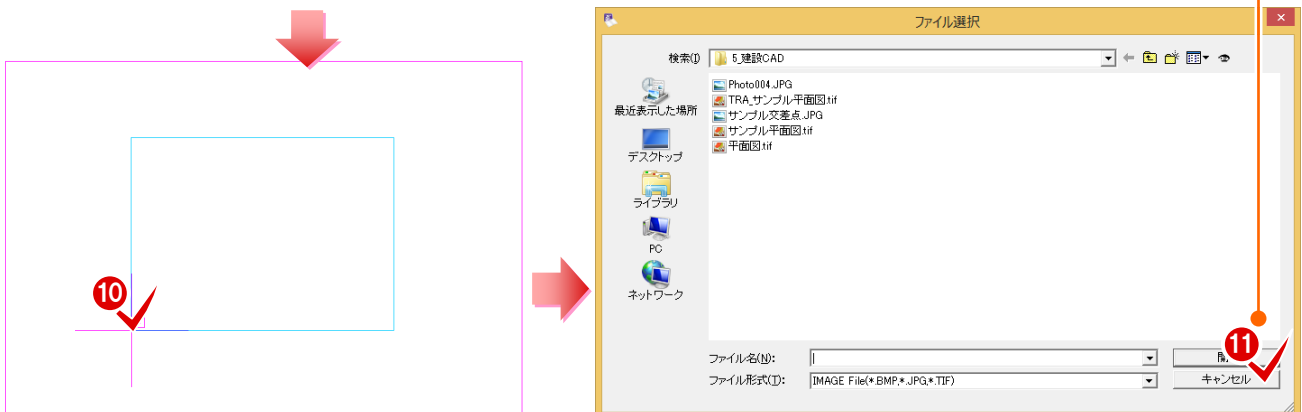
[汎用]－[ラスタ]－[配置]でラスタを配置します。



- 1 [汎用]－[ラスタ]－[配置]をクリックします。(1 2 3)
- 2 フォルダ、ファイル指定して、[開く]をクリックします。(4 5 6)
- 3 配置方法、基準点を指定して、[OK]をクリックします。(7 8 9)
- 4 配置基準をクリックします。(10)
- 5 [キャンセル]をクリックします。(11)



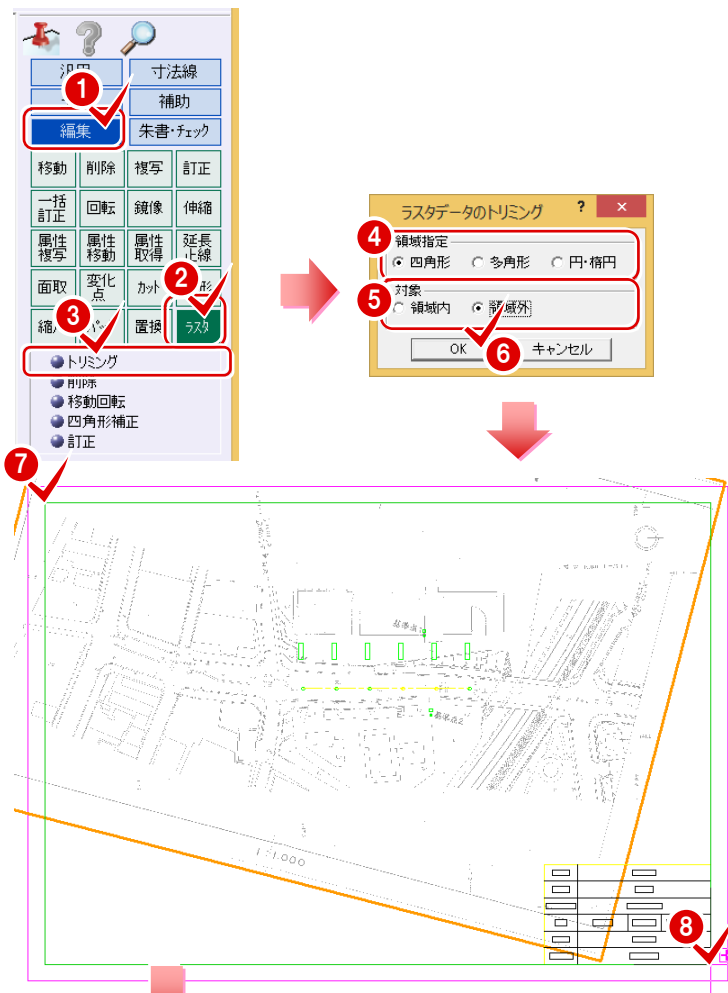
ラスタが配置されて、再度[ファイル選択]ダイアログが表示されます。続けて、ラスタを配置することもできますが、ここでは終了するので、[キャンセル]をクリックします。



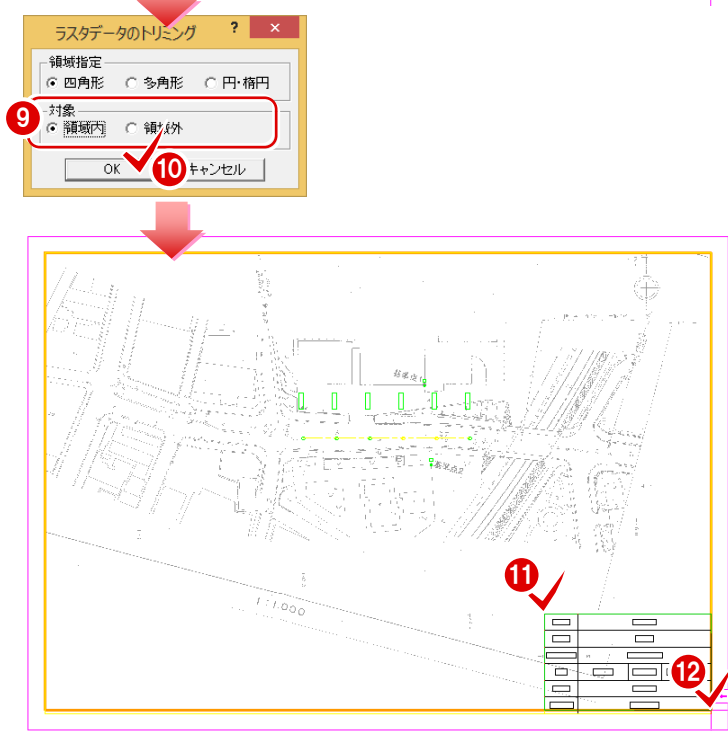
071

ラスタの不要部分を削除する

[編集]-[ラスタ]-[トリミング]で、ラスタの不要部分を削除します。



- 1 [編集]-[ラスタ]-[トリミング]をクリックします。(① ② ③)
- 2 [領域指定]で[四角形]、[対象]で[領域外]を選択して、[OK]をクリックします。(④ ⑤ ⑥)
- 3 図枠の左上、右下をクリックします。(⑦ ⑧)
- 4 [対象]で[領域内]を選択して、[OK]をクリックします。(⑨ ⑩)
- 5 表題欄の左上、右下をクリックします。(⑪ ⑫)
- 6 [キャンセル]をクリックします。(⑬)



072

ラスタを移動する

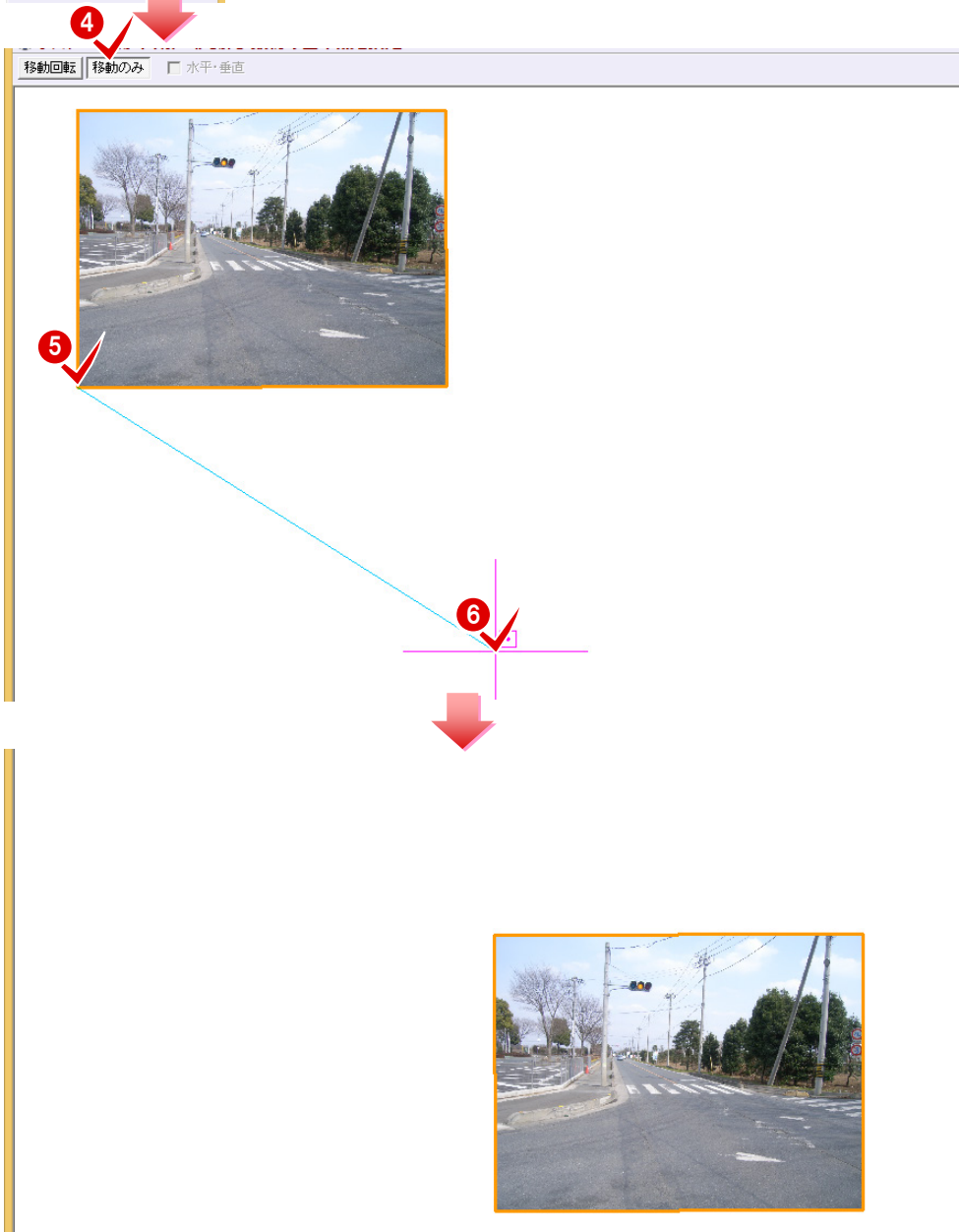
[編集]－[ラスタ]－[移動回転]で、ラスタを移動します。



1 [編集]－[ラスタ]－[移動回転]をクリックします。(1 2 3)

2 [移動のみ]をクリックします。(4)

4 移動元、移動先の基準点をクリックします。(5 6)



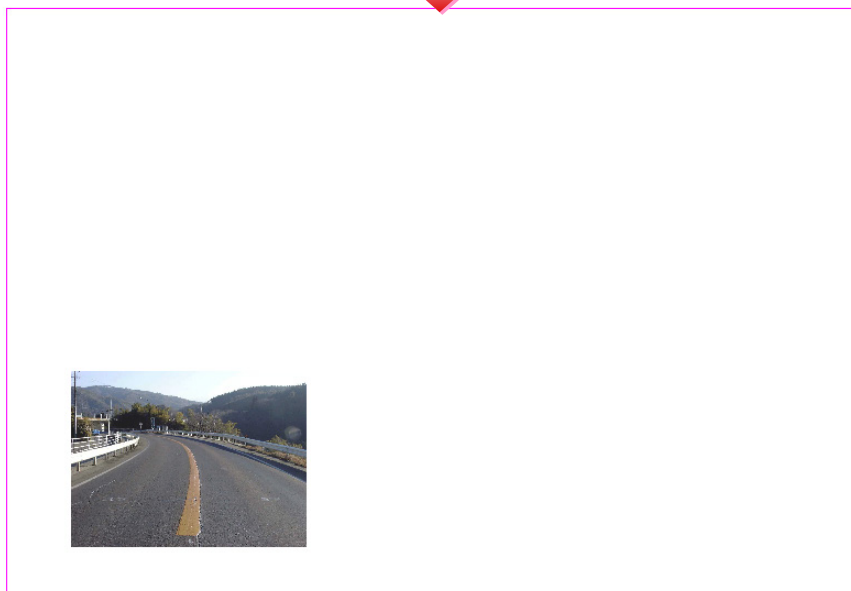
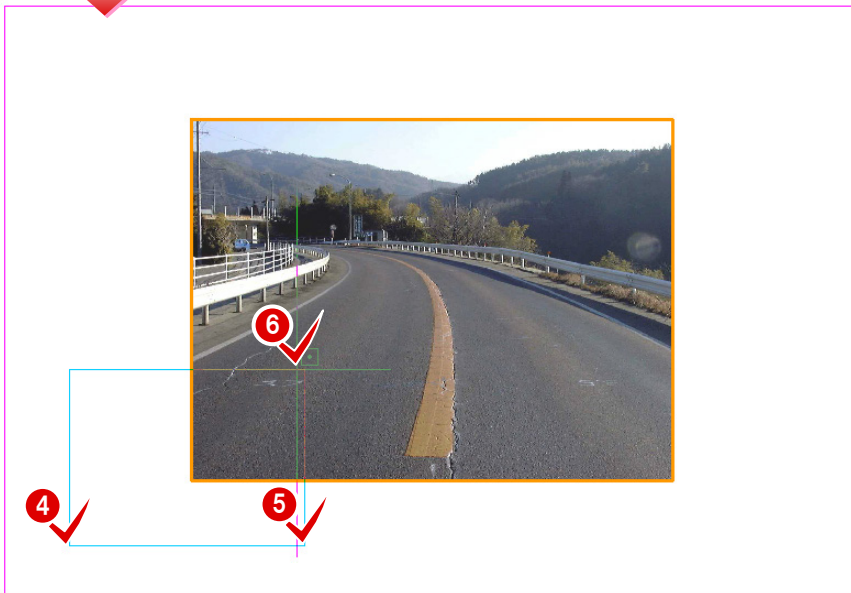
073

ラスタのサイズを変更する

[編集]－[ラスタ]－[四角形補正]で、ラスタのサイズを変更します。

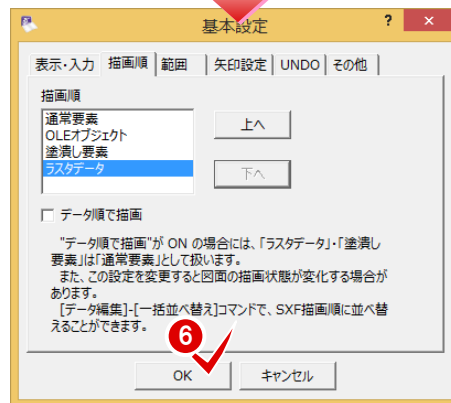
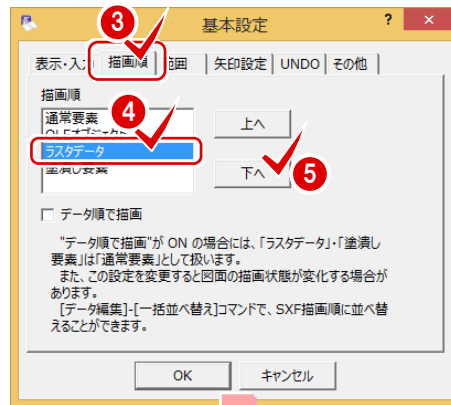
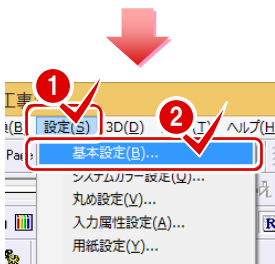
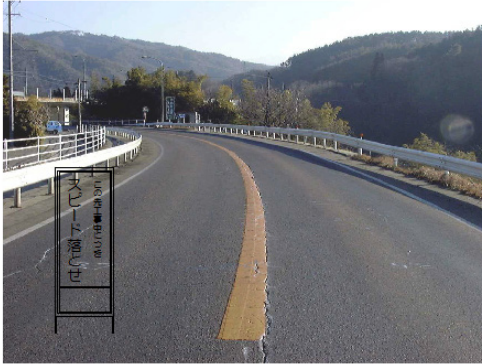


- 1 [編集]－[ラスタ]－[四角形補正]をクリックします。
(① ② ③)
- 2 移動先の左下、右下、右上をクリックします。
(④ ⑤ ⑥)



074 ラスタの描画順を変更する

[設定]－[基本設定]の[描画順]でラスタの描画順を変更します。
看板の塗り潰しが消えている場合は、「ラスタデータ」を「塗り潰し要素」の下にします。



- 1 [設定]－[基本設定]をクリックします。(1 2)
- 2 [描画順]タブをクリックし、[描画順]で「ラスタデータ」をクリックして、[下へ]をクリックします。(3 4 5)
- 3 [OK]をクリックします。(6)

看板の塗り潰しが表示されます。



旗上げ

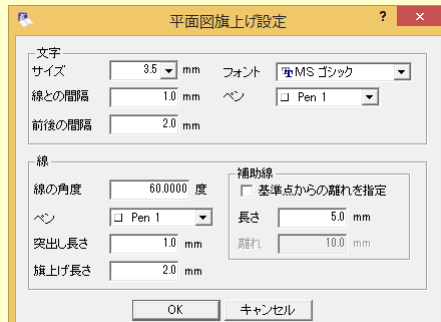
075	平面図旗上げを入力する……………	86
076	縦断図旗上げを入力する……………	88
077	円・文字の旗上げを入力する……………	89

075 平面図旗上げを入力する

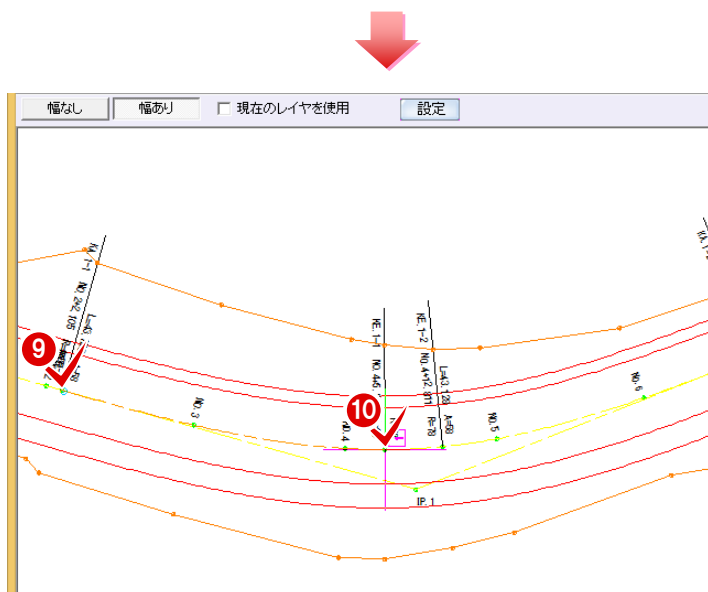
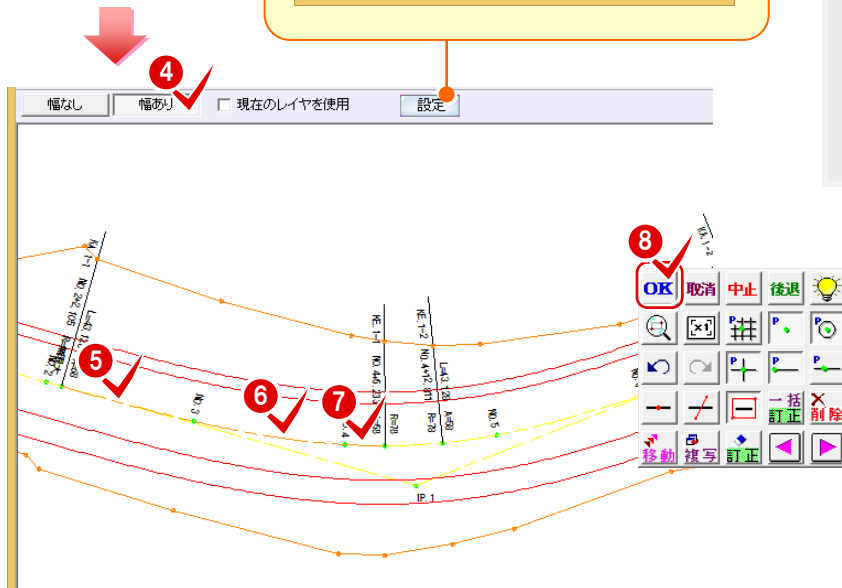
[土木]－[旗上げ]－[平面図旗上げ]で平面図旗上げを入力します。

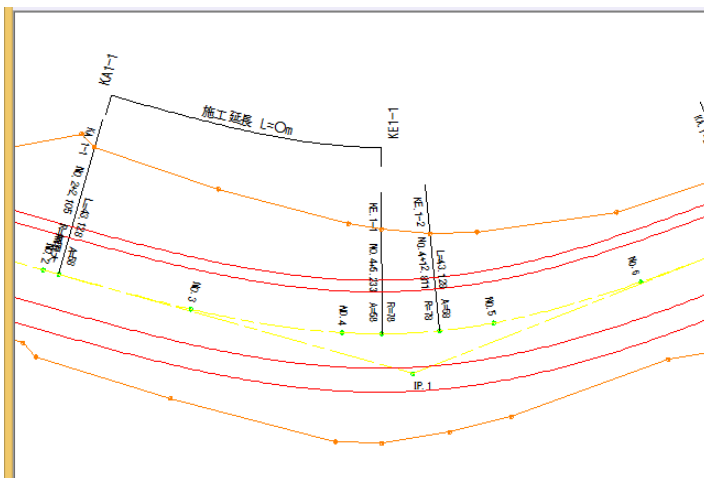
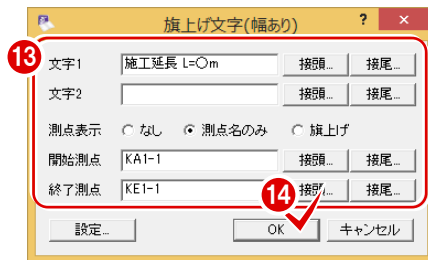
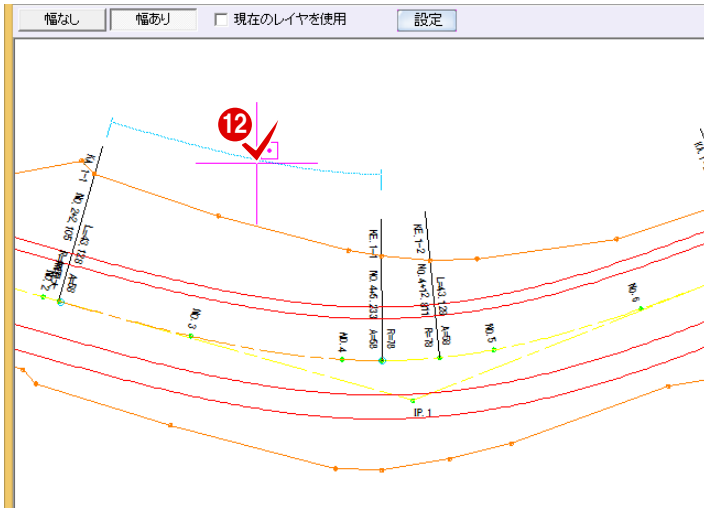
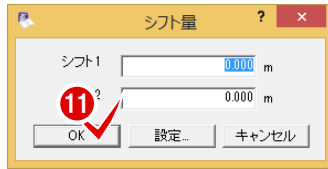


[設定]をクリックして表示される[平面図旗上げ設定]で旗上げの文字、線を設定します。



- 1 [土木]－[旗上げ]－[平面図旗上げ]をクリックします。(1 2 3)
- 2 [幅あり]をクリックします。(4)
- 3 路線を構成する要素(入力例では、KA.1-1～KE.1-1間のセンターの線)を順にクリックし、最後に右クリックして[OK]をクリックします。(5 6 7 8)
- 4 始点と終点(入力例ではKA.1-1とKE.1-1)を順にクリックします。(9 10)





5 [OK]をクリックします。(11)

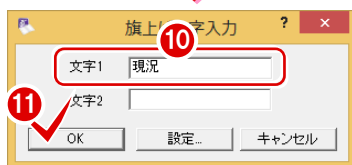
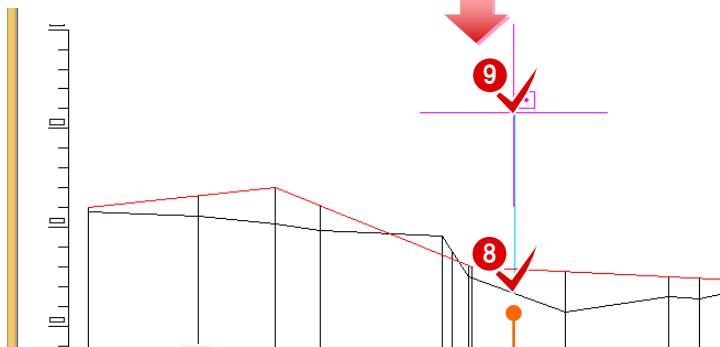
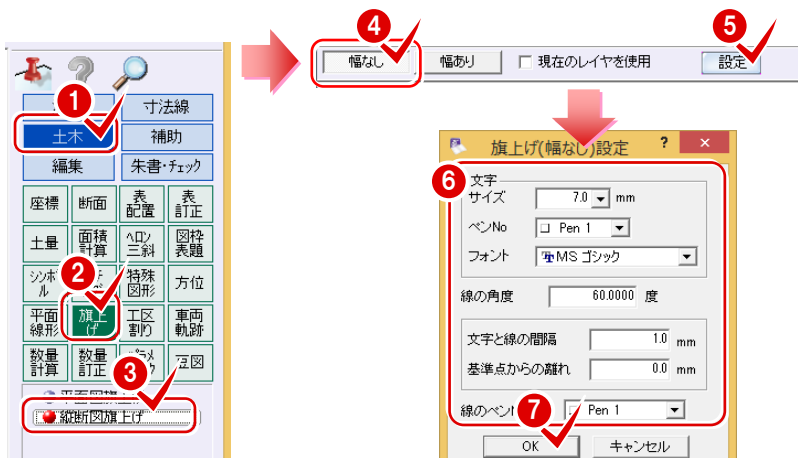
6 旗上げの位置をクリックします。
(12)


7 旗上げの文字、開始測点、終了測点を入力して、[OK]をクリックします。(13 14)

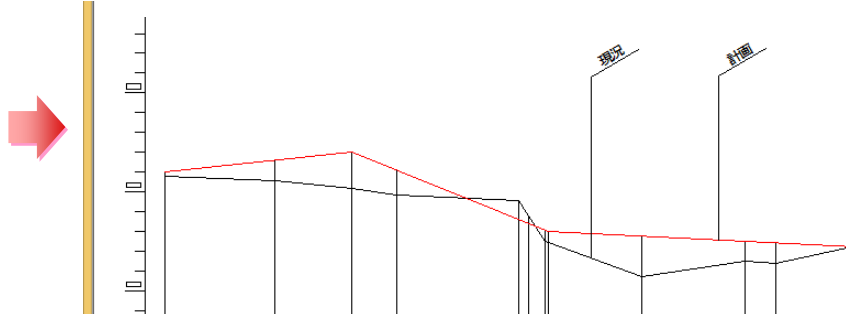
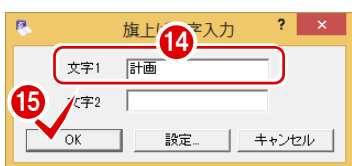
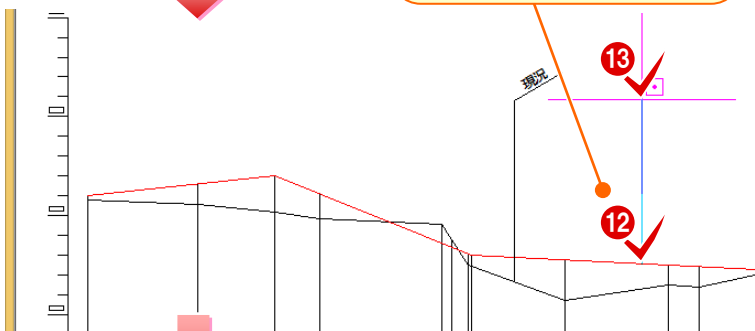
076

縦断図旗上げを入力する

[土木]—[旗上げ]—[縦断図旗上げ]で、縦断図旗上げを入力します。



[ピック：線上]のアイコン () がオンになっていることを確認して旗上げの足をクリックしてください。

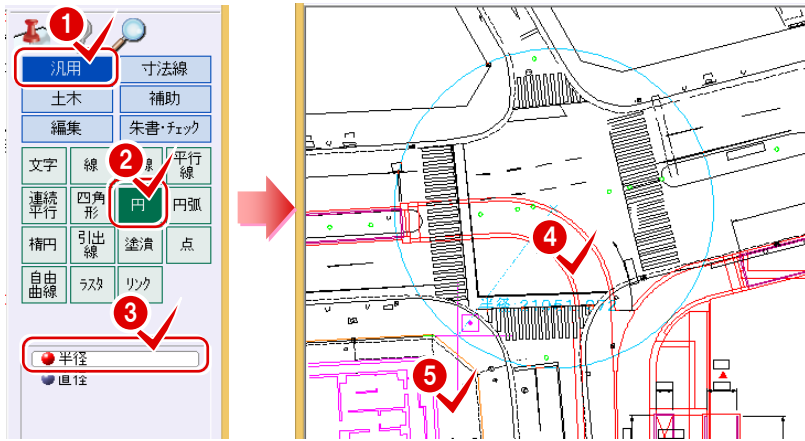


- 1 [土木]—[旗上げ]—[縦断図旗上げ]をクリックします。(1 2 3)
- 2 [幅なし]をクリックして、[設定]をクリックします。(4 5)
- 3 [文字]の[サイズ]を「7」に設定して、[OK]をクリックします。(6 7)
- 4 旗上げの足(ここでは現況線)、旗上げをする高さの位置をクリックします。(8 9)
- 5 [文字1]に「現況」と入力して、[OK]をクリックします。(10 11)
- 6 同様に旗上げの足(ここでは計画線)、旗上げをする高さの位置をクリックします。(12 13)
- 7 [文字1]に「計画」と入力して、[OK]をクリックします。(14 15)

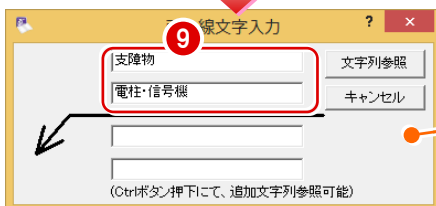
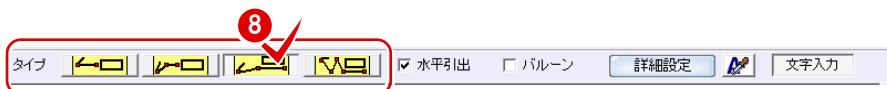
077

円・文字の旗上げを入力する

[汎用]-[円]-[半径]で円を入力して、[汎用]-[引出線]で文字の旗上げを入力します。

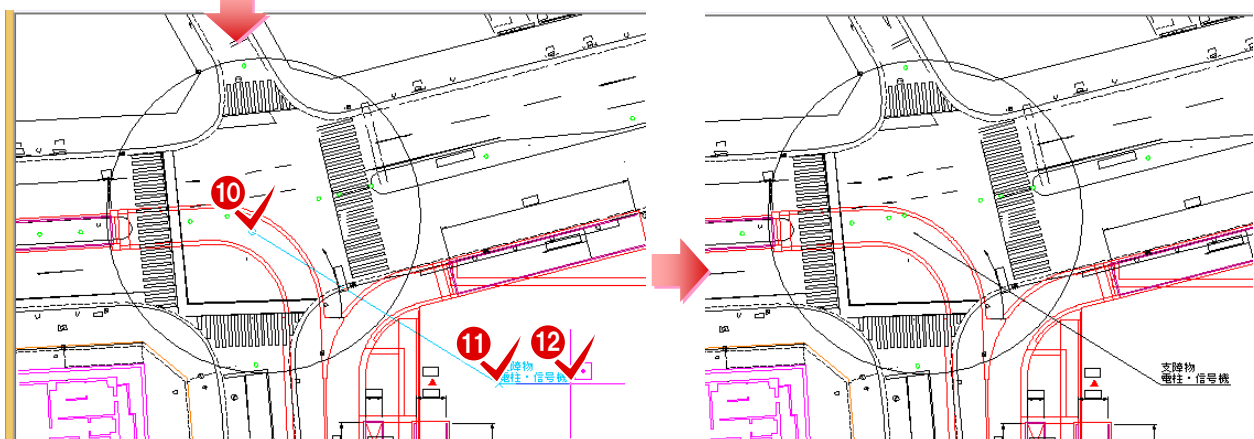


- 1 [汎用]-[円]-[半径]をクリックします。(1 2 3)
- 2 円の中心、半径をクリックします。(4 5)
- 3 [汎用]-[引出線]をクリックします。(6 7)
- 4 引き出し線のタイプを選択します。(8)
- 5 引き出す文字列を入力します。(9)
- 6 引き出し線の始点、折れ点、終点をクリックします。(10 11 12)



[引出線文字入力]ダイアログが表示されない場合は、インプットバーの[文字入力]をクリックしてください。

詳細設定 文字入力



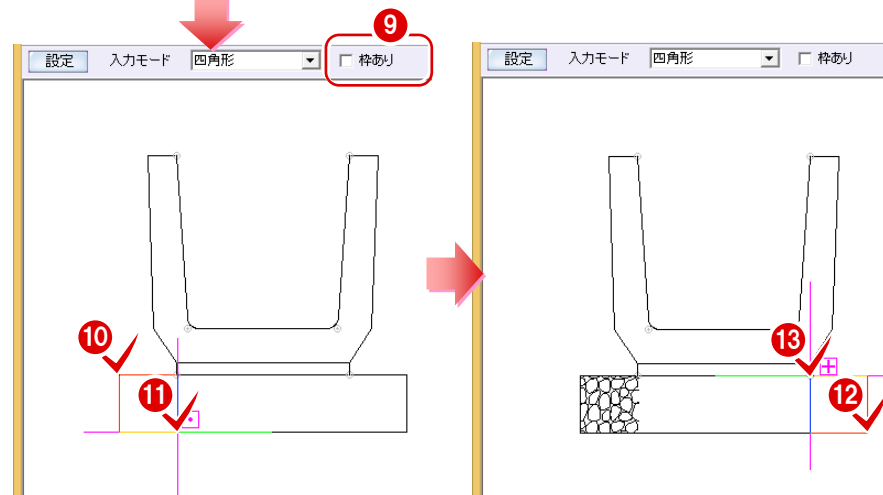
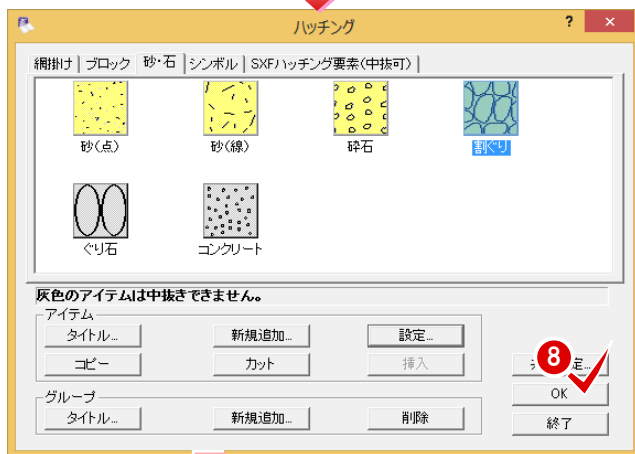
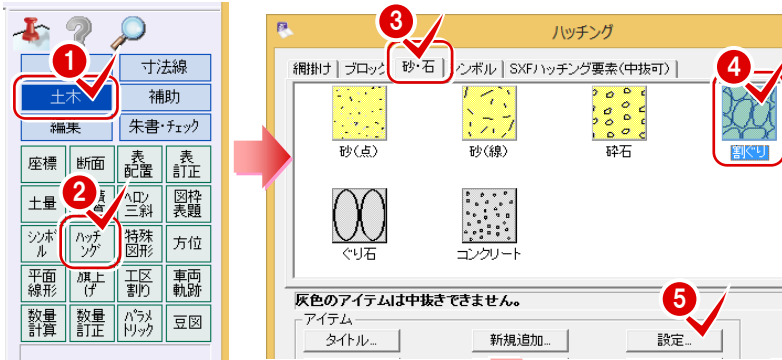
ハッチング 特殊図形 車両軌跡

078	ハッチングを入力する.....	91
079	特殊線を入力する.....	92
080	階段を入力する.....	93
081	切断記号を入力する.....	94
082	車両軌跡を入力する.....	95

078

ハッチングを入力する

[土木]－[ハッチング]でハッチングを入力します。
ここでは、基礎に割ぐりのハッチングを入力します。

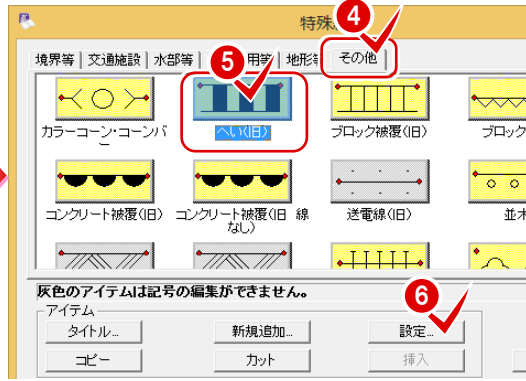


- 1 [土木]－[ハッチング]をクリックします。(1 2)
- 2 [砂・石]タブをクリックして「割ぐり」を選択します。(3 4)
- 3 [設定]をクリックします。(5)
- 4 配置方法、比率を設定して、[OK]をクリックします。(6 7)
- 5 [OK]をクリックします。(8)
- 6 [枠あり]のチェックをオフにします。(9)
- 7 左側のハッチングを入力する範囲を指定します。(10 11)
- 8 右側のハッチングを入力する範囲を指定します。(12 13)

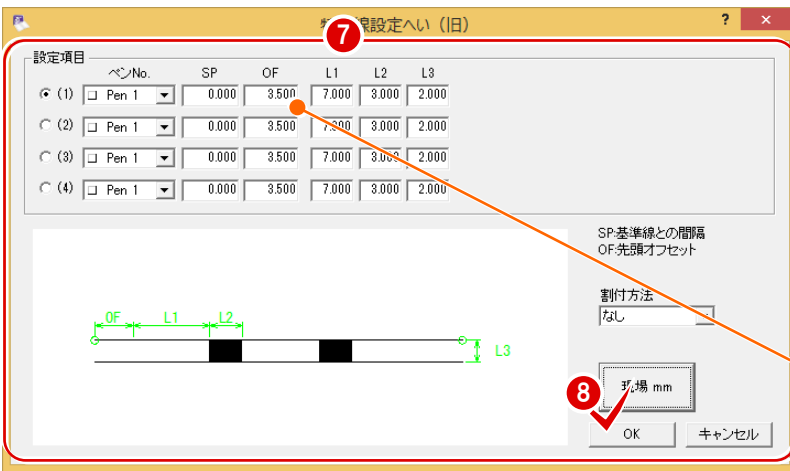
079

特殊線を入力する

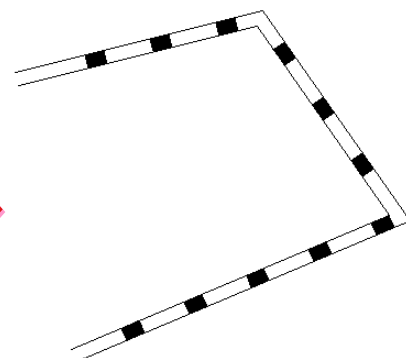
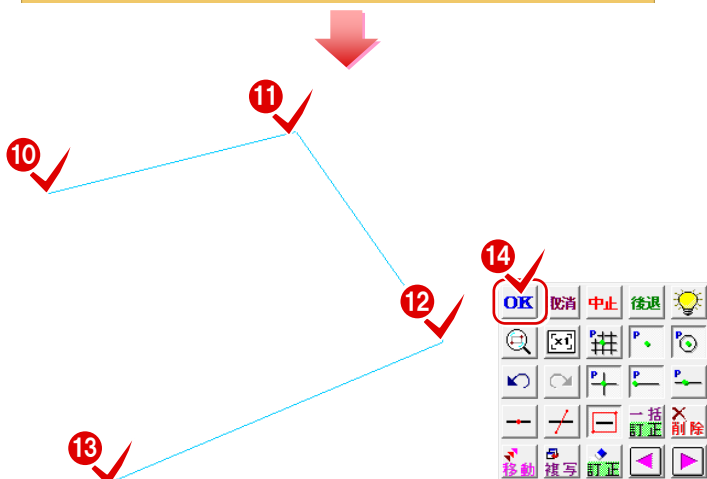
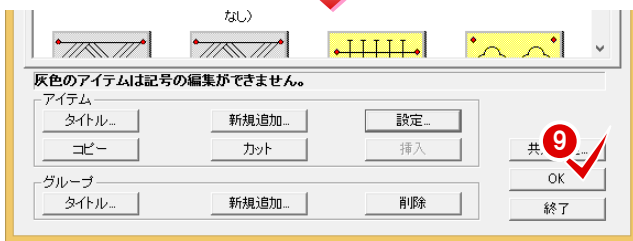
[土木]－[特殊図形]－[特殊線]で特殊線を入力します。



- 1 [土木]－[特殊図形]－[特殊線]をクリックします。(1 2 3)
- 2 特殊線を選択して、[設定]をクリックします。(4 5 6)
- 3 特殊線の詳細を設定して、[OK]をクリックします。(7 8)
- 4 [OK]をクリックします。(9)
- 5 特殊線の各点をクリックします。(10 11 12 13)
- 6 特殊線の入力を終了したら、右クリックして[OK]をクリックします。(14)



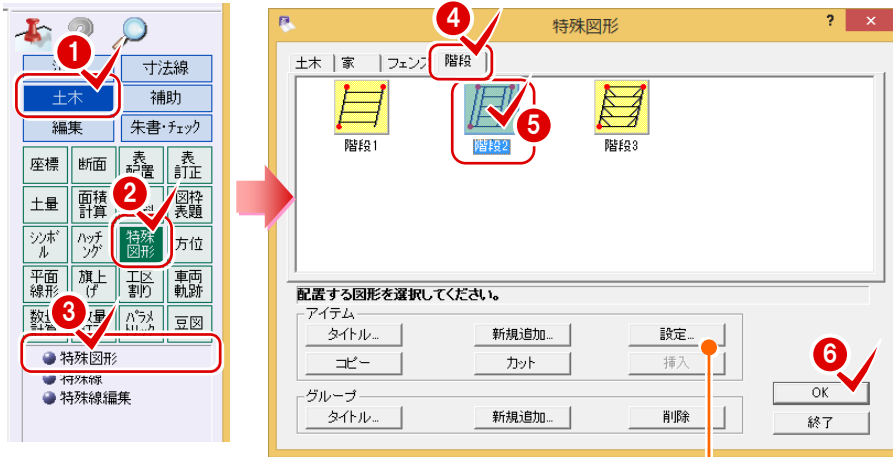
[OF]に[L1]のマイナスの値を入力すると、開始点に縦線を表示できます。



080

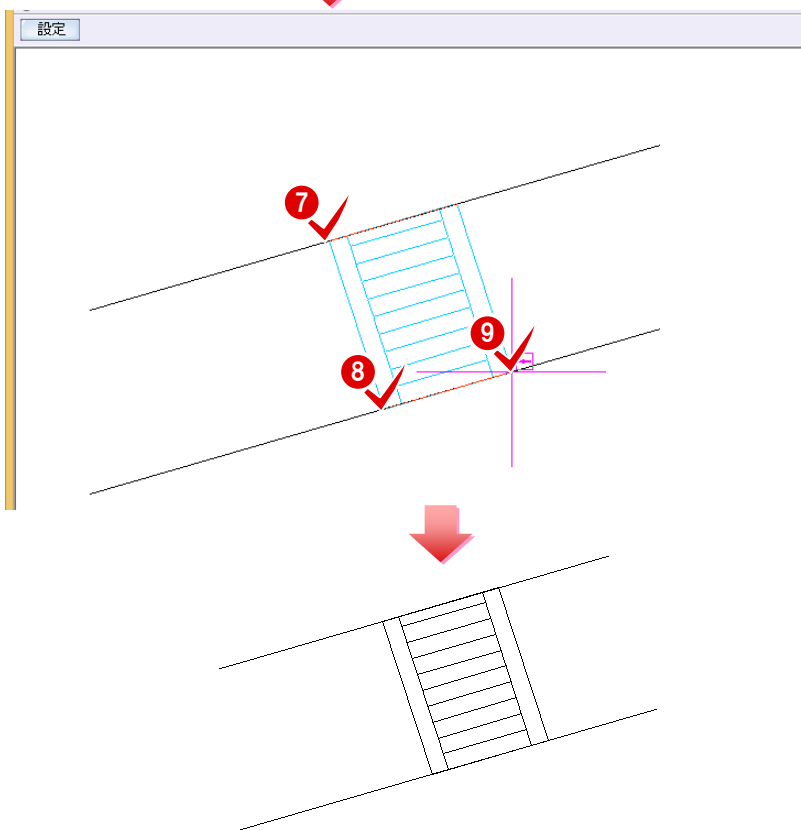
階段を入力する

[土木]－[特殊図形]－[特殊図形]で階段を入力します。



- 1 [土木]－[特殊図形]－[特殊図形]をクリックします。(1 2 3)
- 2 [階段]タブをクリックし、[階段2]を指定して、[OK]をクリックします。(4 5 6)
- 3 階段の基準点、高さ、幅をクリックします。(7 8 9)

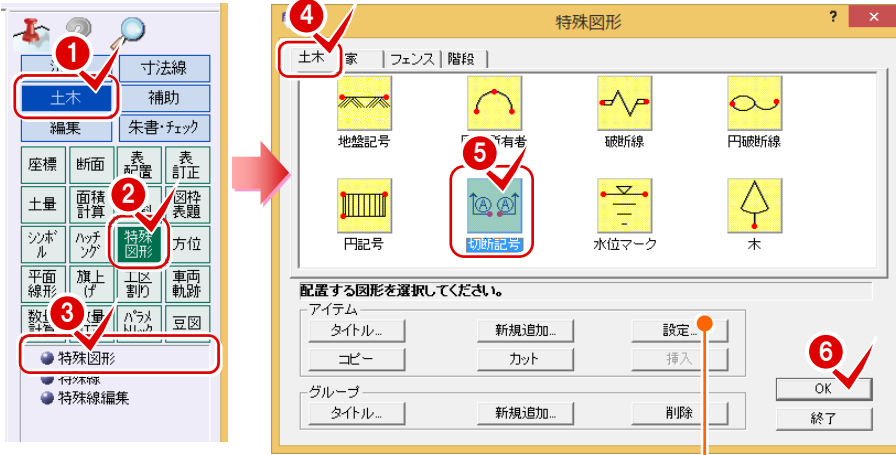
[設定]をクリックして表示される[特殊図形設定 階段2]ダイアログで詳細を設定できます。



081

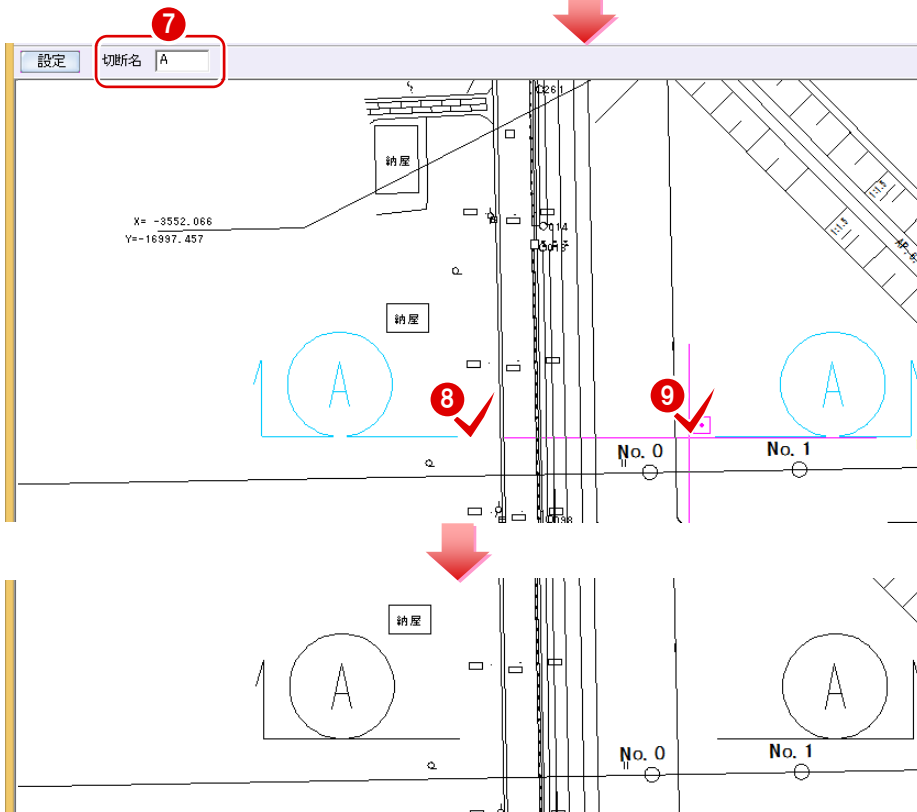
切断記号を入力する

[土木]－[特殊図形]－[特殊図形]で切断記号を入力します。



- 1 [土木]－[特殊図形]－[特殊図形]をクリックします。(1 2 3)
- 2 [土木]タブをクリックし、[切断記号]を指定して、[OK]をクリックします。(4 5 6)
- 3 インputバーの[切断名]に番号(1・2・3・・・、A・B・C・・・など)を入力します。(7)
- 4 切断記号の始点、終点をクリックします。(8 9)

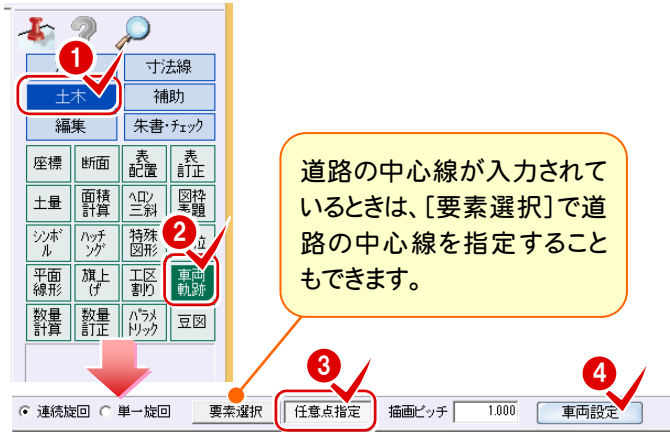
[設定]をクリックして表示される[特殊図形設定 切断記号]ダイアログで詳細を設定できます。



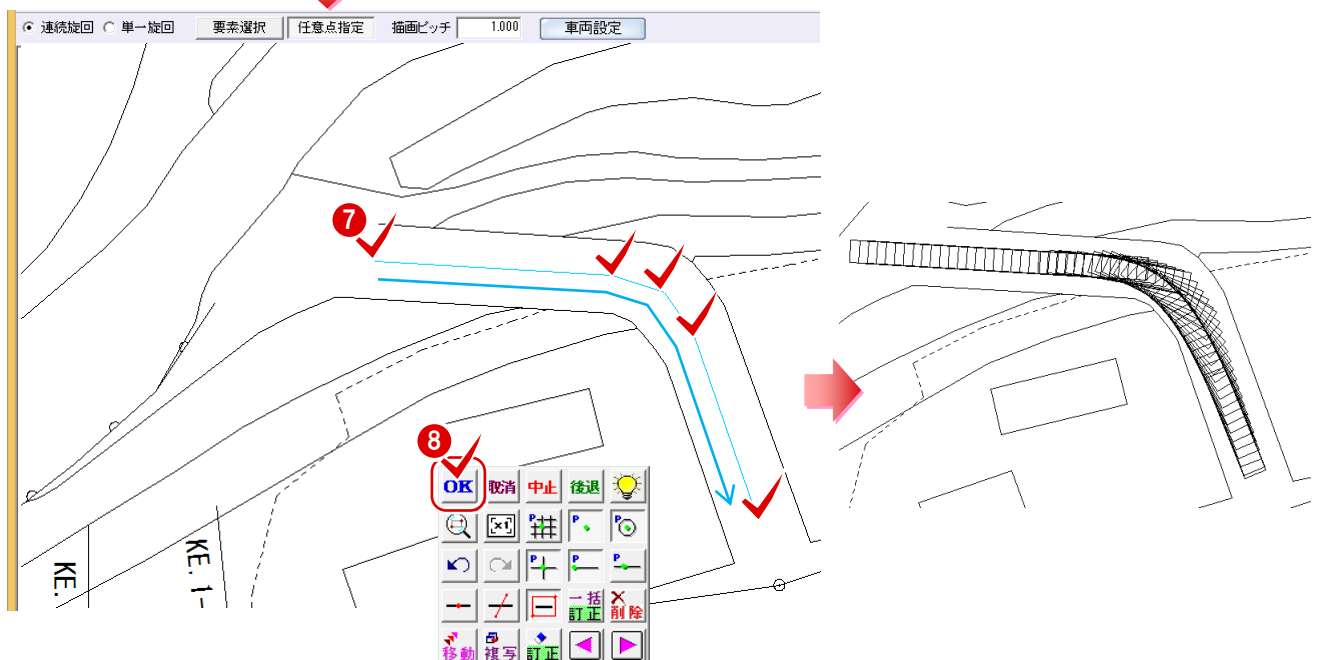
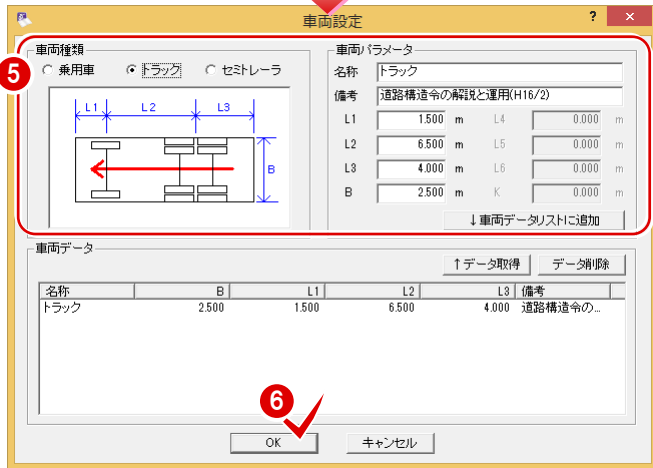
082

車両軌跡を入力する

[土木]—[車両軌跡]で車両軌跡を入力します。



- 1 [土木]—[車両軌跡]をクリックします。(1 2)
- 2 [任意点指定]を選択して、[車両設定]をクリックします。(3 4)
- 3 [車両種類]を選択し、幅、長さなどを設定して、[OK]をクリックします。(5 6)
- 4 道路の中心をクリックします。(7)
- 5 道路の中心の指定を終了したら、右クリックして、[OK]をクリックします。(8)



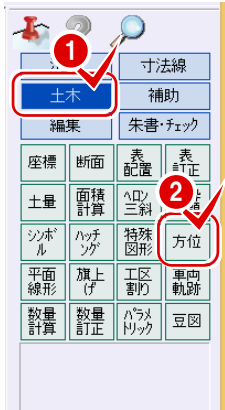
方位マーク シンボル

083	方位マークを入力する	97
084	構造物記号を入力する	98
085	部品を登録する	99
086	部品を配置する	100

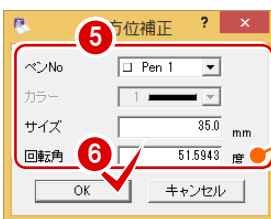
083

方位マークを入力する

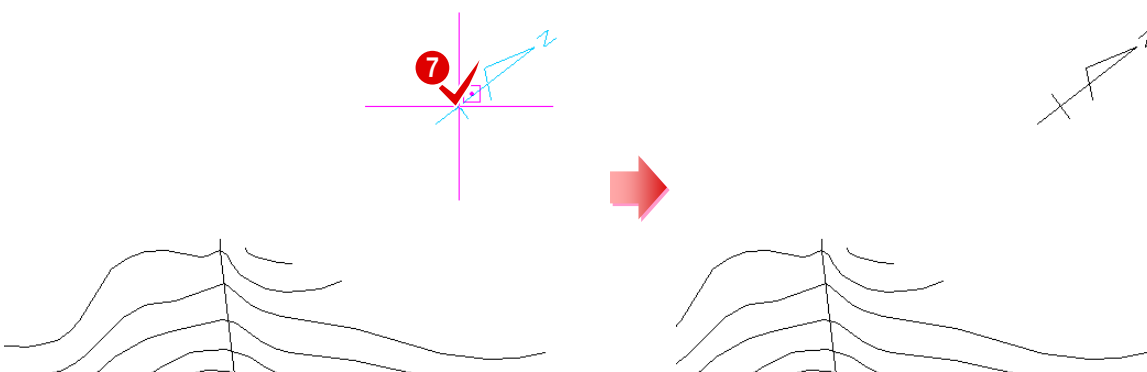
[土木]－[方位]で方位マークを入力します。



- 1 [土木]－[方位]をクリックします。(1 2)
- 2 方位マークを選択して、[配置]をクリックします。(3 4)
- 3 回転角などを確認して、[OK]をクリックします。(5 6)
- 4 方位の配置位置をクリックします。(7)



[回転角]には図面の回転角が表示されます。



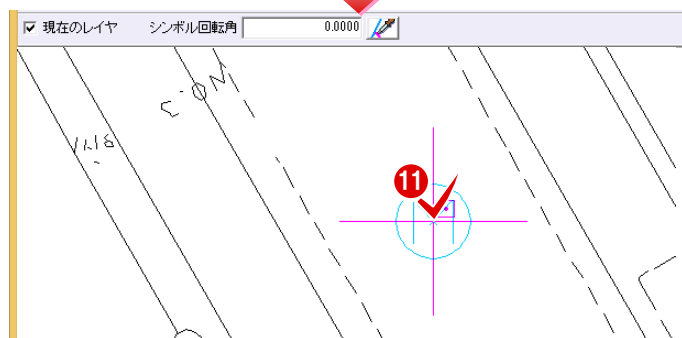
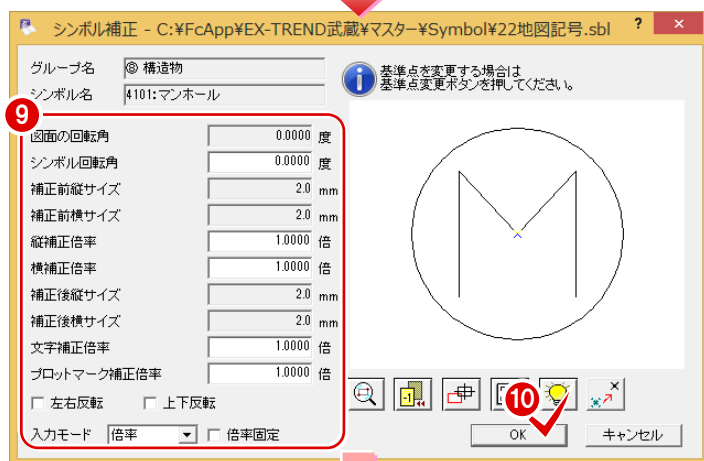
084

構造物記号を入力する

[土木]－[シンボル]－[配置]で構造物記号を入力します。



- 1 [土木]－[シンボル]－[配置]をクリックします。
(① ② ③)
- 2 ファイル、グループ、構造物記号を選択します。
(④ ⑤ ⑥)
- 3 配置方法を設定して、[配置]をクリックします。
(⑦ ⑧)
- 4 構造物記号の大きさ(倍率)などを設定して、[OK]をクリックします。(⑨ ⑩)
- 5 構造物記号の配置位置をクリックします。(⑪)



085

部品を登録する

[土木]－[シンボル]－[登録]で部品を登録します。

1 [土木]－[シンボル]－[登録]をクリックします。
(① ② ③)

2 登録する部品を選択して、基準点をクリックします。
(④ ⑤ ⑥)

3 [開く]をクリックします。(⑦)

4 登録する場所をクリックして、[登録]をクリックします。
(⑧ ⑨)

5 [シンボル名]をクリックして、部品名を入力します。
(⑩ ⑪)

6 [終了]をクリックします。
(⑫)

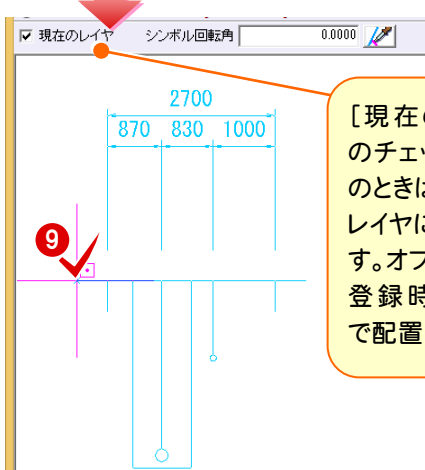
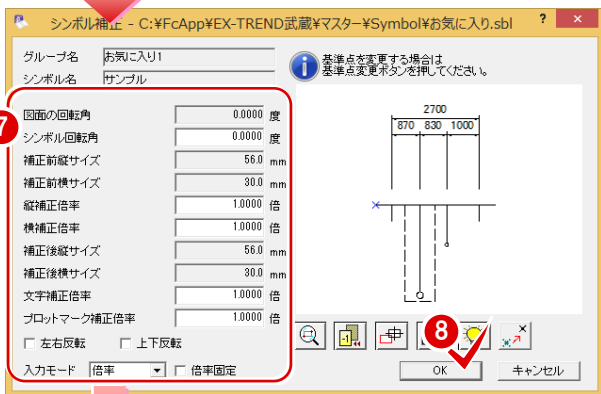
086

部品を配置する

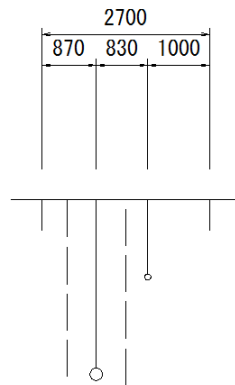
[土木]－[シンボル]－[配置]で部品を配置します。



- 1 [土木]－[シンボル]－[配置]をクリックします。
(① ② ③)
- 2 [配置方法]を「標準配置」にします。(④)
- 3 配置する部品を指定して、[配置]をクリックします。
(⑤ ⑥)
- 4 部品の大きさ(倍率)などを設定して、[OK]をクリックします。(⑦ ⑧)
- 5 部品の配置位置をクリックします。(⑨)



[現在のレイヤ]のチェックがオンのときは、現在のレイヤに配置します。オフのときは、登録時のレイヤで配置されます。



断面・法面

087	簡易断面図を入力する	102
088	法面を入力する	103

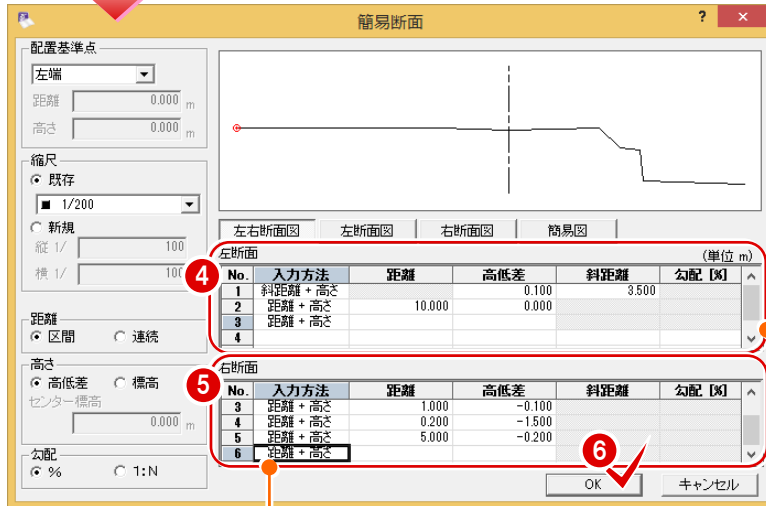
087

簡易断面図を入力する

[土木]－[断面]－[簡易断面]で簡易断面図を入力します。

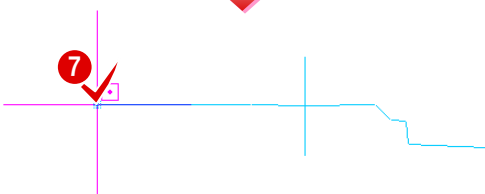


- 1 [土木]－[断面]－[簡易断面]をクリックします。(① ② ③)
- 2 [左断面][右断面]に左図のように入力します。(④ ⑤)
- 3 [OK]をクリックします。(⑥)
- 4 断面の配置位置をクリックします。(⑦)
- 5 [キャンセル]をクリックします。(⑧)



No	入力方法	距離	高低差	斜距離	勾配
1	斜距離+高さ		0.100	3.500	
2	距離+高さ	10.000	0.000		

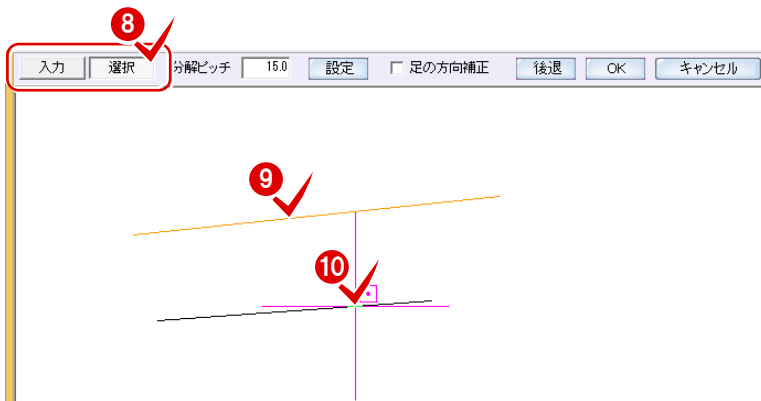
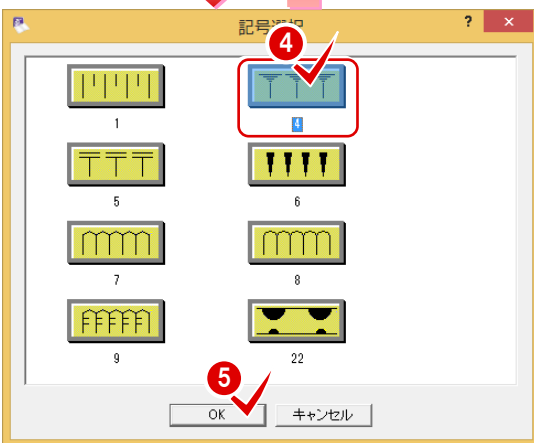
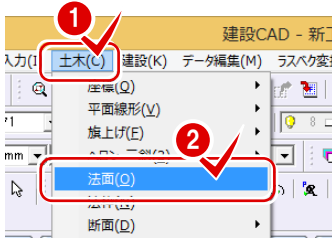
No	入力方法	距離	高低差	斜距離	勾配
1	斜距離+高さ		0.100	4.500	
2	距離+高さ	1.000	-1.000		
3	距離+高さ	1.000	-0.100		
4	距離+高さ	0.200	-1.500		
5	距離+高さ	5.000	-0.200		



088

法面を入力する

[土木]－[法面]で法面を入力します。



- 1 [土木]－[法面]をクリックします。(1 2)
- 2 [法面記号タイプ選択]をクリックします。(3)
- 3 法面記号を選択して、[OK]をクリックします。(4 5)
- 4 法面記号の詳細を設定して、[OK]をクリックします。(6 7)
- 5 インputバーで[選択]をクリックして、法肩線、法尻線をクリックします。(8 9 10)

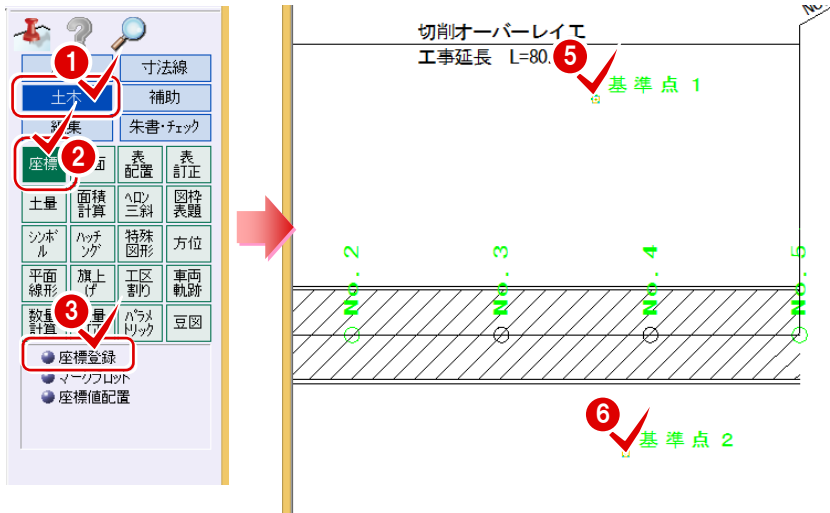
座標・標高値・補助

089	図面から座標を登録する	105
090	登録済みの座標(マーク)をプロットする	106
091	指定した点の座標値を配置する	107
092	座標値を確認する	108
093	標高値を配置する	109
094	入力補助点を入力する	110

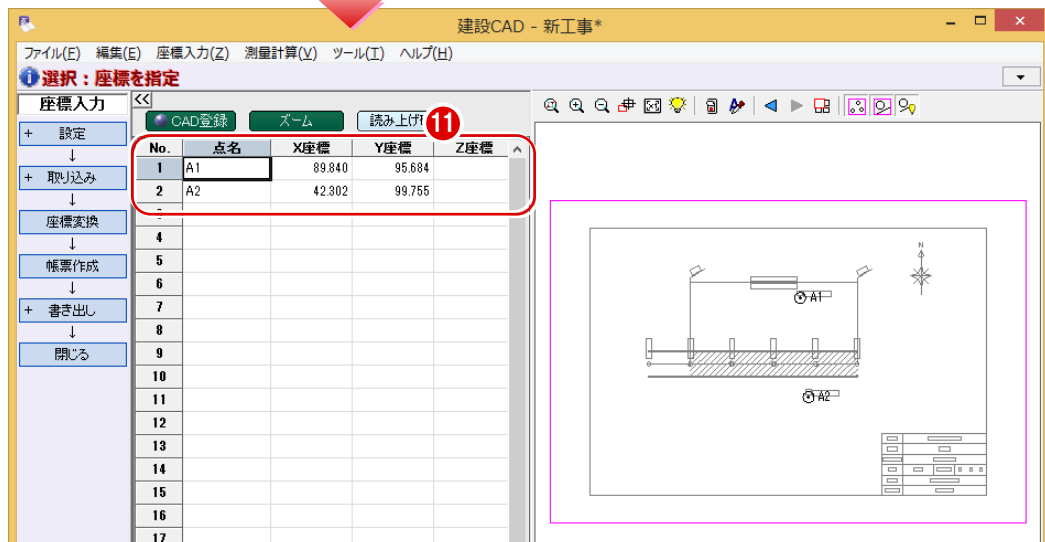
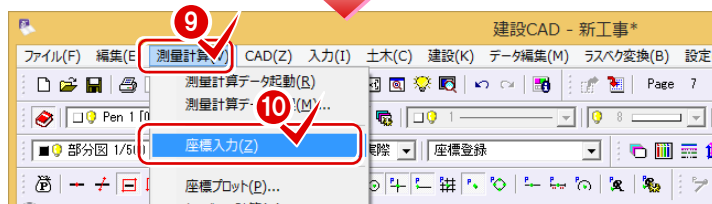
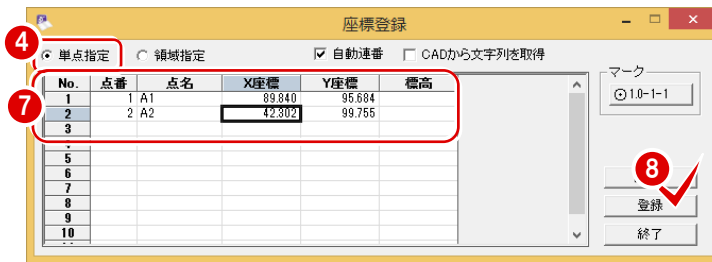
089

図面から座標を登録する

[土木]－[座標]－[座標登録]で図面から座標を登録します。



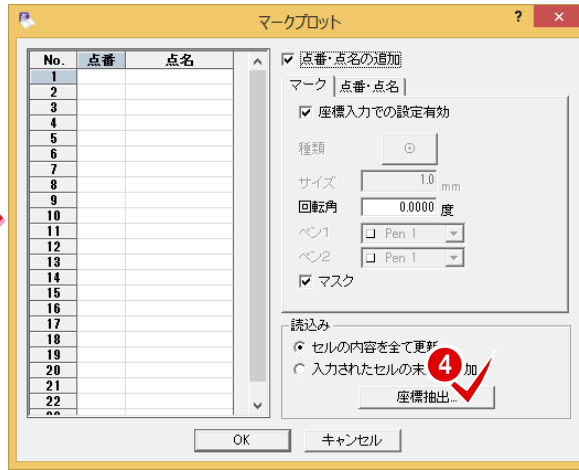
- 1 [土木]－[座標]－[座標登録]をクリックします。
(1 2 3)
- 2 [単点指定]が選択されていることを確認して、座標登録する点をクリックします。
(4 5 6)
- 3 指定した点の点名を入力して、[登録]をクリックします。
(7 8)
- 4 [測量計算]－[座標入力]をクリックします。(9 10)
- 5 登録された座標を確認します。(11)



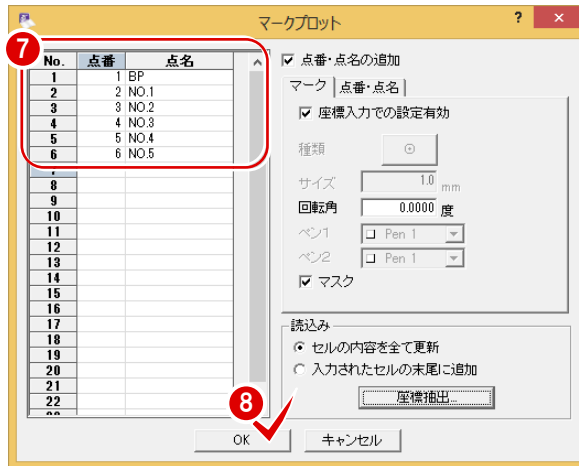
090

登録済みの座標(マーク)をプロットする

[土木]-[座標]-[マークプロット]で登録済みの座標(マーク)をプロットします。



- 1 [土木]-[座標]-[マークプロット]をクリックします。(1 2 3)
- 2 [座標抽出]をクリックします。(4)
- 3 抽出方法、範囲を指定して、[抽出]をクリックします。(5 6)
- 4 抽出された座標を確認して、[OK]をクリックします。(7 8)



座標(マーク)がプロットされます。

BP

NO.5

NO.1

NO.4

NO.3

NO.2

091

指定した点の座標値を配置する

[土木]-[座標]-[座標値配置]で指定した点の座標値を配置します。

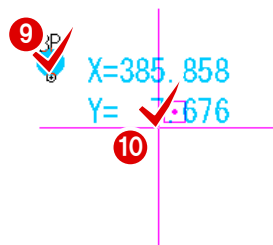


1 [土木]-[座標]-[座標値配置]をクリックします。
(1 2 3)

2 選択方法を指定し、[現在の縮尺で座標値を計算]のチェックをオンにして、[設定]をクリックします。
(4 5 6)

3 文字のサイズ、配置位置などを設定して、[OK]をクリックします。(7 8)

4 座標値を配置する点を指定して、配置位置をクリックします。(9 10)



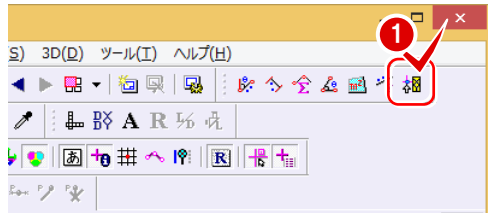
BP
○ X=385.858
Y= 7.676

NO.1
○

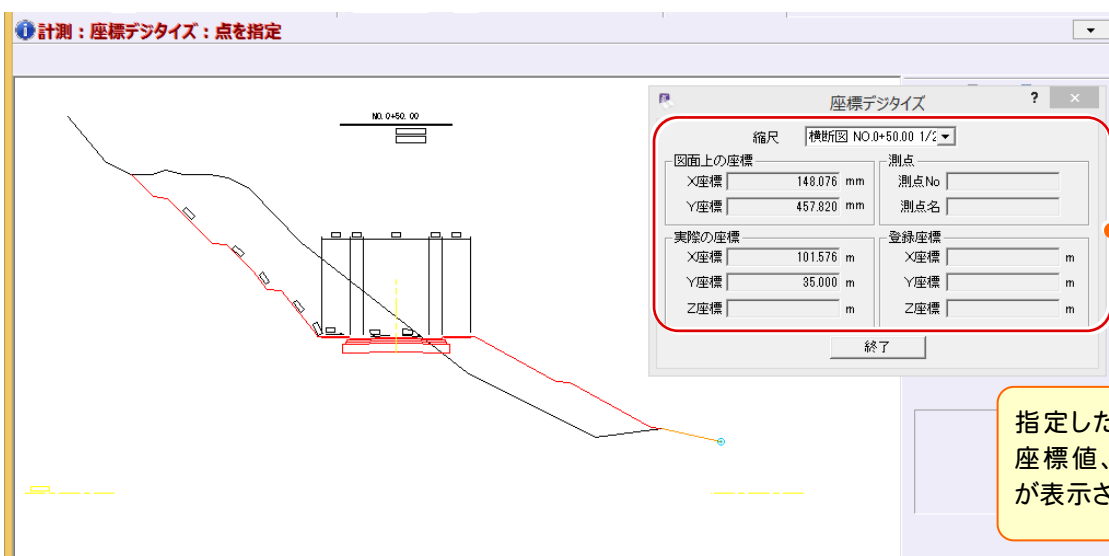
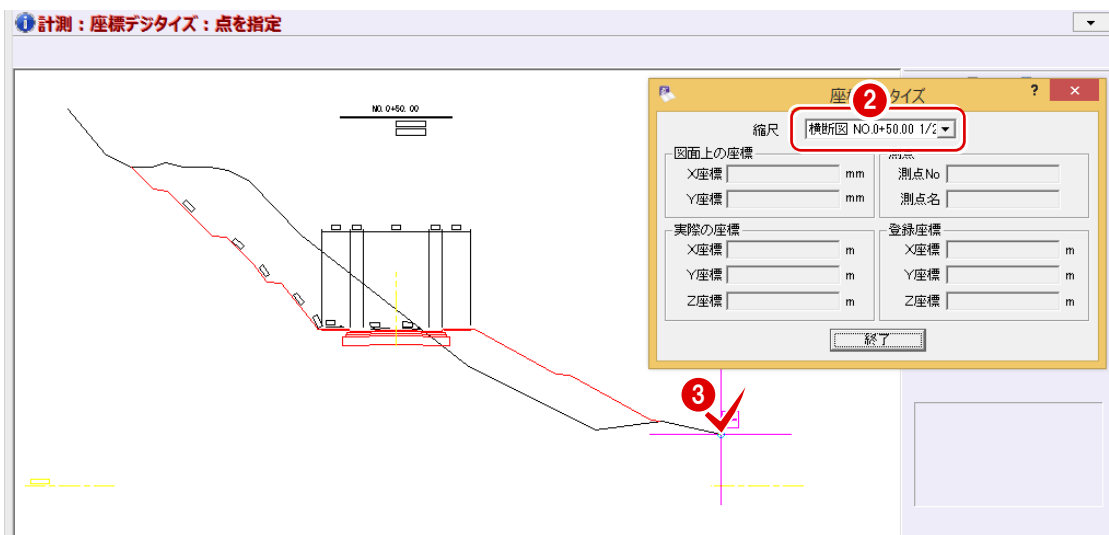
092

座標値を確認する

[ツール:計測:座標デジタイズ]のアイコンで座標値を確認します。



- 1 [ツール:計測:座標デジタイズ]のアイコンをクリックします。(1)
- 2 [縮尺]を設定します。(2)
- 3 座標値を確認する点をクリックします。(3)

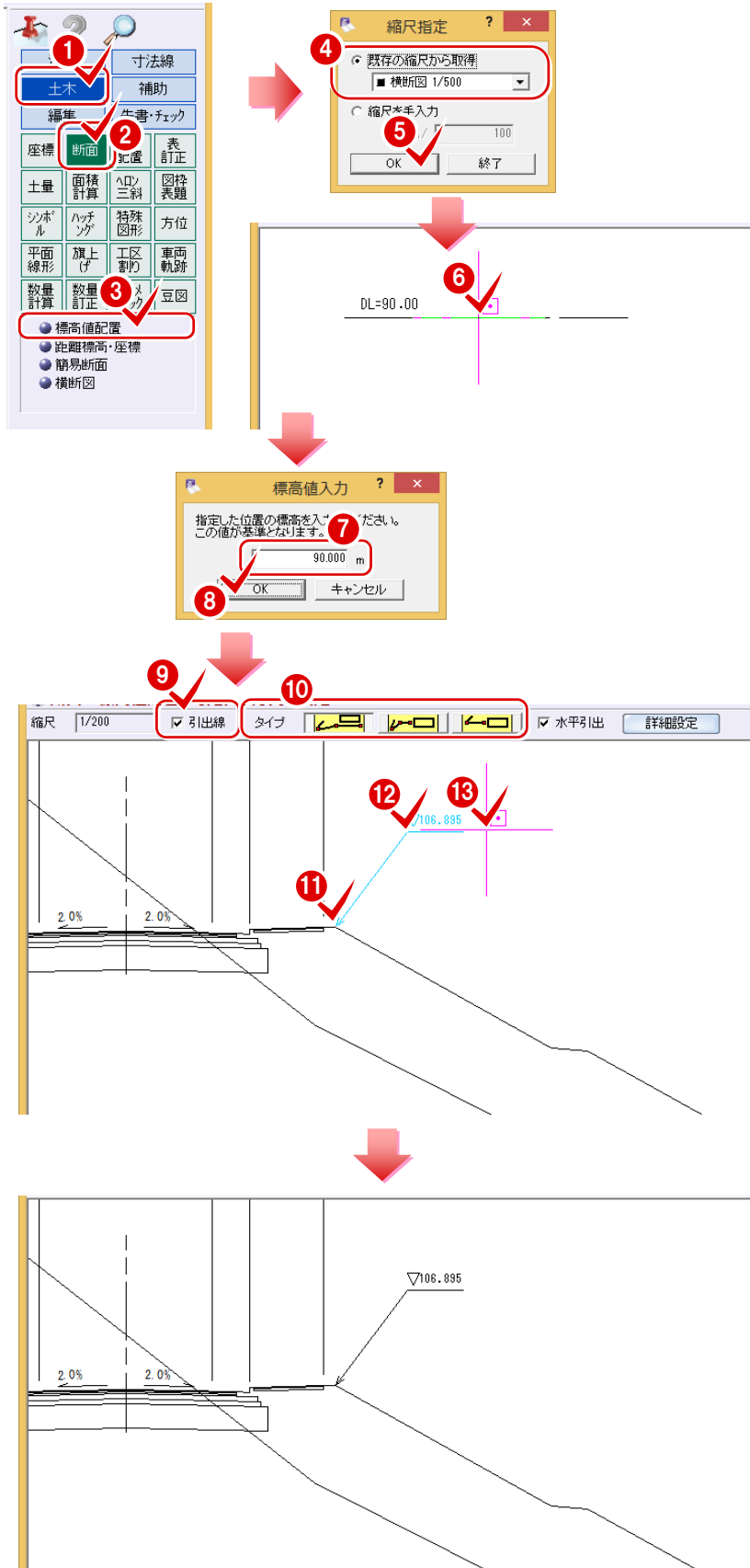


指定した点の図面上の座標値、実際の座標値が表示されます。

093

標高値を配置する

[土木]－[断面]－[標高値配置]で標高値を配置します。



- 1 [土木]－[断面]－[標高値配置]をクリックします。
(① ② ③)
- 2 縮尺を設定して、[OK]をクリックします。(④ ⑤)
- 3 基準となる標高点をクリックします。(⑥)
- 4 指定した位置の標高を入力して、[OK]をクリックします。
(⑦ ⑧)
- 5 [引出線]のチェックをオンにして、タイプを選択します。
(⑨ ⑩)
- 6 標高値を求める点、引き出し線の折れ点、方向をクリックします。
(⑪ ⑫ ⑬)

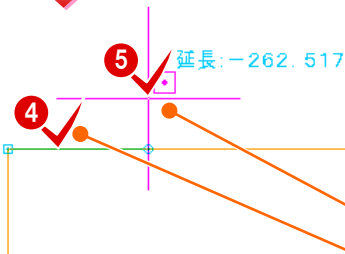
094

入力補助点を入力する

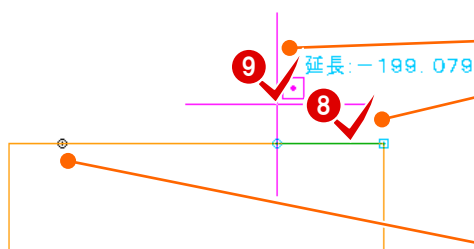
[補助]－[オフセット]－[要素指定]で補助点を入力します。



- 1 [補助]－[オフセット]－[要素指定]をクリックします。(1 2 3)
- 2 四角形の上側の横線、補助点を入力する方向をクリックします。(4 5)
- 3 [延長方向]に「-100」と入力して、[OK]をクリックします。(6 7)
- 4 四角形の上側の横線、補助点を入力する方向をクリックします。(8 9)
- 5 [延長方向]に「-100」と入力して、[OK]をクリックします。(10 11)



左の端点からのオフセット点を入力するので、左の端点に口のマークが表示された状態で、方向を指定します。



右の端点からのオフセット点を入力するので、右の端点に口のマークが表示された状態で、方向を指定します。

左の端点から100mmの位置に補助点が入力されます。



右の端点から100mmの位置に補助点が入力されます。

編集

095	データを移動する	112
096	データを複写する	112
097	データを削除する	113
098	範囲指定でデータをカットする	113
099	データを訂正する	114
100	データを回転する	115
101	座標系を保持したままデータを移動する	116
102	書類(WordやExcelなど)にデータを貼り付ける	117

095

データを移動する

選択したデータをマウスで移動します。

①
サンプル文字列



②
サンプル文字列

サンプル文字列



- 1 移動するデータを指定します。(①)
- 2 データを移動します。(②)

データの真ん中にマウスカーソルを合わせてマウスの左ボタンを押したままマウスを移動して、左ボタンを離します。

096

データを複写する

選択したデータをキーボードの Ctrl キーを押しながらマウスで移動します。

①
サンプル文字列



②
サンプル文字列

サンプル文字列



CTRL



CTRL

- 1 複写するデータを指定します。(①)
- 2 データを複写します。(②)

キーボードのCtrlキーを押しながら複写する位置までマウスの左ボタンを押したまま移動して、左ボタンを離します。

097

データを削除する

選択したデータをDeleteキーで削除します。



- 1 削除するデータを指定します。(1)
- 2 キーボードのDeleteキーを押します。(2)

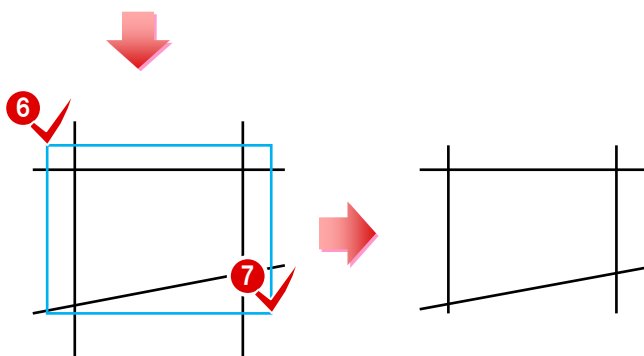
098

範囲指定でデータをカットする

[編集]-[カット]-[範囲指定]で指定範囲外のデータをカットします。



- 1 [編集]-[カット]-[範囲指定]をクリックします。(1 2 3)
- 2 範囲指定方法を選択して、[範囲外削除]をクリックします。(4 5)
- 3 範囲を指定します。(6 7)

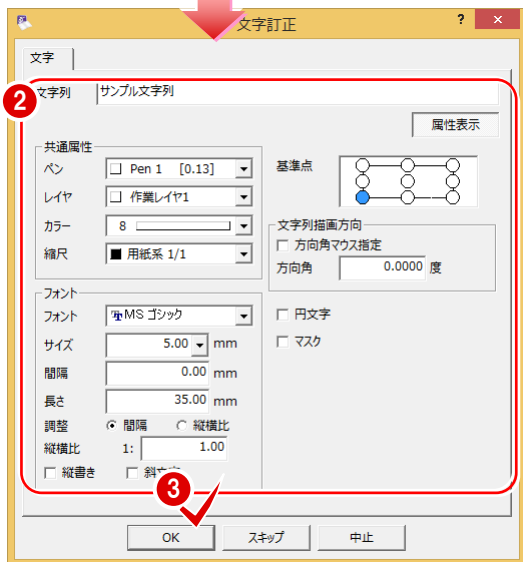


099

データを訂正する

データをダブルクリックして、訂正します。

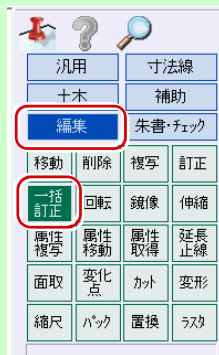
① サンプル文字列



【文字訂正ダイアログ】

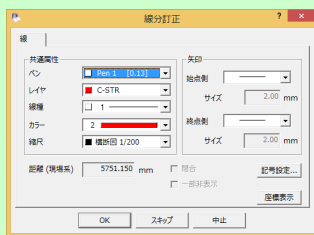
- 1 訂正するデータをダブルクリックします。(①)
- 2 属性を確認・変更して、[OK]をクリックします。(② ③)

補足 複数のデータを同じ値や属性で一括訂正したい場合は

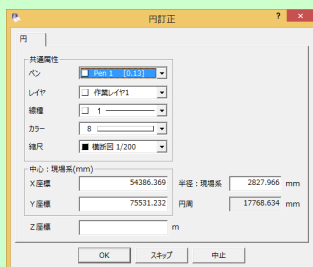


[編集]—[一括訂正]コマンドを使用すると、複数のデータをまとめて同じ値や属性に一括訂正することができます。

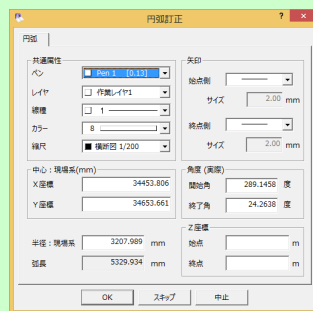
補足 その他の[訂正]ダイアログ例



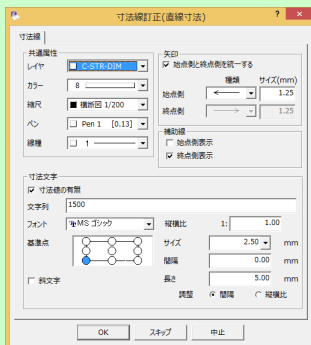
【線分訂正ダイアログ】



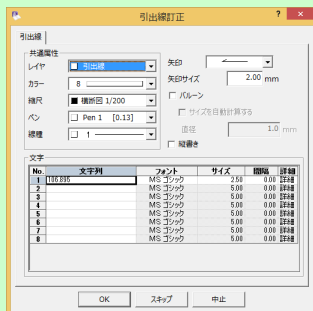
【円訂正ダイアログ】



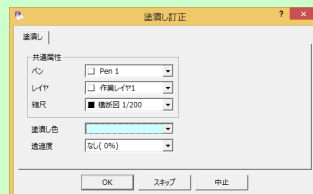
【円弧訂正ダイアログ】



【寸法線訂正ダイアログ】



【引出線訂正ダイアログ】

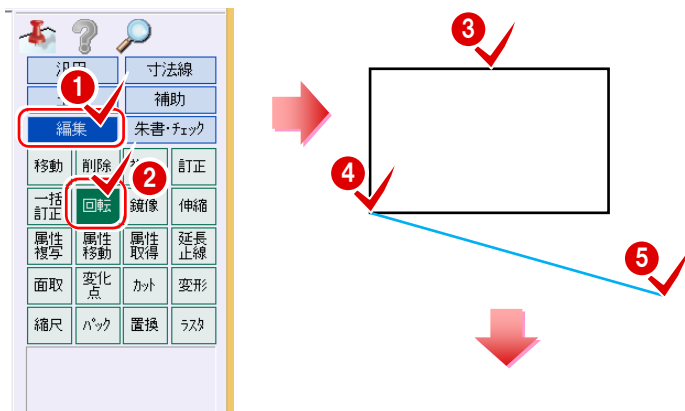


【塗潰し訂正ダイアログ】

100

データを回転する

[編集]—[回転]でデータを回転します。



- 1 [編集]—[回転]をクリックします。(1 2)
- 2 データを選択して、回転の基準点、回転方向をクリックします。(3 4 5)

補足

インプットバーでは

データを選択した後、インプットバーで下記の設定をおこなうことができます。

元データを残す キー入力 詳細設定

元データを残すときはチェックをオンにします。
オフのときは元データは削除されます。

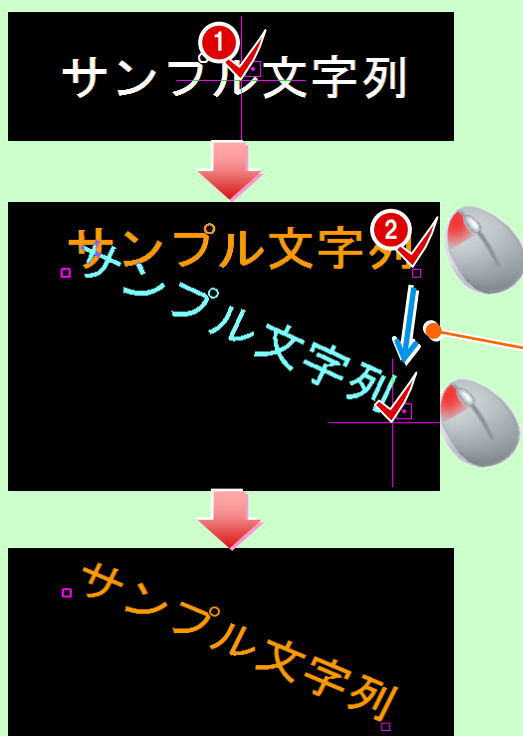
[キー入力]:
回転角、個数を数値入力します。

[詳細設定]:
文字の回転の設定をおこないます。

補足

文字列を回転する

文字列を回転します。



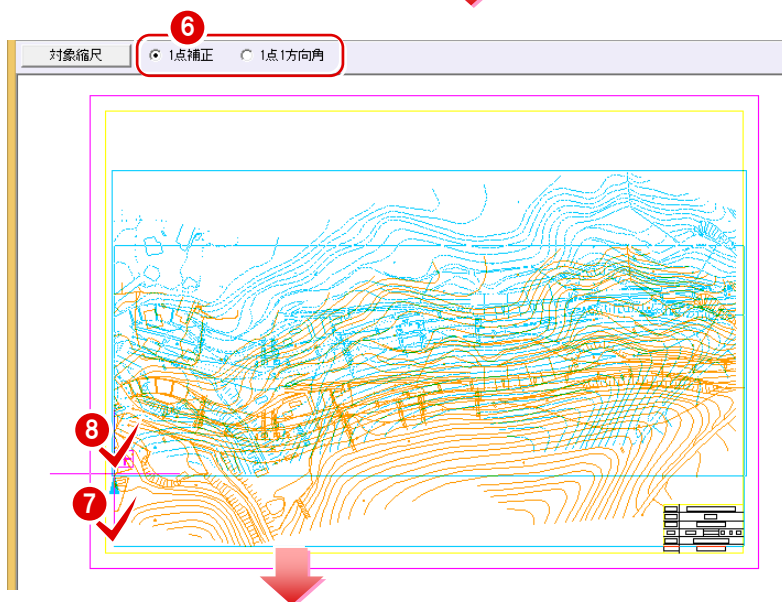
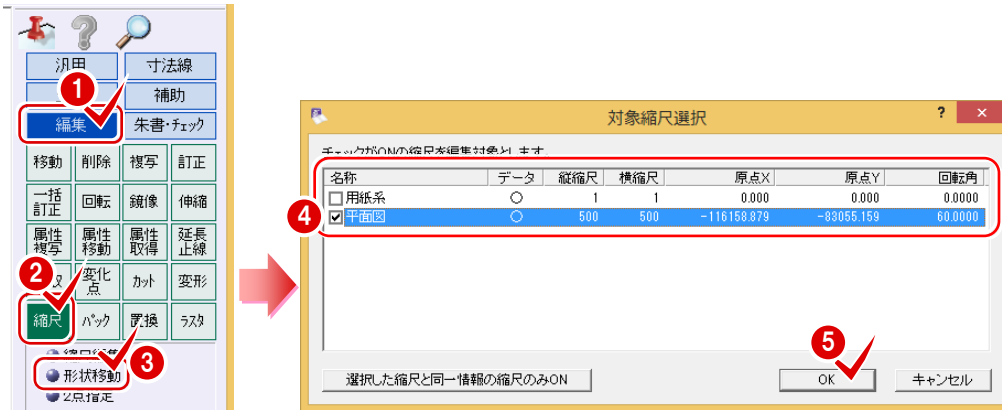
- 1 回転する文字列を指定します。(1)
- 2 文字列を回転します。(2)

文字列の端の口にマウスカーソルを合わせてマウスの左ボタンを押したままマウスを移動して、左ボタンを離します。

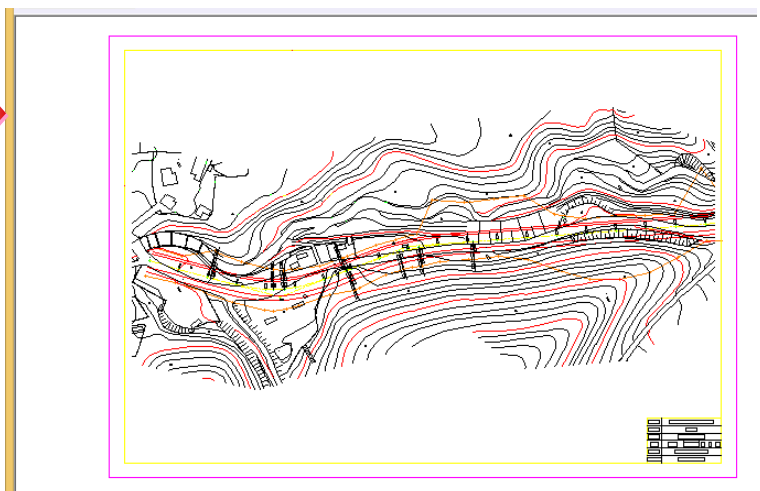
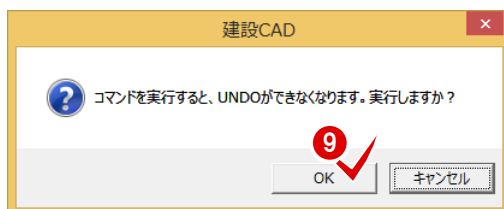
101

座標系を保持したままデータを移動する

[編集]－[縮尺]－[形状移動]で座標系を保持したままデータを移動します。



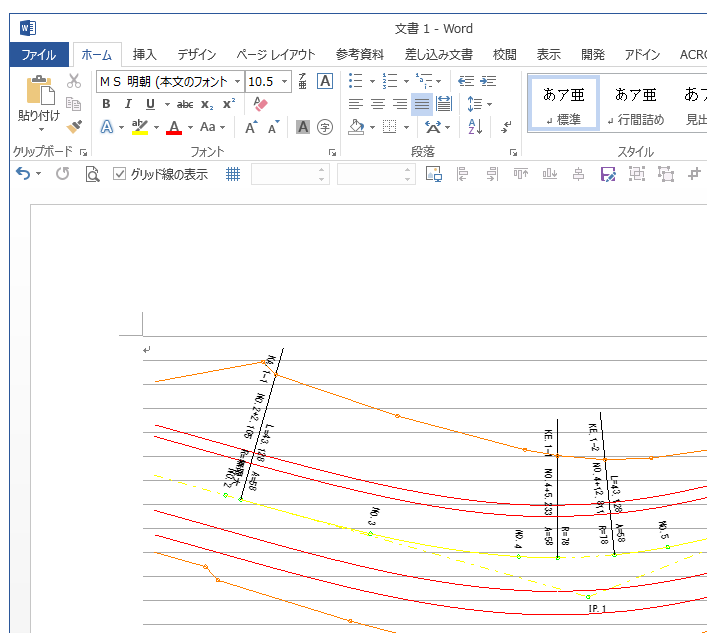
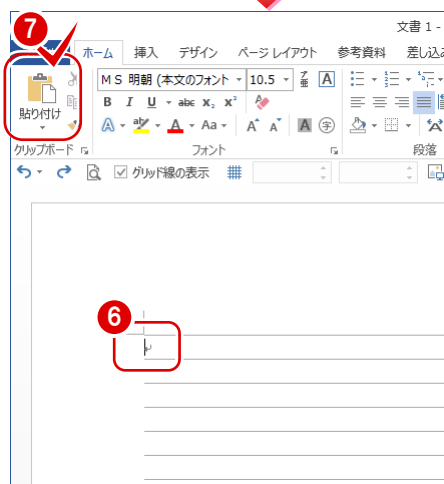
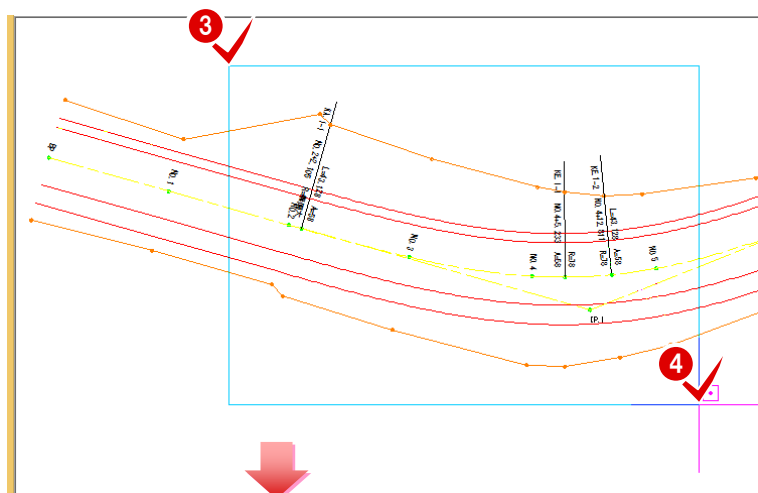
- 1 [編集]－[縮尺]－[形状移動]をクリックします。(1 2 3)
- 2 移動する縮尺のチェックをオンにして、[OK]をクリックします。(4 5)
- 3 縮尺方法を選択して、移動元、移動先を指定します。(6 7 8)
- 4 [OK]をクリックします。(9)



102

書類 (Word や Excel など) にデータを貼り付ける

[編集]-[コピー][範囲指定]]で Word や Excel などにデータを貼り付けます。



- 1 [編集]-[コピー][範囲指定]]をクリックします。(1 2)
- 2 複写する範囲を指定します。(3 4)
- 3 [OK]をクリックします。(5)
- 4 書類データ (WordやExcelなど) の貼り付けたい位置にカーソルがあることを確認して、[貼り付け]をクリックします。(6 7)

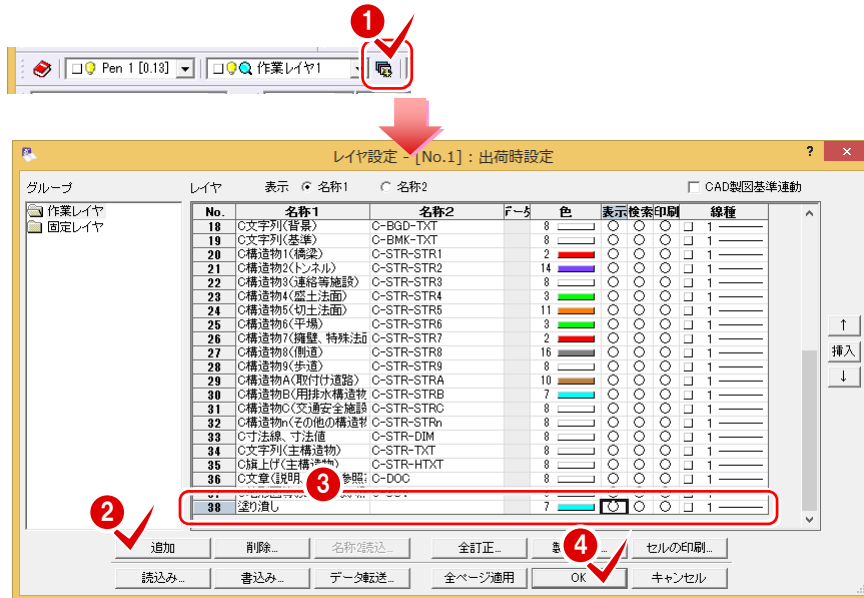
塗り潰し・拡大図

103	工事箇所を色塗りする……………	119
104	拡大図を配置する……………	120

103

工事箇所を色塗りする

[汎用]－[塗り潰]コマンドで、工事箇所を色塗ります。ここでは塗り潰し部分の表示・印刷をする・しないを簡単に変更できるように、塗り潰しを別レイヤに入力します。



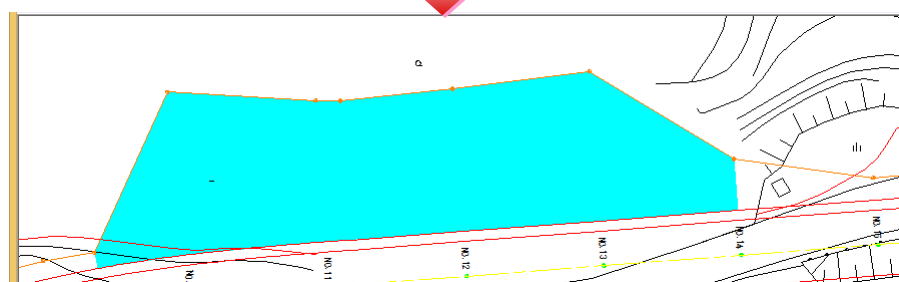
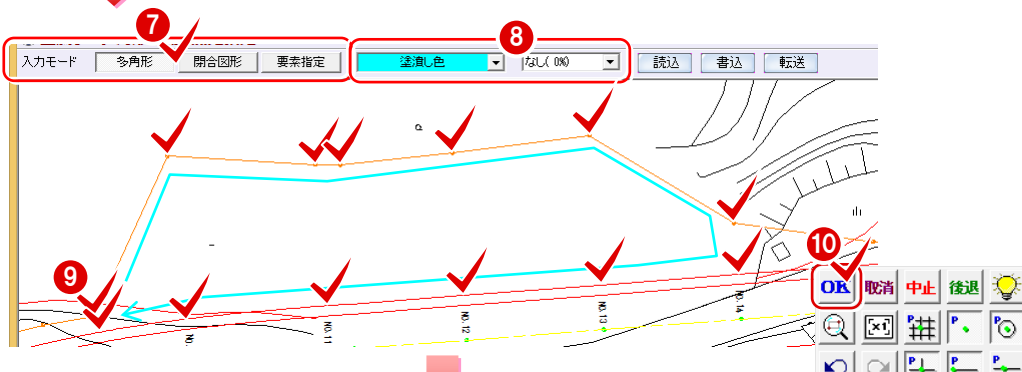
1 [設定:レイヤ設定]のアイコンをクリックします。(1)

2 [追加]をクリックし、[名称1]に「塗り潰し」と入力し、[色]を設定して、[OK]をクリックします。(2 3 4)

3 [汎用]－[塗り潰]をクリックします。(5 6)

4 [多角形]をクリックし、塗り潰す色、透過度を設定して、塗り潰す範囲を指定します。(7 8 9)

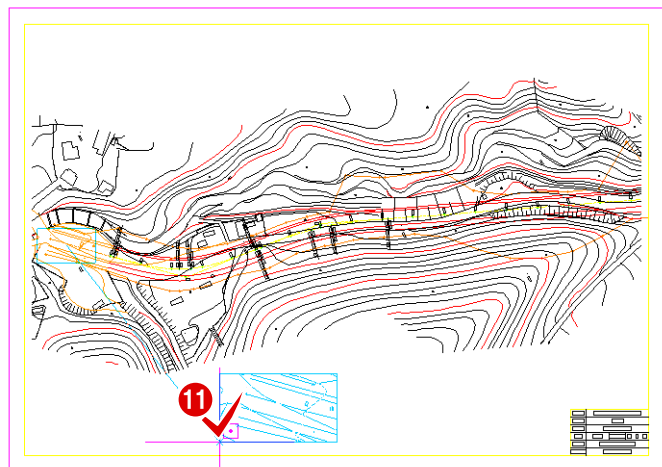
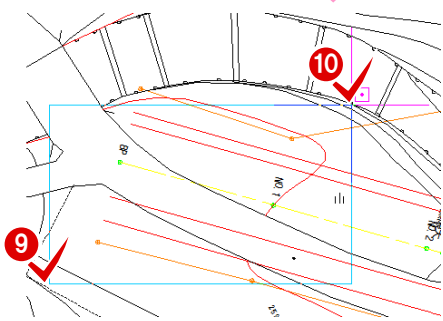
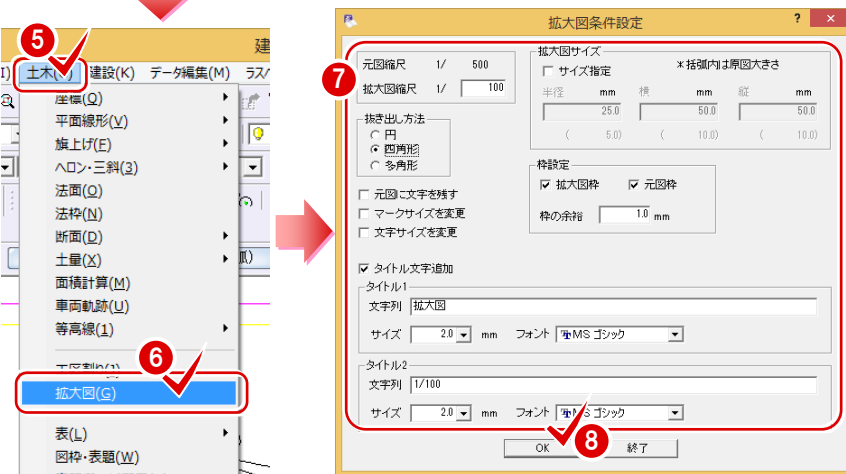
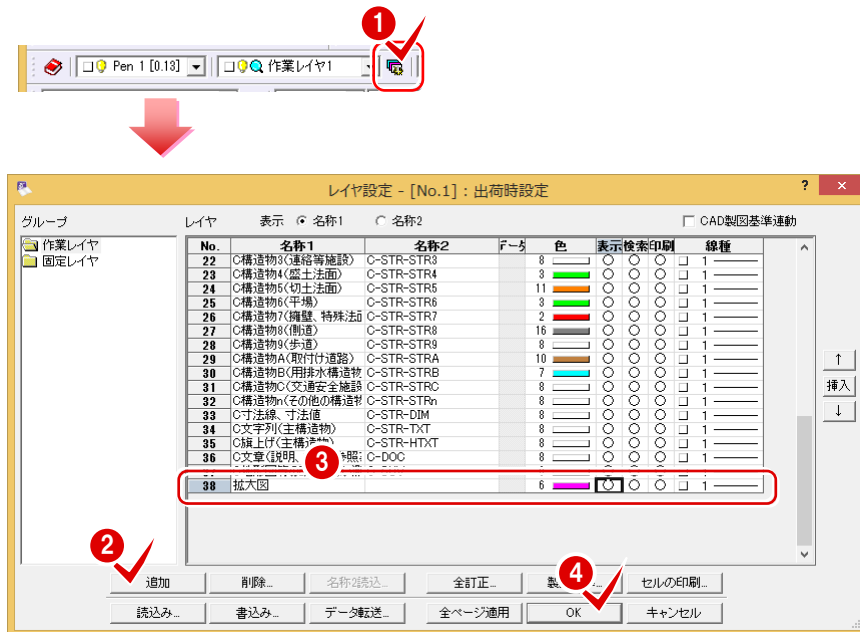
5 範囲の指定を終了したら、右クリックして[OK]をクリックします。(10)



104

拡大図を配置する

[土木]－[拡大図]で拡大図を配置します。



1 [設定:レイヤ設定]のアイコンをクリックします。(1)

2 [追加]をクリックし、[名称1]に「拡大図」、[名称2]に「KAKUDAIZU」と入力し、[色]を設定して、[OK]をクリックします。(2 3 4)

3 [土木]－[拡大図]をクリックします。(5 6)

4 拡大図の条件を設定して、[OK]をクリックします。(7 8)

5 拡大する範囲を指定します。(9 10)

6 拡大図の配置位置をクリックします。(11)

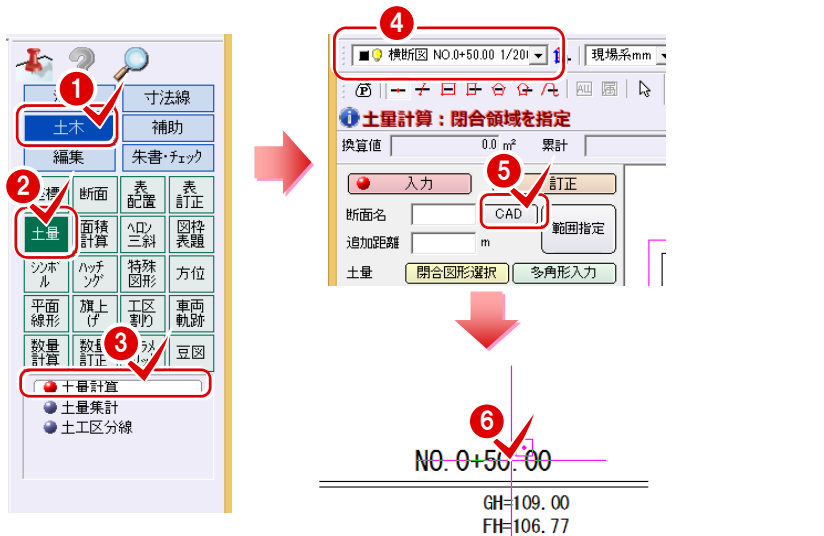
表

105	土量計算表を入力する	122
106	土量計算の帳票を作成する	124
107	数量計算表を入力する	125
108	Excelデータを取り込む	126
109	表を訂正する	128

105

土量計算表を入力する

[土木]-[土量]-[土量計算]で土量計算表を入力します。



1 [土木]-[土量]-[土量計算]をクリックします。
(1 2 3)

2 [縮尺]に横断図の縮尺が表示されていることを確認します。(4)

3 [CAD]をクリックして、図面の断面名をクリックします。
(5 6)

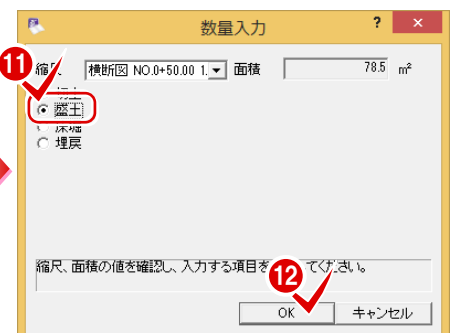
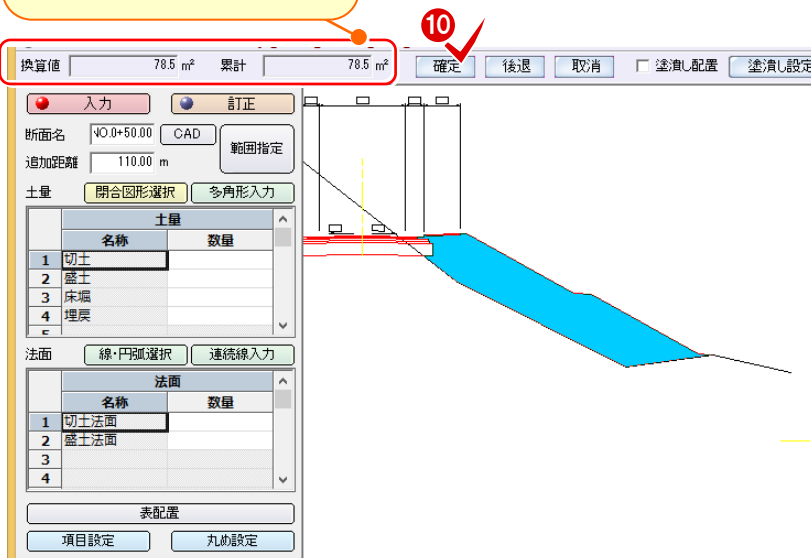
4 [追加距離]を入力し、[閉合図形選択]をクリックして、盛土の領域をクリックします。
(7 8 9)

5 [確定]をクリックします。
(10)

6 [盛土]をクリックして、[OK]をクリックします。(11 12)



[換算値]に指定した領域の面積、[累計]に面積の合計が表示されます。よければ[確定]をクリックします。



換算値 3.2 m² 累計 172.8 m² 確定 後退 取消 塗り配置 塗り設定

断面名 NO.0+50.00 CAD 範囲指定
追加距離 110.00 m
土量 閉合図形選択 多角形入力

土量	
名称	数量
1 切土	78.5
2 盛土	
3 床堀	
4 埋戻	

法面 線・円弧選択 連続線入力

法面	
名称	数量
1 切土法面	
2 盛土法面	
3	
4	

確定 後退 取消 塗り配置 塗り設定

PHI02.00
Phi=06.77

13 14 15

[換算値]に指定した領域の面積、[累計]に面積の合計が表示されます。よければ[確定]をクリックします。

[盛土]に数量が表示されます。

- 7 切土の領域をクリックし、指定を終了したら[確定]をクリックします。(13 14 15)
- 8 [切土]をクリックして、[OK]をクリックします。(16 17)
- 9 [表配置]をクリックして、表の配置位置をクリックします。(18 19)
- 10 表配置が完了したら、右クリックして[中止]をクリックします。(20)

数量入力

断面名 NO.0+50.00 面積 172.8 m²

切土
 床堀
 埋戻

縮尺、面積の値を確認し、入力する項目を指定してください。

OK キャンセル

16 17

断面名 NO.0+50.00 CAD 範囲指定
追加距離 110.00 m
土量 閉合図形選択 多角形入力

土量	
名称	数量
1 切土	172.8
2 盛土	78.5
3 床堀	
4 埋戻	

法面 線・円弧選択 連続線入力

法面	
名称	数量
1 切土法面	
2 盛土法面	
3	
4	

表配置 項目設定 丸め設定

18 19

[切土]に数量が表示されます。

[項目設定]で項目名の変更が可能です。

No.	土量	法面
1	切土	切土法面
2	盛土	盛土法面
3	床堀	
4	埋戻	
5		
6		
7		
8		
9		

OK キャンセル

[丸め設定]で丸めの変更が可能です。

距離の丸め 4捨5入 2桁

土量
断面積の丸め 4捨5入 1桁
土量の丸め 4捨5入 1桁

法面
法長の丸め 4捨5入 1桁
法面積の丸め 4捨5入 1桁

この設定は、土量集計コマンドでも使用されます。

OK キャンセル

OK 取消 中止 後退

移動 複写 訂正 一括削除

20

106

土量計算の帳票を作成する

[土木]-[土量]-[土量集計]で土量計算の帳票を作成します。



- 1 [土木]-[土量]-[土量集計]をクリックします。(1 2 3)
- 2 [項目選択]で集計する項目を選択し、日付、書式を設定します。(4)
- 3 [集計対象]をクリックし、対象断面を確認して、[OK]をクリックします。(5 6 7)

[項目選択]のボタンで集計する項目を選択します。入力例では[面積:切土]と[面積:盛土]が選択されていることを確認します。

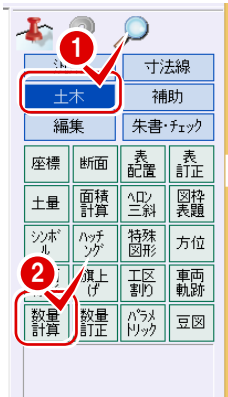
土量計算書が表示されます。印刷するときは[印刷]、Excel形式で出力するときは[EXCEL]を選択してください。

新工事		切土		盛土		除 26年 12月 17日	
断面名	幅員	物置量	手物物置量	土量	物置量	手物物置量	土量
NO.0+50.00	0.00	110.0			110.0		
合 計							

107

数量計算表を入力する

[土木]—[数量計算]で数量計算表を入力します。



1 [土木]—[数量計算]をクリックします。(1 2)

2 部品を選択して、[OK]をクリックします。(3 4 5)

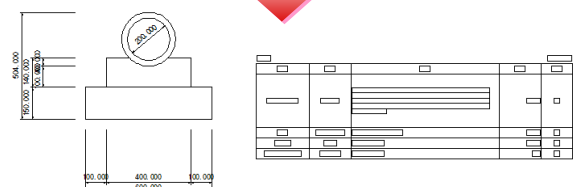
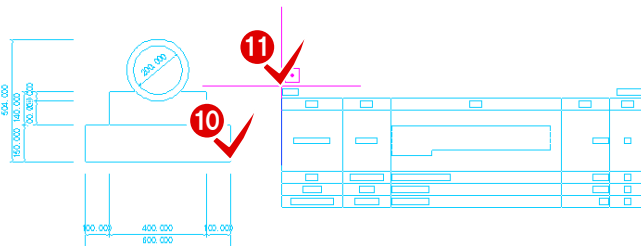
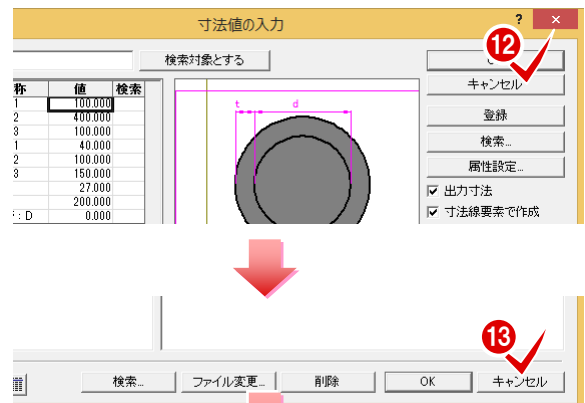
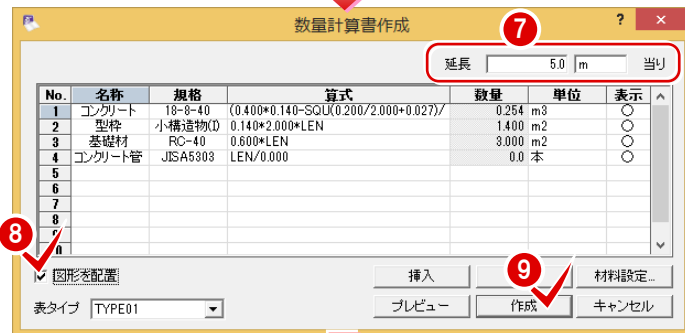
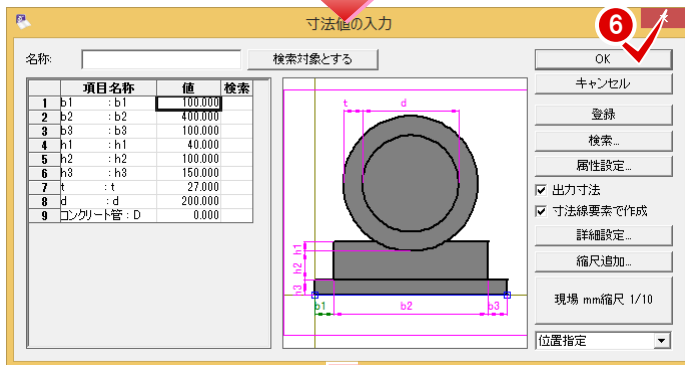
3 [OK]をクリックします。(6)

4 延長距離を入力して[図形を配置]のチェックをオンにし、[作成]をクリックします。(7 8 9)

5 部品、数量計算表の配置位置をクリックします。(10 11)

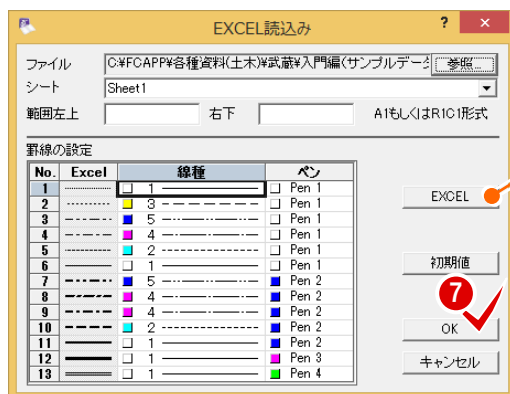
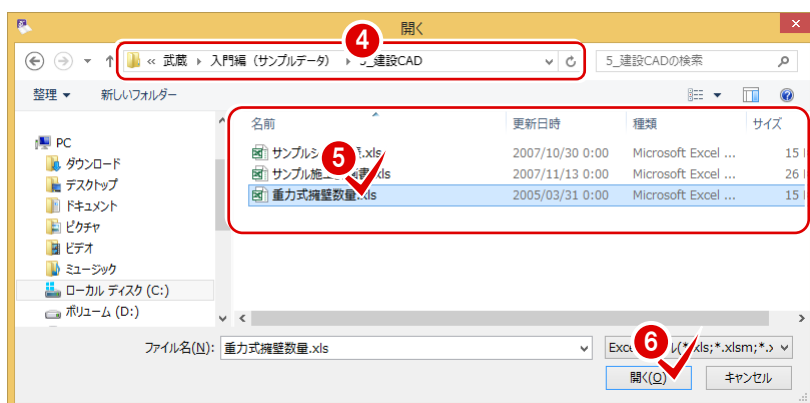
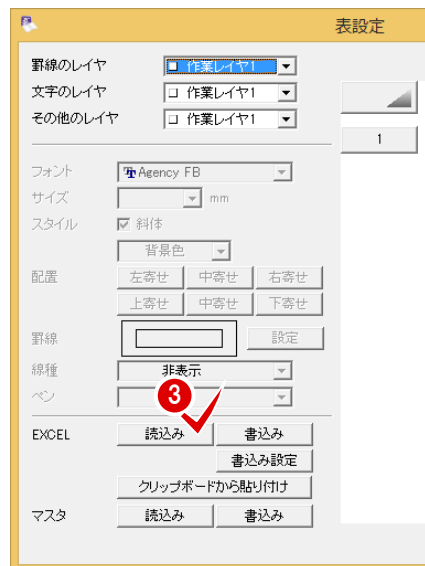
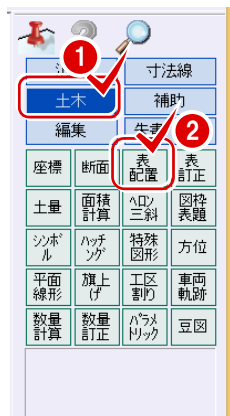
6 [キャンセル]をクリックします。(12)

7 [キャンセル]をクリックします。(13)



Excelデータを取り込む

[土木]–[表配置]でExcelデータを取り込みます。



選択したEXCELファイルを直接開いて確認することができます。

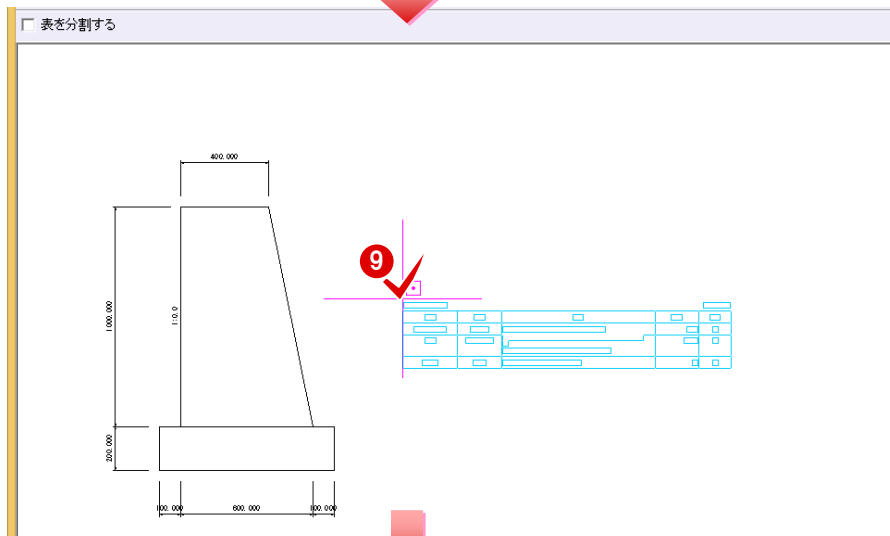
- 1 [土木]–[表配置]をクリックします。(1 2)
- 2 [EXCEL]の[読み込み]をクリックします。(3)
- 3 EXCELファイルが格納されているフォルダー、ファイルを選択して、[開く]をクリックします。(4 5 6)
- 4 読み込むシートなど各種設定を確認して、[OK]をクリックします。(7)



5 [OK]をクリックします。
(8)

6 表の配置位置をクリック
します。(9)

7 [終了]をクリックします。
(10)

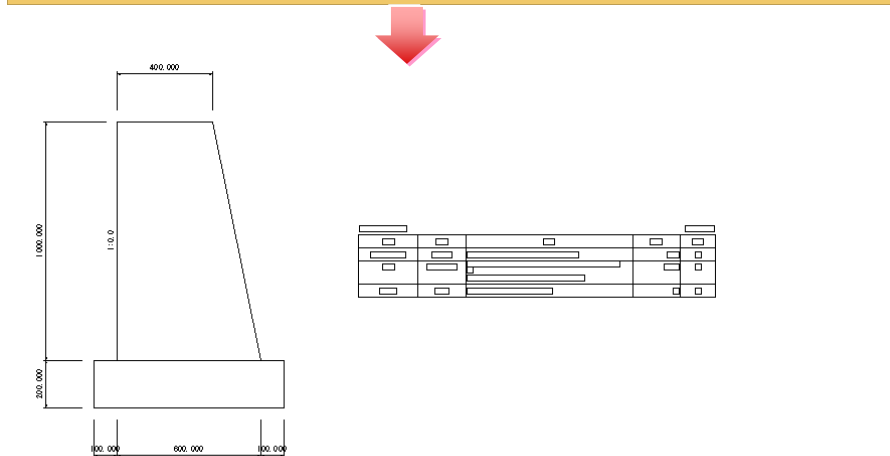


この位置でマウスをドラッグして、ダイアログを広げることができます。



読み込まれたEXCELの内容に準じた表がCADデータとして配置され、連続して表を配置できるように、再度[表設定]ダイアログへ戻ります。

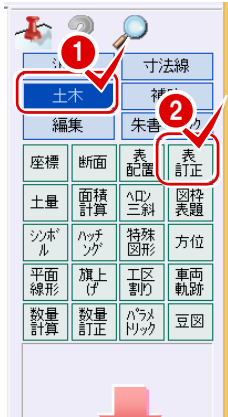
入力例では、表配置処理を終了するので、[終了]をクリックします。



109

表を訂正する

[土木] - [表訂正] で表を訂正します。



- 1 [土木] - [表訂正] をクリックします。(1 2)
- 2 訂正する表をクリックします。(3)
- 3 表の内容を訂正して、[OK] をクリックします。(4 5)

表を分割する 表題を繰り返す 表形状最適化

重力的擁壁(盛土)		10.0 m幅り		
名称	規格	算式	数量	単位
コンクリート	18-8-40	$((0.400 + 1.400) / 2.000 \times 2.500) \times 10.000$	22.5	m ³
型枠	無筋構造物	$(\sqrt{(1.000 + 0.200^2)} \times 2.500 + \sqrt{(1.000 + ((1.400 - 0.400 - 2.500 \times 0.200) / 2.500)^2}) \times 2.500) \times 10.000$	50.99	m ²
基礎材	RC-40	$(1.400 + 0.100 \times 2.000) \times 10.000$	16	m ²

表設定

6行 × 5列 行列数変更

	A	B	C	D	E
1	重力的擁壁(盛土)				10.0 m幅り
2	名称	規格	算式	数量	単位
3	コンクリート	18-8-40	$((0.400 + 1.400) / 2.000 \times 2.500) \times 10.000$	22.5	m ³
4	型枠	無筋構造物	$(\sqrt{(1.000 + 0.200^2)} \times 2.500 + \sqrt{(1.000 + ((1.400 - 0.400 - 2.500 \times 0.200) / 2.500)^2}) \times 2.500) \times 10.000$	50.99	m ²
5	基礎材	RC-40	$(1.400 + 0.100 \times 2.000) \times 10.000$	16	m ²
6					

訂正内容は、UNDOの対象になりません。

OK 再配置 キャンセル

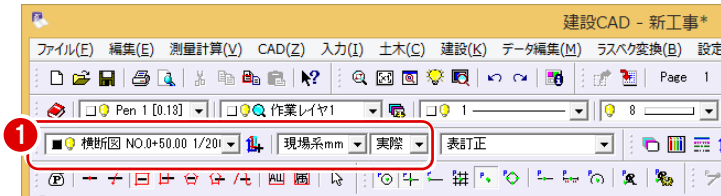
計測

110	2点間を計測する.....	130
111	面積を計測する.....	131

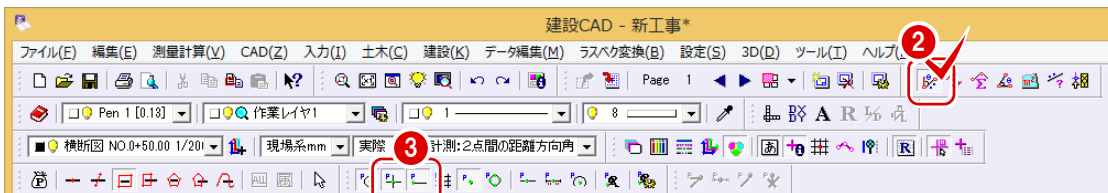
110

2点間を計測する

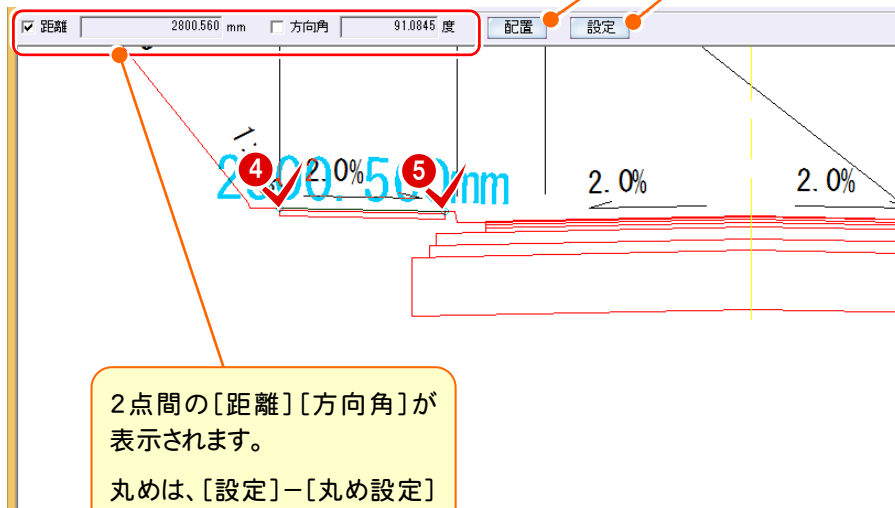
[ツール:計測:2点間の距離方向角]のアイコンで2点間を計測します。



- 1 縮尺、単位を設定します。(1)
- 2 [ツール:計測:2点間の距離方向角]のアイコンをクリックします。(2)
- 3 ピックモードを確認して、2点をクリックします。(3 4 5)



[配置] ボタンをクリックすると、計測文字列を配置できます。文字属性や単位表示は、[設定] ボタンで設定できます。



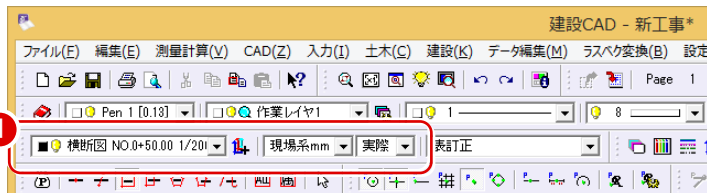
2点間の[距離][方向角]が表示されます。

丸めは、[設定]-[丸め設定]で設定します。

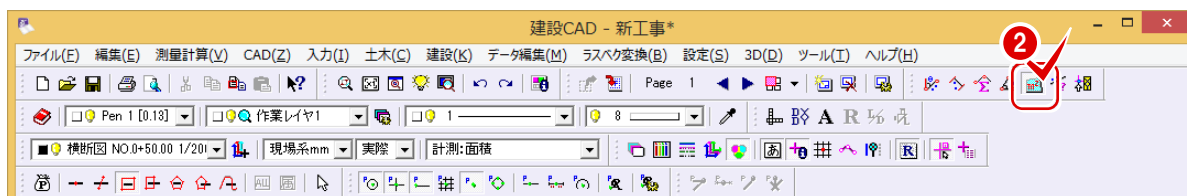
111

面積を計測する

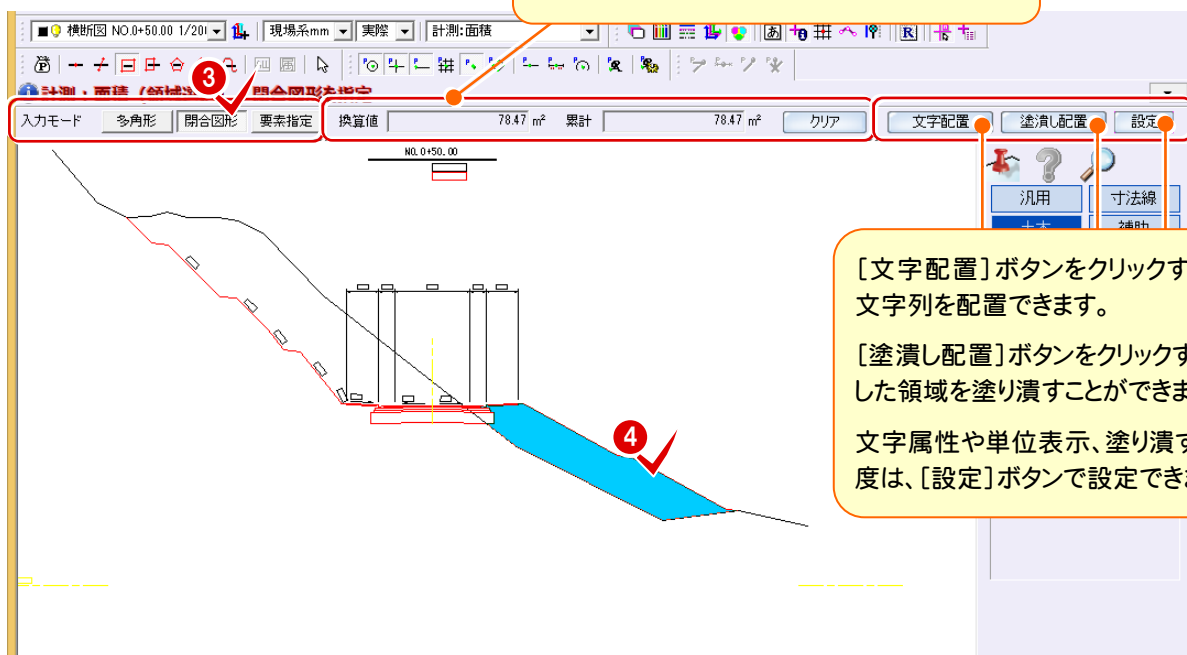
[ツール:計測:面積]のアイコンで面積を計測します。



- 1 縮尺、単位を設定します。(1)
- 2 [ツール:計測:面積]のアイコンをクリックします。(2)
- 3 インputバーで領域の指定方法を選択して、面積を計測する領域を指定します。(3 4)



指定した領域の面積が表示されます。[累計]には面積の累計が表示されます。面積の累計は[クリア]ボタンでクリアします。丸めは[設定] - [丸め設定]で設定します。



[文字配置]ボタンをクリックすると、計測文字列を配置できます。
 [塗り潰し配置]ボタンをクリックすると、指定した領域を塗り潰すことができます。
 文字属性や単位表示、塗り潰す色や透過度は、[設定]ボタンで設定できます。

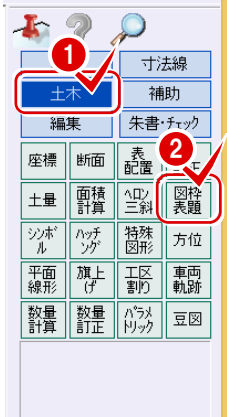
図枠・表題欄

112	図枠・表題欄を配置する	133
113	複数ページに図枠表題を一括配置する	134
114	表題欄テンプレートを取り込む	135

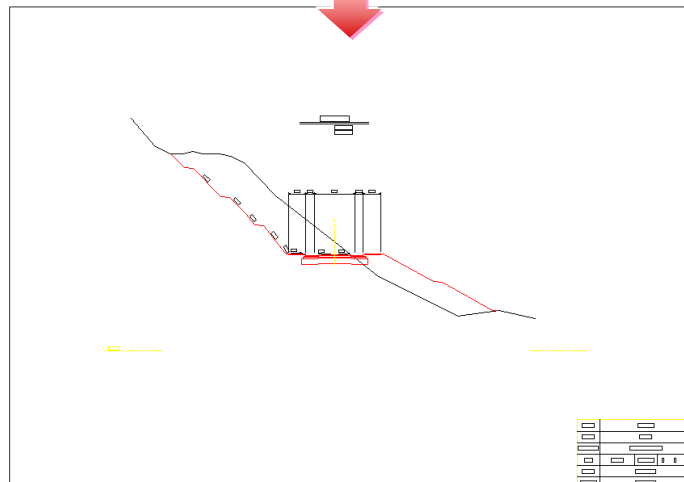
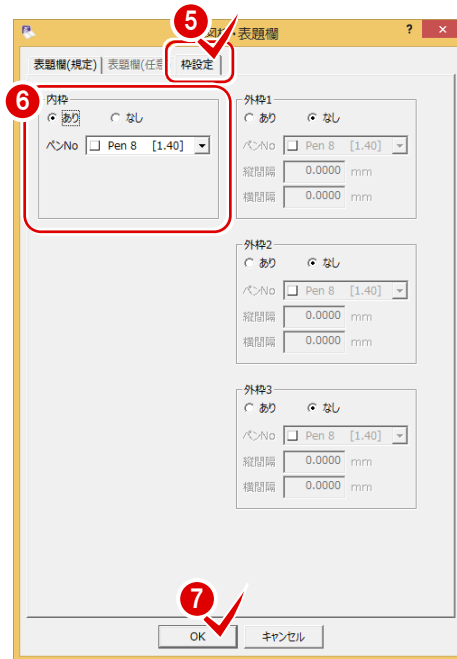
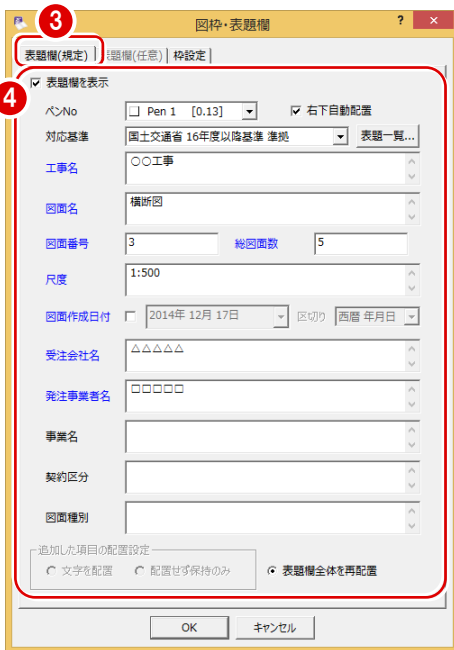
112

図枠・表題欄を配置する

[土木]－[図枠表題]で図枠・表題欄を配置します。



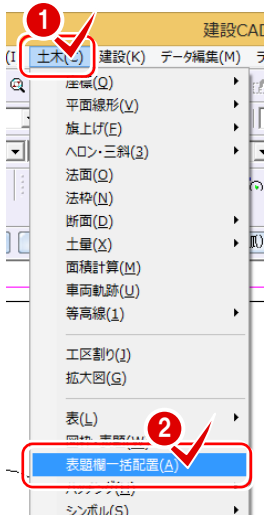
- 1 [土木]－[図枠表題]をクリックします。(1 2)
- 2 [表題欄を表示][右下自動配置]のチェックがオンであることを確認して、各項目を設定します。(3 4)
- 3 [枠設定]をクリックし、[内枠]が「あり」を確認して、[OK]をクリックします。(5 6 7)



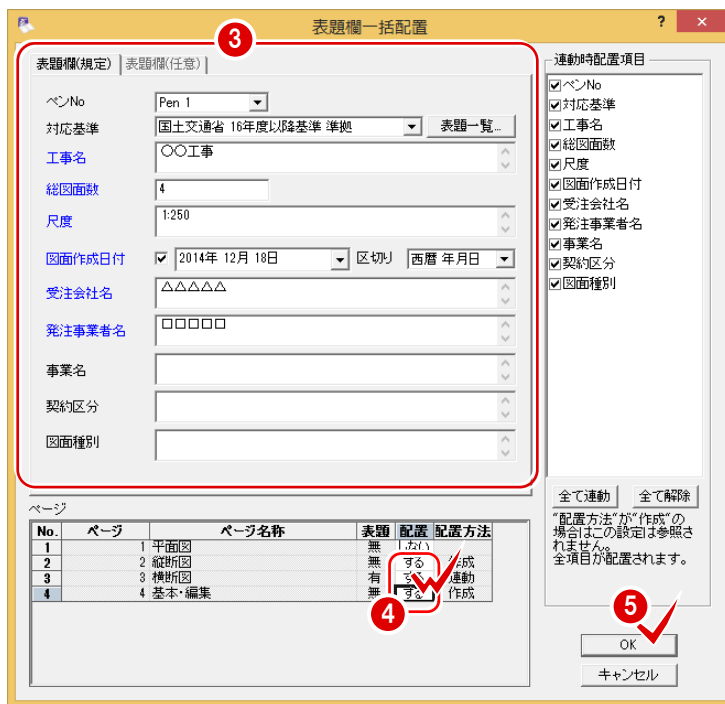
113

複数ページに図枠表題を一括配置する

[土木]－[表題欄一括配置]で複数ページに図枠表題を一括配置します。

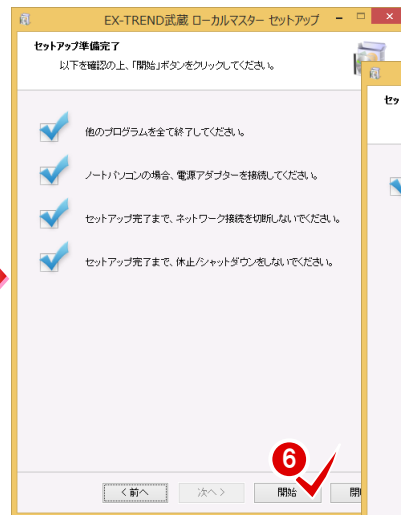
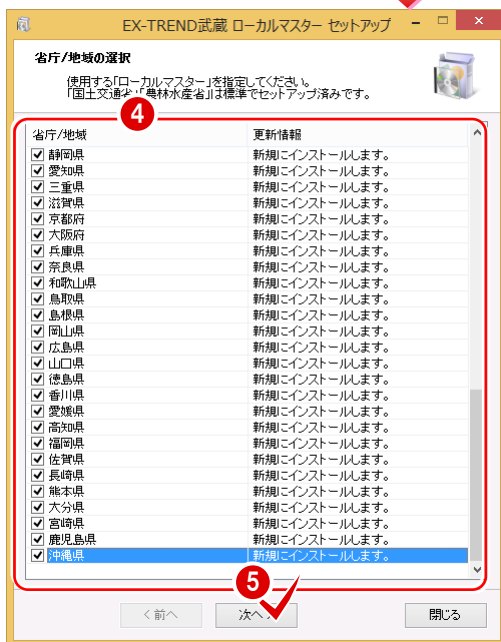
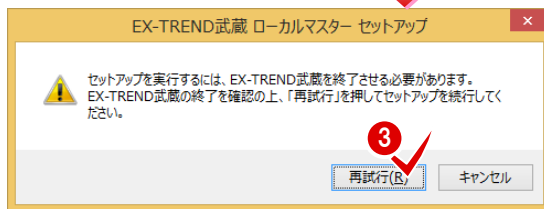
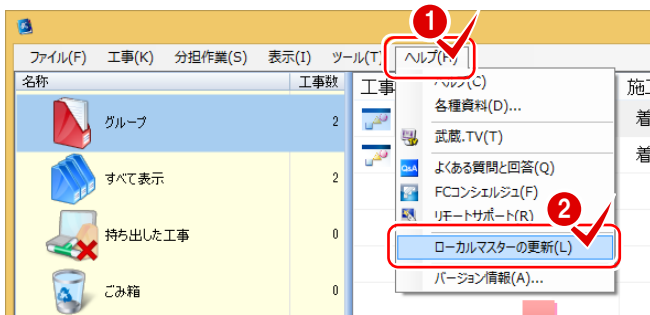


- 1 [土木]－[表題欄一括配置]をクリックします。(1 2)
- 2 表題欄の項目の内容を入力します。(3)
- 3 表題欄を配置するページの[配置]セルをダブルクリックして[する]にします。(4)
- 4 [OK]をクリックします。(5)



114 表題欄テンプレートを取り込む

各省庁/地域のローカルマスターは、インデックスの[ヘルプ]–[ローカルマスターの更新]で、新規インストール・更新インストール、またはアンインストールします。
インターネットに接続して、弊社のサーバーから最新のローカルマスターに更新します。



- 1 [ヘルプ]–[ローカルマスターの更新]をクリックします。(1 2)
- 2 インデックスを含む武蔵シリーズのアプリケーションをすべて終了させてから、[再試行]をクリックします。(3)
- 3 使用するローカルマスターのチェックをオンにして、[次へ]をクリックします。(4 5)
- 4 [開始]をクリックします。(6)
- 5 [閉じる]をクリックします。(7)

補足

取り込んだ表題欄テンプレートは、[図枠・表題欄]ダイアログの[表題一覧]ボタンをクリックして表示される[表題一覧]ダイアログの[その他]で確認できます。([図枠・表題欄]ダイアログの[対応基準]にもリストとして追加されています。)

また、下記のローカルマスターもインストールされます。

- 豆図
- 工事テンプレート、層マスタ
- 各種帳票フォーム
- 施工計画書雑形マスタ
- 管理項目設定ファイル
- 施工計画書品質管理基準マスタ
- CAD製図基準テンプレート
- CDラベル/媒体書/納品チェック設定

工区割り

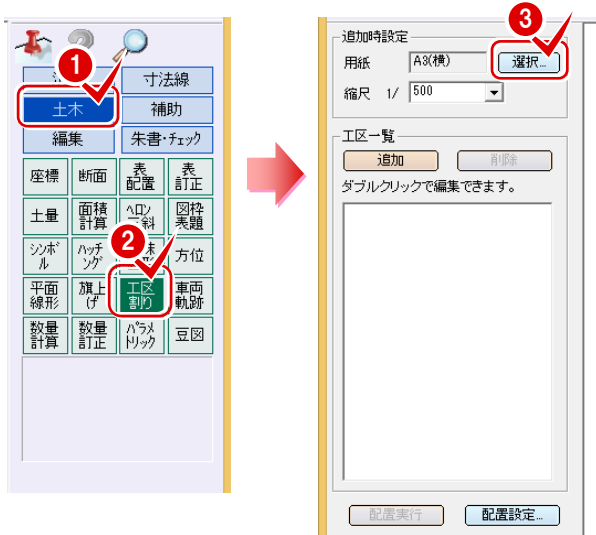
115

工区割りする 137

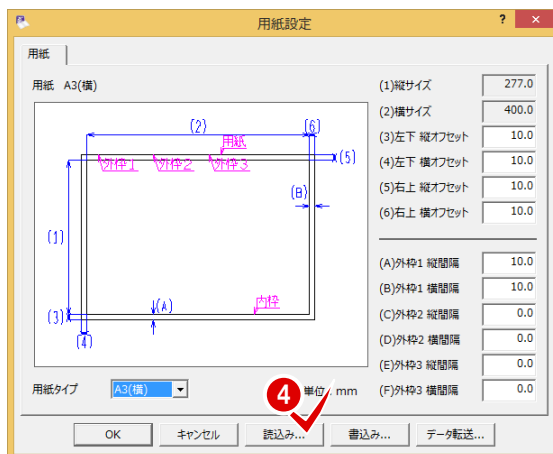
115



工区割りする

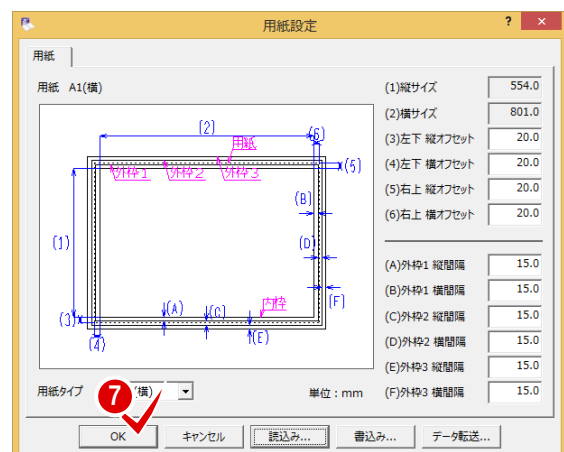
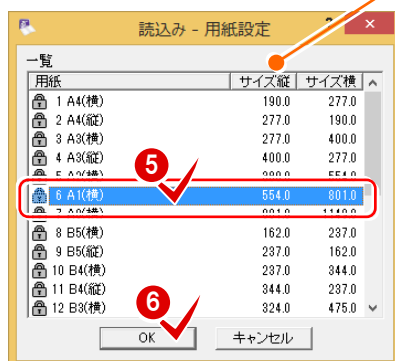
[土木]－[工区割り]で工区割りをおこないます。



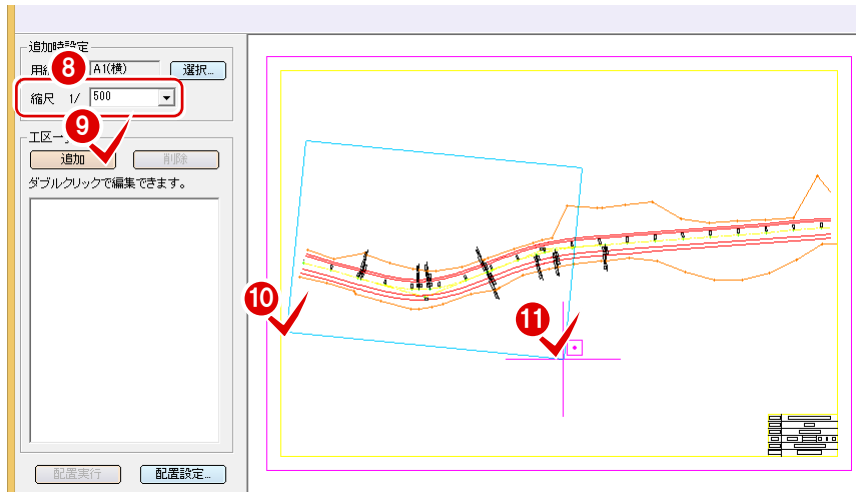
- 1 [土木]－[工区割り]をクリックします。(1 2)
- 2 [選択]をクリックします。(3)
- 3 [読み込み]をクリックします。(4)
- 4 入力例では「A1(横)」を選択して、[OK]をクリックします。(5 6)
- 5 [OK]をクリックします。(7)



読み込む設定ファイルには2種類あります。
No1に  が付いた設定ファイルはインストールで組み込まれる設定ファイルです。ファイルそのものを更新することはできません。
No1に  が付いていないファイルは[書き込み]から書き込んだものです。ファイルそのものを更新することが可能です。



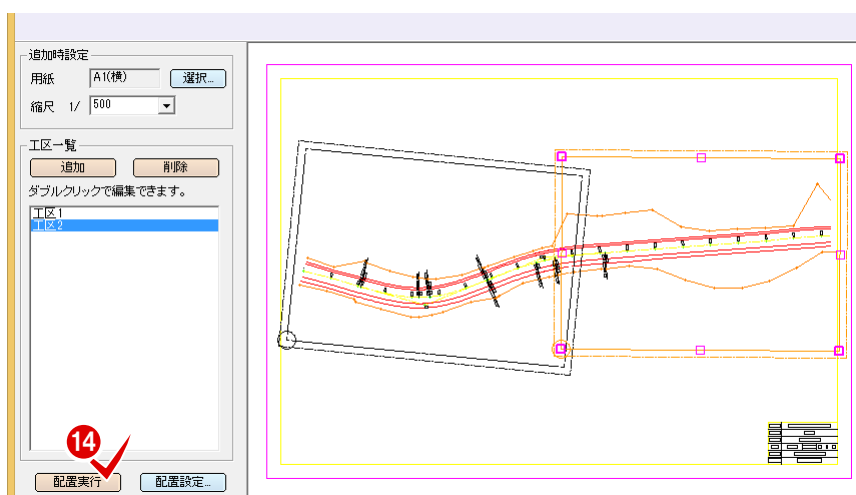
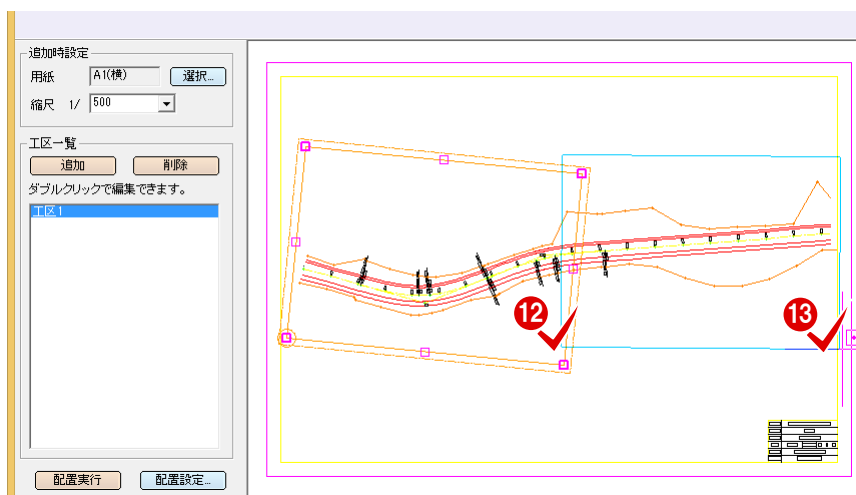
◆ 工区割り ◆

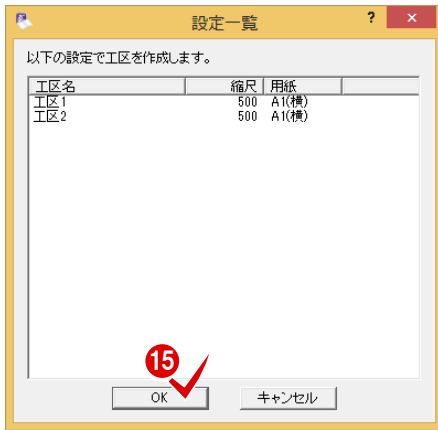


5 [縮尺]を「1/500」に設定し、
[追加]をクリックして、1つ目
の工区の配置位置をクリック
します。(8 9 10 11)

6 同様に2つ目の工区を指定
します。(12 13)

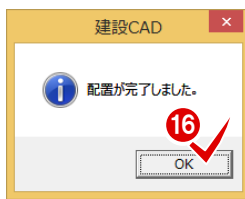
7 [配置実行]をクリックしま
す。(14)





8 [OK]をクリックします。(15)

9 [OK]をクリックします。(16)



2ページに1つ目の工区、3ページに2つ目の工区が作成されます。

画面左下のページのタブをクリックして、作成された工区を確認してください。

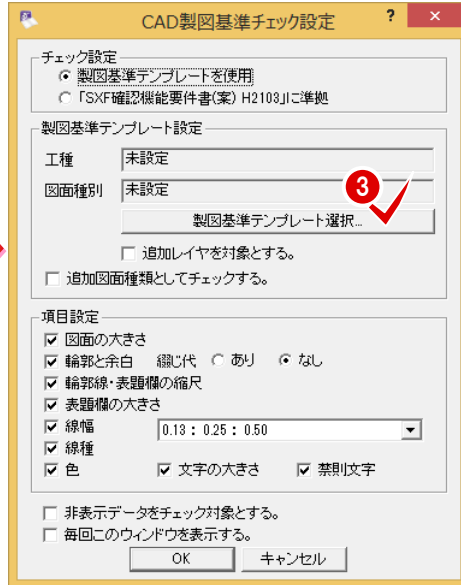
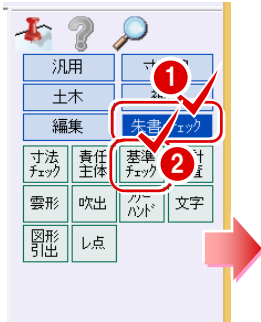
朱書き・チェック

116	CAD製図基準チェックをする……………	141
117	寸法をチェックする……………	143
118	責任主体を変更する……………	144
119	図面に対して直接朱書きする……………	145

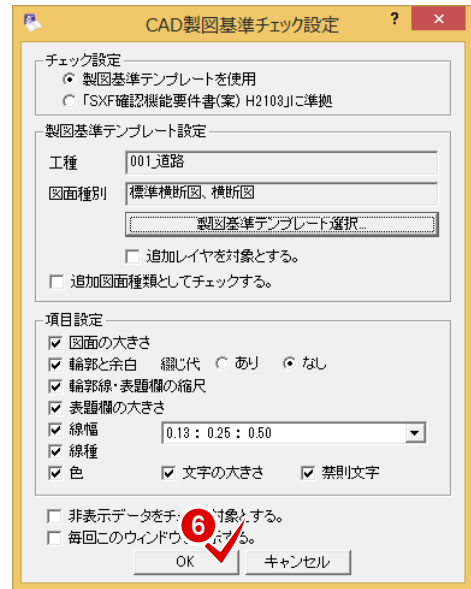
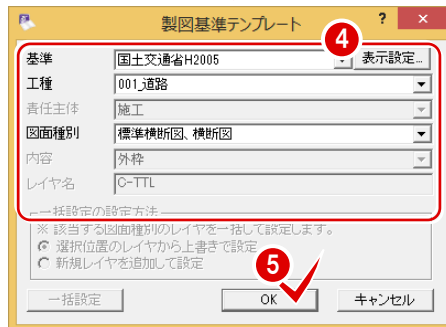
116

CAD製図基準チェックをする

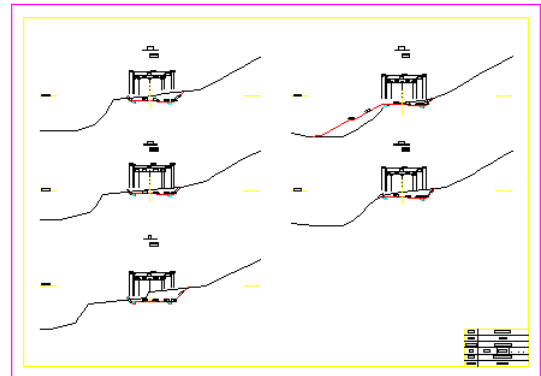
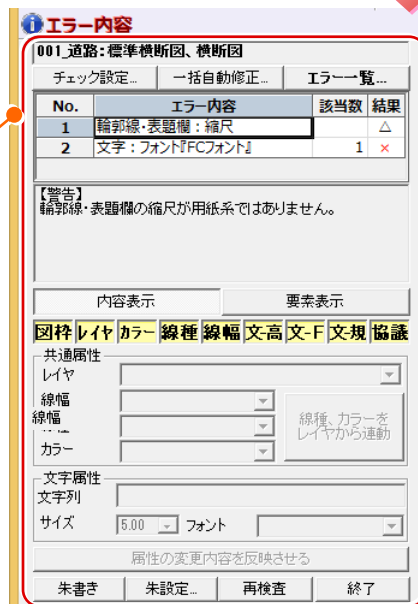
[朱書・チェック]－[基準チェック]でCAD製図基準チェックをおこないます。



- 1 [朱書・チェック]－[基準チェック]をクリックします。(1 2)
- 2 [製図基準テンプレート選択]をクリックします。(3)
- 3 製図基準を設定して[OK]をクリックします。(4 5)
- 4 [OK]をクリックします。(6)



CAD製図基準に準拠されていない個所が発見された場合に、チェック結果が表示されます。
[一括自動修正]で、文字フォントなどのエラー個所を一括して自動修正します。
ここでデータごとに確認しながら不具合個所を修正することもできます。(次ページ補足参照)



補足

エラー箇所を個別訂正する

ここでは、禁則文字の修正を個別でおこなう方法を解説します。

001_道路:標準横断面、横断面

チェック設定... 一括自動修正... エラー一覧...

No.	エラー内容	該当数	結果
1	文字: フォント『FCフォント』	1	×

フォントが『FCフォント』です。特定機種固有のフォントは使用できません。

内容表示 要素表示

図枠 レイヤ カラー 線種 線幅 文高 文-F 文規 協議

共通属性

レイヤ

線幅

線種

カラー

文字属性

文字列

サイズ 5.00 フォント A FCフォント

属性の変更内容を反映させる

朱書き 朱設定... 再検査 終了

1 [要素表示]をクリックします。(1)

2 修正する要素をクリックし、訂正必要項目の内容(赤色で表示)を修正して、[属性の変更内容を反映させる]をクリックします。(2 3 4)

001_道路:標準横断面、横断面

チェック設定... 一括自動修正... エラー一覧...

No.	要素	○	○	-	-	○	×	○
1	要素							

A フォントが『FCフォント』です。特定機種固有のフォントは使

内容表示 要素表示

図枠 レイヤ カラー 線種 線幅 文高 文-F 文規 協議

共通属性

レイヤ

線幅

線種

カラー

文字属性

文字列 株式会社△△設計

サイズ 3.50 フォント MSゴシック

属性の変更内容を反映させる

朱書き 朱設定... 再検査 終了

対象要素が拡大され、選択色で表示されます。

工事名	〇〇〇〇工事
図面名	横断面
作成年月日	平成26年5月23日
縮尺	1:200
図面番号	5 / 10
会社名	株式会社△△設計
事業者名	〇〇〇〇〇

修正必要項目が赤色で表示されます。

001_道路:標準横断面、横断面

チェック設定... 一括自動修正... エラー一覧...

No.	種類	レイヤ	か	線種	線幅	文高	文-F	文規
1								

内容表示 要素表示

図枠 レイヤ カラー 線種 線幅 文高 文-F 文規 協議

共通属性

レイヤ

線幅

線種

カラー

文字属性

文字列

サイズ 3.50 フォント

属性の変更内容を反映させる

朱書き 未設定 再検査 終了

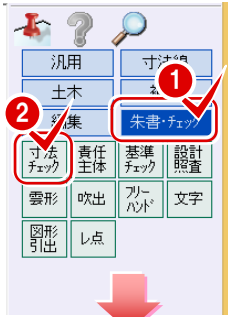
チェック結果のセルから修正した要素が削除されます。

工事名	〇〇〇〇工事
図面名	横断面
作成年月日	平成26年5月23日
縮尺	1:200
図面番号	5 / 10
会社名	株式会社△△設計
事業者名	〇〇〇〇〇

117

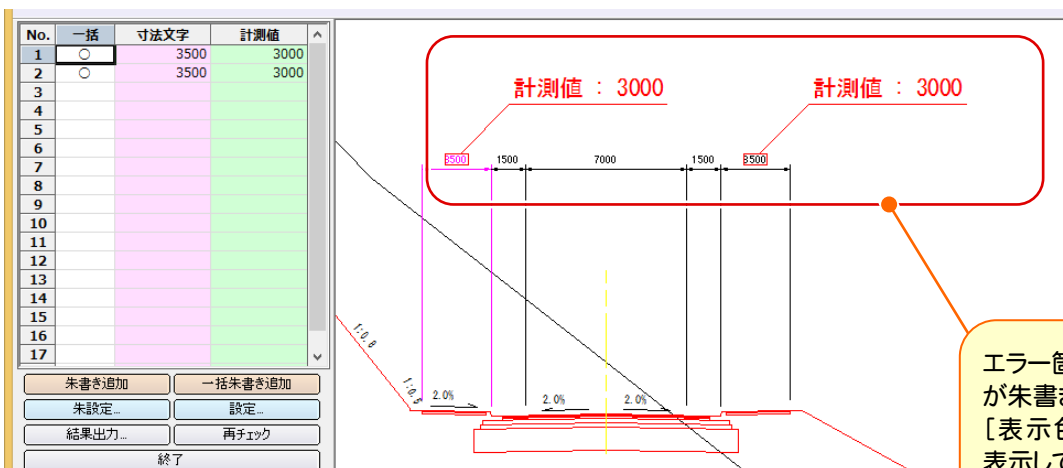
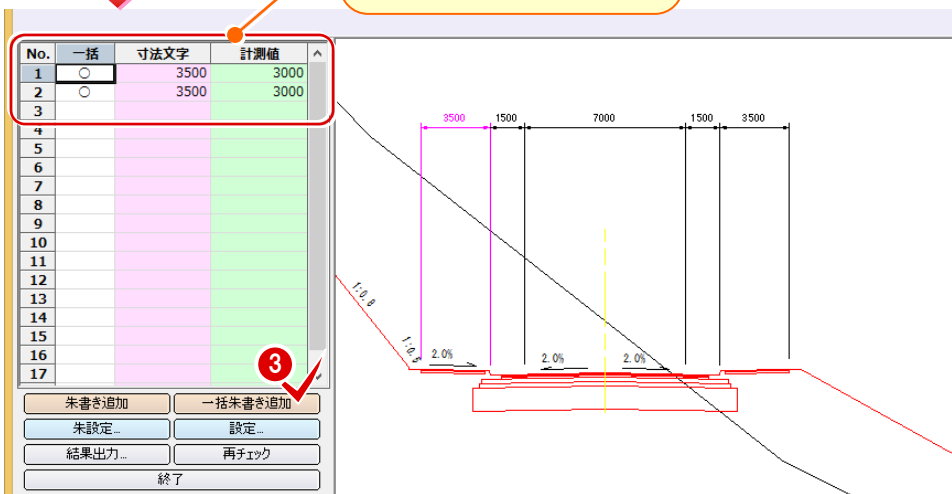
寸法をチェックする

[朱書・チェック]－[寸法チェック]で寸法をチェックして、エラー箇所を朱書きします。



- 1 [朱書・チェック]－[寸法チェック]をクリックします。(① ②)
- 2 [一括朱書き追加]をクリックします。(③)

寸法がチェックされ、縮尺上正常でない値が表記されている場合は、画面左にチェック結果が表示されます。



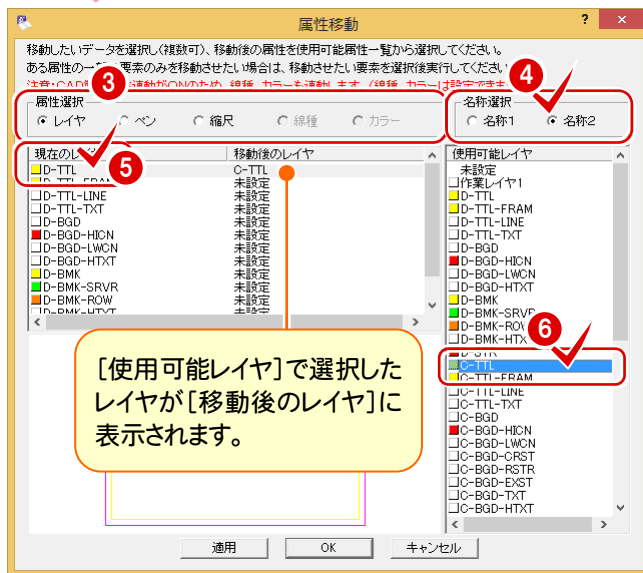
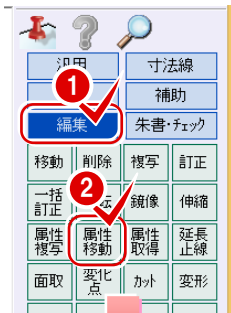
エラー箇所に計測値が朱書きされます。[表示色:レイヤ]で表示しています。



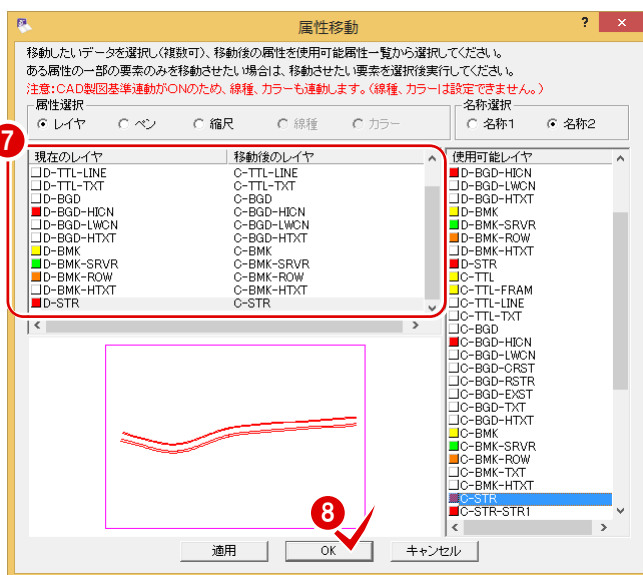
118

責任主体を変更する

[編集]—[属性移動]で責任主体を変更します。



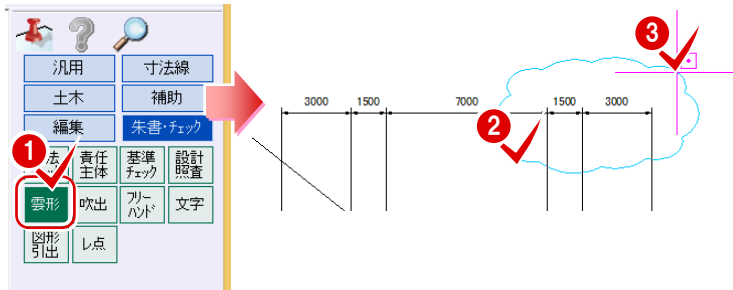
- 1 [編集]—[属性移動]をクリックします。
(① ②)
- 2 [属性選択]で[レイヤ]が選択されていることを確認し、[名称選択]で[名称2]をクリックします。(③ ④)
- 3 [現在のレイヤ]で変更するレイヤを選択し、[使用可能レイヤ]で変更後のレイヤを選択します。(⑤ ⑥)
- 4 同様に、他のレイヤの移動後のレイヤを設定します。(⑦)
- 5 設定を終了したら、[OK]をクリックします。
(⑧)
- 6 [[はい]をクリックします。(⑨)



119

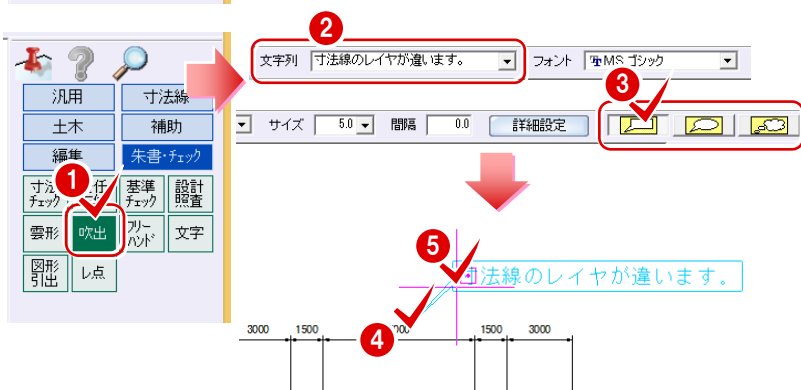
図面に対して直接朱書きする

[朱書・チェック]の[雲形][吹出][フリーハンド][文字][図形引出][レ点]で、図面に対して直接朱書きします。



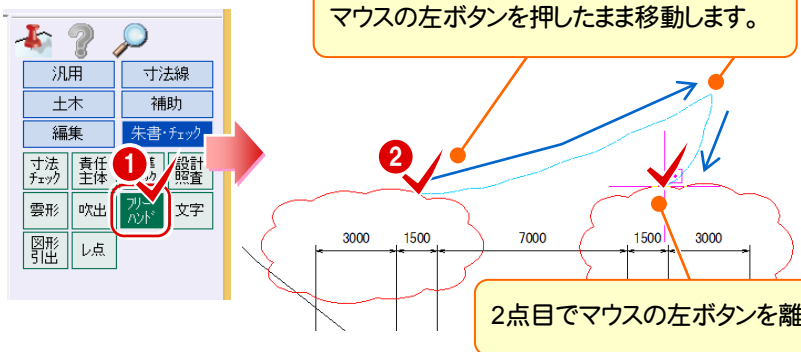
雲形の枠を入力する

- 1 [雲形]をクリックして、指示する箇所を雲形で囲みます。(1 2 3)



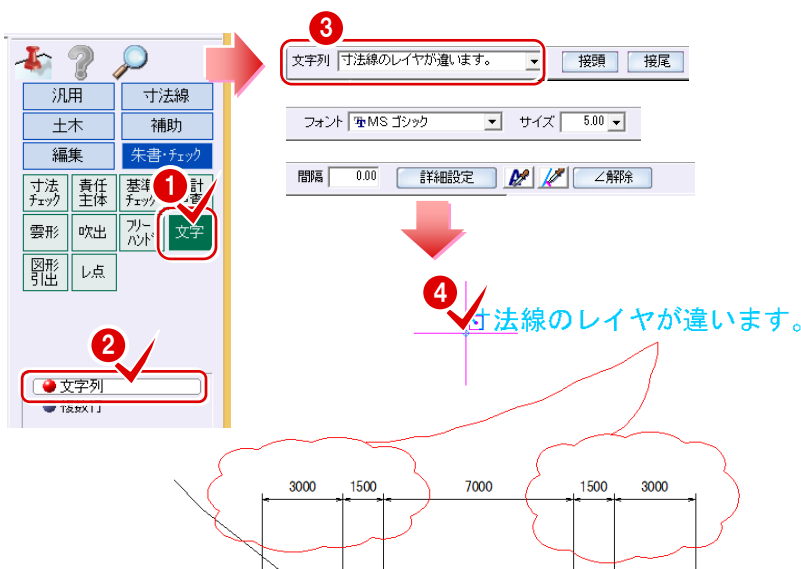
吹き出しを入力する

- 1 [吹出]をクリックして、配置する文字列を入力します。(1 2)
- 2 吹き出しのタイプを選択して、吹き出しの先端、文字の配置位置をクリックします。(3 4 5)



自由線を入力する

- 1 [フリーハンド]をクリックして、自由線を入力します。(1 2)



文字を入力する

- 1 [文字]-[文字列]をクリックして、配置する文字列を入力します。(1 2 3)
- 2 文字列の配置位置をクリックします。(4)

索引

あ

赤書き.....	69
一括訂正.....	71
移動.....	82,112,116
イメージ表示.....	45
色塗り.....	119
印刷.....	27,29
円弧.....	63
延長止線.....	56
円面取り.....	57
円文字.....	68

か

階段.....	93
回転.....	115
拡大図.....	120
画像形式.....	25
カット.....	57
画面.....	6
カラー.....	8
簡易断面図.....	102
キー割り付け.....	4
工区割り.....	137
合成.....	76
構造物記号.....	98
勾配寸法.....	74
コマンドバー.....	3,4

さ

再計算.....	75
サイズ.....	83
削除.....	81,113
座標系.....	35,116
座標値.....	48,107,108
三角形.....	54
四角形.....	52
車両軌跡.....	95
縦断図旗上げ.....	88
朱書き.....	145
縮尺.....	37,38
伸縮.....	55
水平・垂直距離.....	73
水平・垂直線.....	48
数量計算表.....	125
寸法値.....	75,77,78
図枠.....	133,134
整合.....	55
責任主体.....	144
切断記号.....	94
線種.....	7
線面取り.....	56
属性.....	64
属性移動.....	43

た

チェック.....	141,143
直線.....	73
訂正.....	70,114,128
テンプレート.....	135
特殊線.....	92
土量計算表.....	122
土量計算の帳票.....	124

な

入力単位.....	39
入力補助点	110
塗り潰し.....	65
法面.....	103

は

背景色	6
ハッチング.....	91
引き出し文字.....	66
非表示	65
描画順	84
標高値	109
表示色	6
表題欄	133,134,135
貼り付け	117
半円.....	59
幅員線	61
複写.....	31,112
複数段	67
部品.....	99,100
不要部分.....	81
プロット.....	106
平行線	50,51,59
平面図旗上げ.....	86
ページ削除.....	32
ページ追加.....	31
変形.....	78
方位マーク	97
補助線	53
ポップアップメニュー.....	3

ま

丸め	2
武蔵(.mss)ファイル	15,24
面積	131
面取り	56,57
文字サイズ.....	71

や

用紙	16,34
----------	-------

ら

連続	51
----------	----

英数字

2点間	73,130
BLUETREND V・XA.....	18
CAD製図基準.....	42,141
DXF/DWG.....	10,19
Excel.....	117,126
JPEG	25
JWC/JWW	12,21
PDF.....	26
SXF	14,22
TIFF	25
Word	117